

本宮市総合計画基礎調査

—意識調査結果報告書—



平成 30 年 3 月

本 宮 市

<目次>

I	調査概要.....	1
II	調査種別比較（居留意向および満足度）.....	3
1	生活の満足度.....	3
2	居留意向.....	4
III	調査結果（市民意識調査）.....	5
1	回答者のプロフィール.....	5
(1)	性別.....	5
(2)	年齢.....	5
(3)	居住地.....	6
(4)	居住年数.....	6
(5)	家族構成.....	6
(6)	職業.....	7
(7)	通勤・通学先.....	7
2	日常生活について.....	8
(1)	生活の心配ごとなど.....	8
(2)	日常生活の満足度.....	10
(3)	満足度を判断する際に重視した点.....	12
3	本宮市の東日本大震災及び原発事故からの復興について.....	15
(1)	復興の状況.....	15
(2)	復興が進んだと判断する際の要因.....	17
(3)	復興が進んでいないと判断する際の要因.....	19
4	本宮市での暮らしについて.....	21
(1)	今後の居留意向.....	21
(2)	本宮市で暮らし続けたい理由.....	24
(3)	市外に移り住みたい理由.....	27
5	本宮市への定住・移住について.....	30
(1)	本宮市への定住.....	30
(2)	本宮市への移住.....	34
6	市の施策に対する満足度と今後の重要性について.....	38
(1)	満足度.....	40
(2)	重要度.....	44
(3)	満足度×重要度の評価.....	48
(4)	施策分野別評価.....	52
(5)	これからの本宮市について.....	76

IV 調査結果（中学生調査/高校生調査）	83
1 回答者のプロフィール	83
(1) 性別	83
(2) 居住地	83
(3) 家族構成	85
2 日常生活について	86
(1) 現在興味のあるもの	86
(2) 生活の心配ごと	87
(3) 日常生活の満足度	88
(4) 将来大切にしたいこと	89
3 将来のことについて	90
(1) 中学校卒業後の進路【中学生調査】	90
(2) 高校卒業後の進路について【高校生調査】	91
(3) 就職先について【高校生調査】	92
(4) 本宮市内で就職したい理由【高校生調査】	94
(5) 本宮市外で就職したい理由【高校生調査】	96
(6) 仕事に求めるもの【高校生調査】	98
(7) 希望の業種【高校生調査】	100
(8) 希望の職種【高校生調査】	102
(9) 今後の居住意向【中学生調査/高校生調査】	104
(10) 本宮市に暮らし続けたい理由【中学生調査/高校生調査】	106
(11) 本宮市外に移り住みたい理由【中学生調査/高校生調査】	107
4 本宮市のイメージや将来像について	109
(1) 本宮市の住みやすさ【中学生調査/高校生調査】	109
(2) 本宮市の魅力【中学生調査/高校生調査】	111
(3) 本宮市に必要なもの【中学生調査/高校生調査】	114
(4) 本宮市の将来像【中学生調査/高校生調査】	116
(5) 本宮市の自慢【中学生調査/高校生調査】	119
(6) 本宮市内で参加したい地域活動【中学生調査/高校生調査】	120
(7) これからの本宮市について【中学生調査/高校生調査】	121
V 資料編（使用した調査票）	124
1 市民意識調査	124
2 中学生調査	135
3 高校生調査	142

I 調査概要

1 調査の目的

本宮市第2次総合計画を策定するにあたり、合併10年を経過した現在、これまでの取組の検証を行うとともに、市の現状と課題を各分野ごとに整理・分析し、新たな基本目標や施策の方向性について十分な議論と検討を行うことを目的として、調査を実施した。

2 調査期間

市民意識調査：平成29年9月5日（火）～平成29年9月25日（月）

※集計処理にあたっては、10月2日着分の調査票まで含めた

中学生調査：平成29年10月2日（月）～平成29年10月18日（金）

高校生調査：平成29年10月2日（月）～平成29年10月31日（火）

3 調査対象

市民意識調査：本宮市在住の満18歳以上の男女 2,000人

中学生調査：本宮市内中学生（3年生） 288人

内訳）本宮第一中学校130人、本宮第二中学校94人、白沢中学校64人

高校生調査：本宮市内高校生（3年生） 144人

内訳）県立本宮高等学校 144人

4 調査方法

郵送による配布・回収

5 回収状況

調査種別	配布数①	総回収数	有効回収数②	有効回収率 ②／①
市民意識調査	2,000	710	709	35.5%
中学生調査	288	288	288	100.0%
高校生調査	144	141	141	97.9%

6 調査結果の見方

- (1) 調査数（ n = number of cases）は比率算出の基数であり、100.0%が何人の回答に相当するかを示す。
- (2) 回答の構成比は百分率であらわし、小数点第2位を四捨五入して算出している。したがって、単一回答形式の質問においては、回答比率を合計しても100.0%にならない場合がある。また、回答者が2つ以上の回答をすることができる複数回答形式の質問においては、各設問の調査数を基数として算出するため、全ての選択肢の比率を合計すると100.0%を超える。
- (3) 調査数（ n ）が少数の場合、統計上の回答構成比の信頼性が低いため、文章中の分析を省略している場合がある。
- (4) 図表及び本文で、選択肢の語句等を一部簡略化している場合がある。

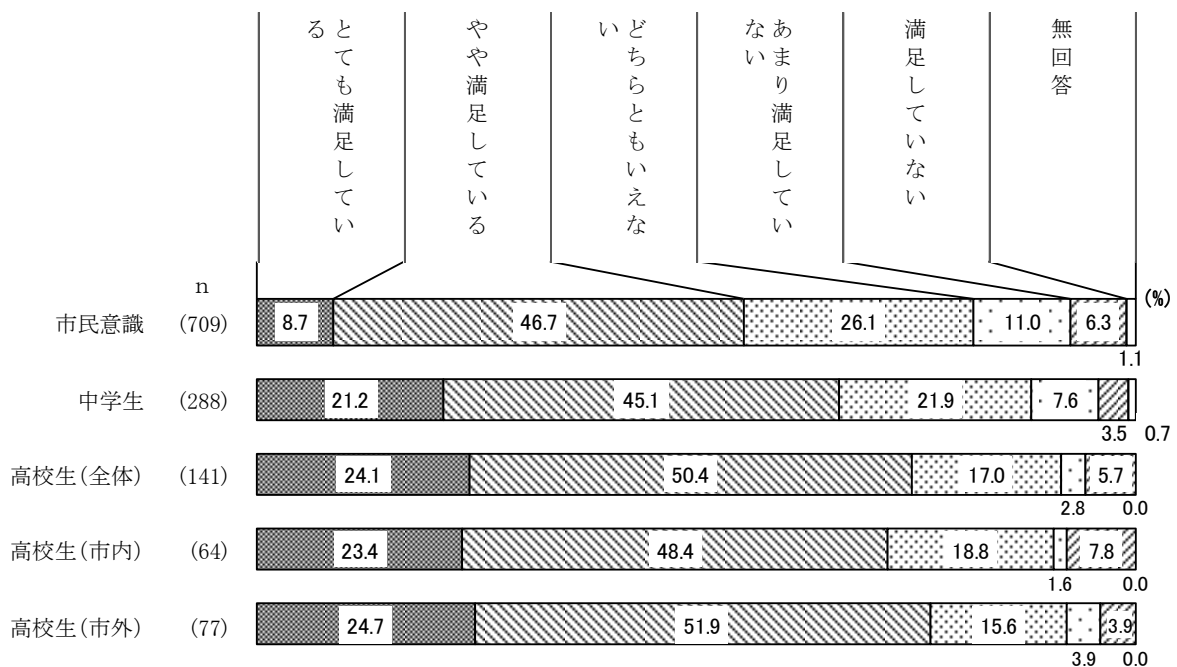
Ⅱ 調査種別比較（居住意向および満足度）

1 生活の満足度

- 日常生活の《満足度》（「とても満足している」+「やや満足している」）は、市民が55.4%、中学生が66.3%、高校生（市内）が71.8%。
- 日常生活については、一般市民に比べ、学生（若い世代）の満足度が高い。

問9 現在、あなたは日常生活にどの程度満足していますか。（○は1つ）

【市民意識調査：問9、中学生調査：問6、高校生調査：問6】



日常生活の満足度について、「やや満足している」と「とても満足している」をあわせた《満足度》は一般市民で55.4%と過半数となっている。

これに対し、中学生は66.3%、高校生（市内）は71.8%となっており、一般市民に比べ、学生（若い世代）の満足度が高い。

調査種別比較

2 居住意向

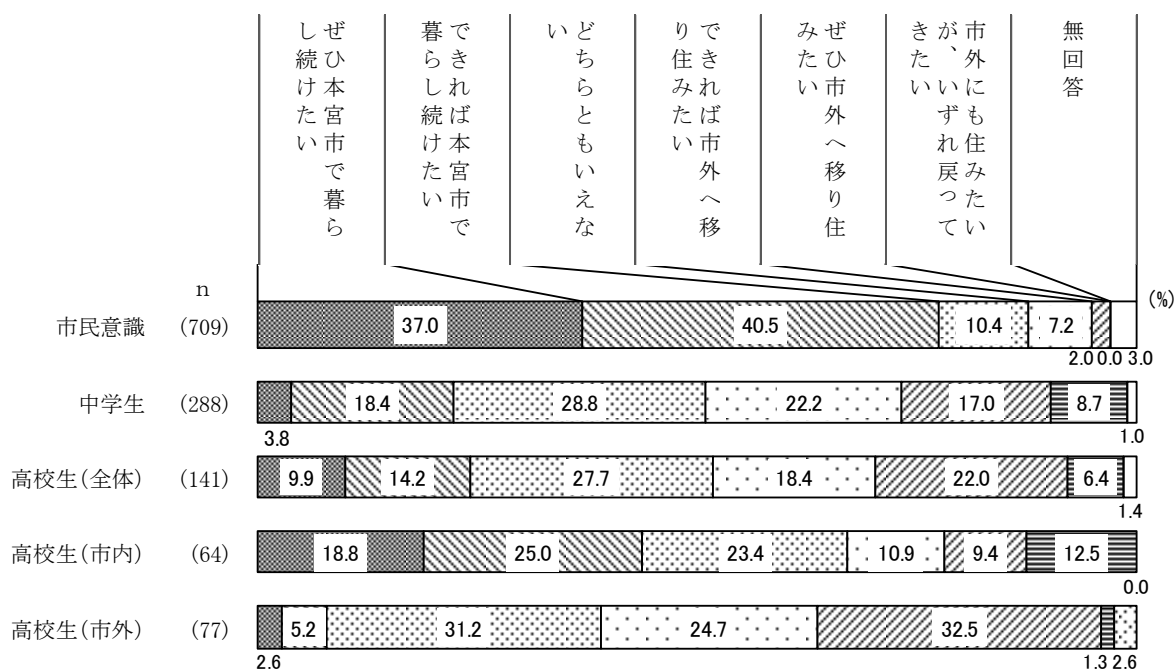
- 本宮市での今後の《居住意向》（「ぜひ本宮市で暮らしたい」+「できれば本宮市で暮らしたい」）は、市民が77.5%、中学生が22.2%、市内居住の高校生が43.8%。
- 一般市民の居住意向が高い一方、学生（若い世代）の居住意向は低く、将来も市内での居住を考えている人は半数以下。また、年代が若いほどその傾向が強い。
- 「市外にも住みたいが、いずれ戻ってきたい」とのUターン希望者についても、中学生・高校生ともに1割前後。

問12 あなたは、これからも本宮市で暮らし続けたいと思いますか。（○は1つ）

【市民意識調査】

問 あなたは、将来、本宮市で暮らし続けたいと思いますか。（○は1つ）

【中学生調査：問9、高校生調査：問13】



※選択肢、「市外にも住みたいが、いずれ戻ってきたい」は中学生調査および高校生調査のみ

「ぜひ本宮市で暮らしたい」と「できれば本宮市で暮らし続けたい」をあわせた《居住意向》は一般市民で77.5%と、4人中3人が今後も本宮市での居住を希望している。

これに対し、中学生では、《居住意向》は22.2%、高校生（市内）で43.8%と一般市民に比べ居住意向は低く、将来も市内での居住を考えている人は半数以下となっており、年代が若いほどその傾向が強い。

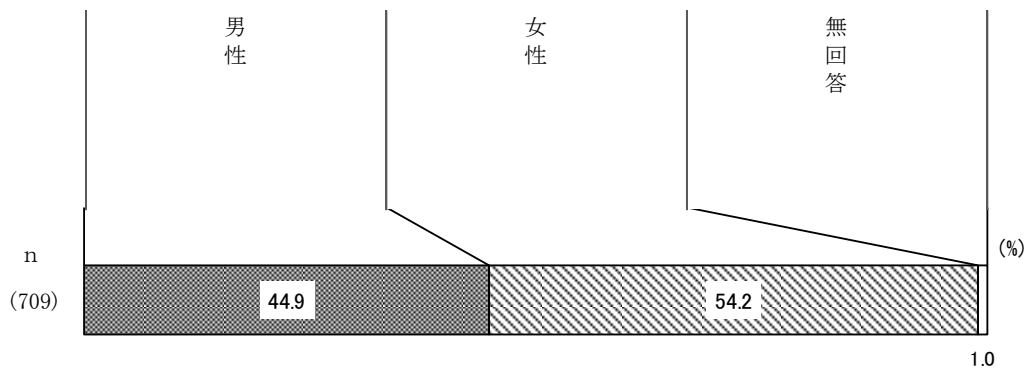
「市外にも住みたいが、いずれ戻ってきたい」とのUターン希望者についても、中学生・高校生ともに1割前後となっている。

Ⅲ 調査結果（市民意識調査）

1 回答者のプロフィール

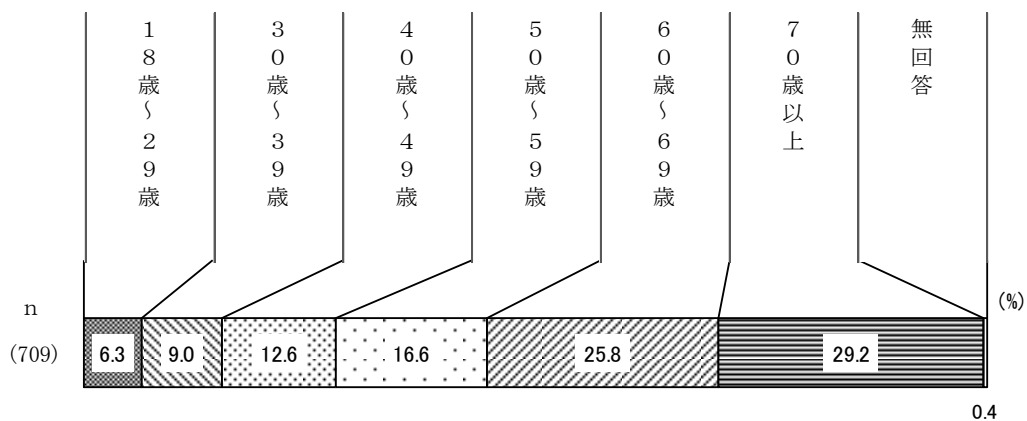
（1）性別

問1 あなたの性別をお答えください。（○を1つお付けください。）



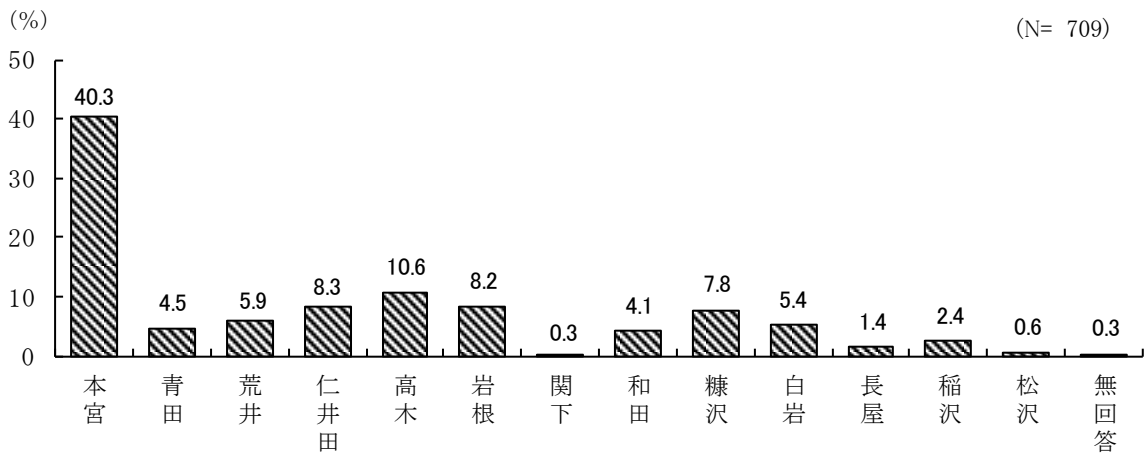
（2）年齢

問2 あなたの年齢をお答えください。（○を1つお付けください。）



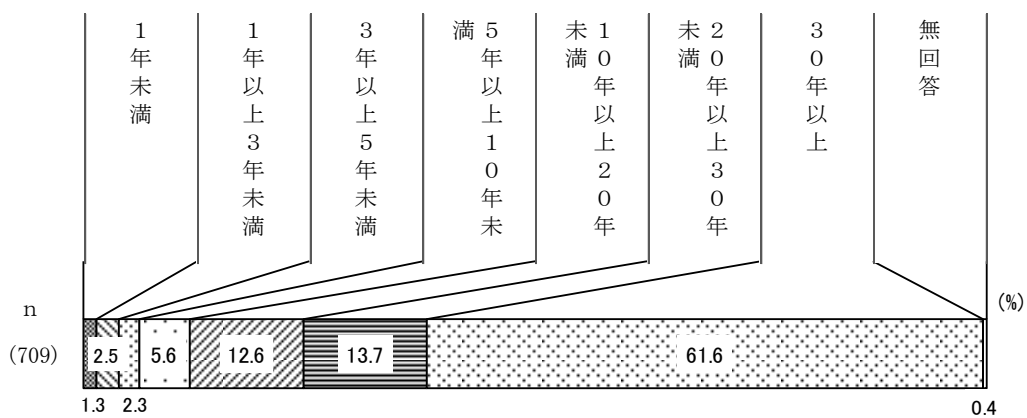
（3）居住地

問3 現在、お住まいの地域をお答えください。（○を1つお付けください。）



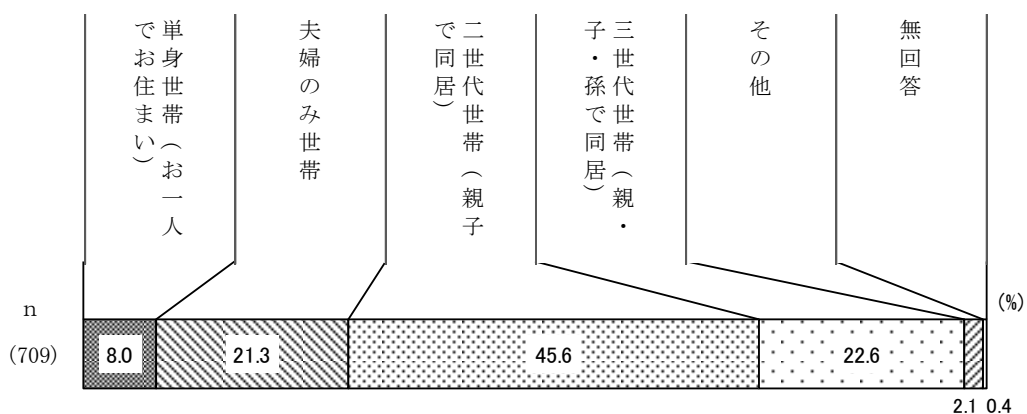
（4）居住年数

問4 あなたは、本宮市に何年くらい住んでいますか。（○を1つお付けください。）



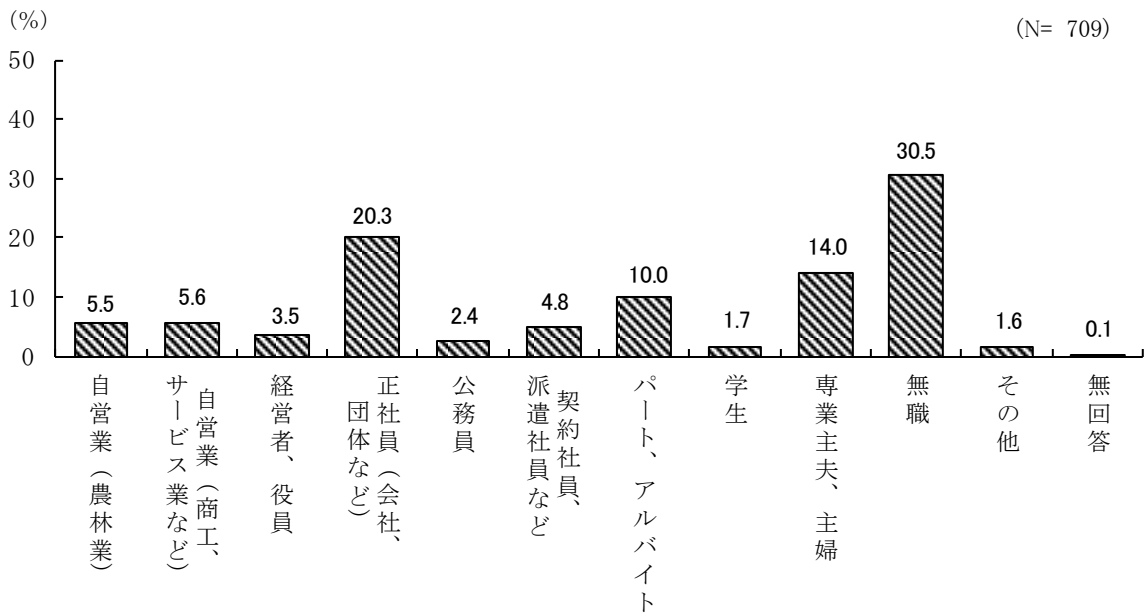
（5）家族構成

問5 あなたが現在一緒に暮らしているご家族の構成をお答えください。（○を1つお付けください。）



（6）職業

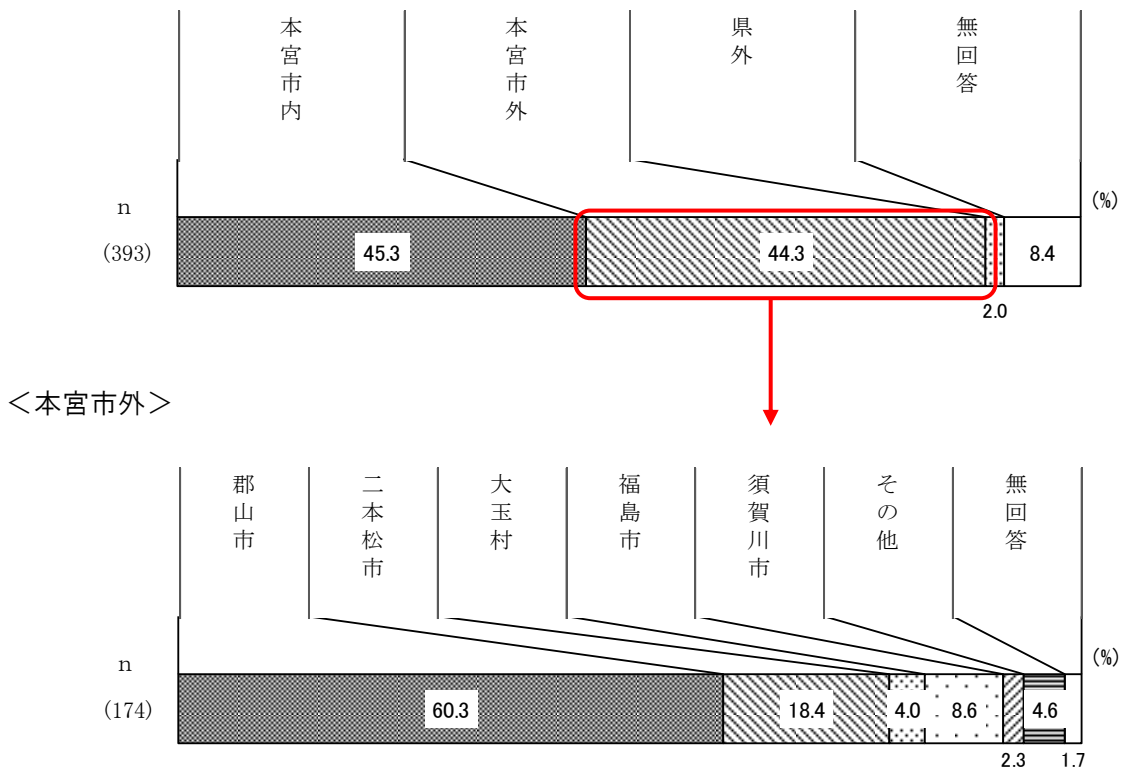
問6 あなたのご職業をお答えください。（○を1つお付けください。）



（7）通勤・通学先

【問6で「1」～「8」、「11」と答えた方のみ】

問7 あなたの通勤・通学先はどちらですか。（○を1つお付けください。）

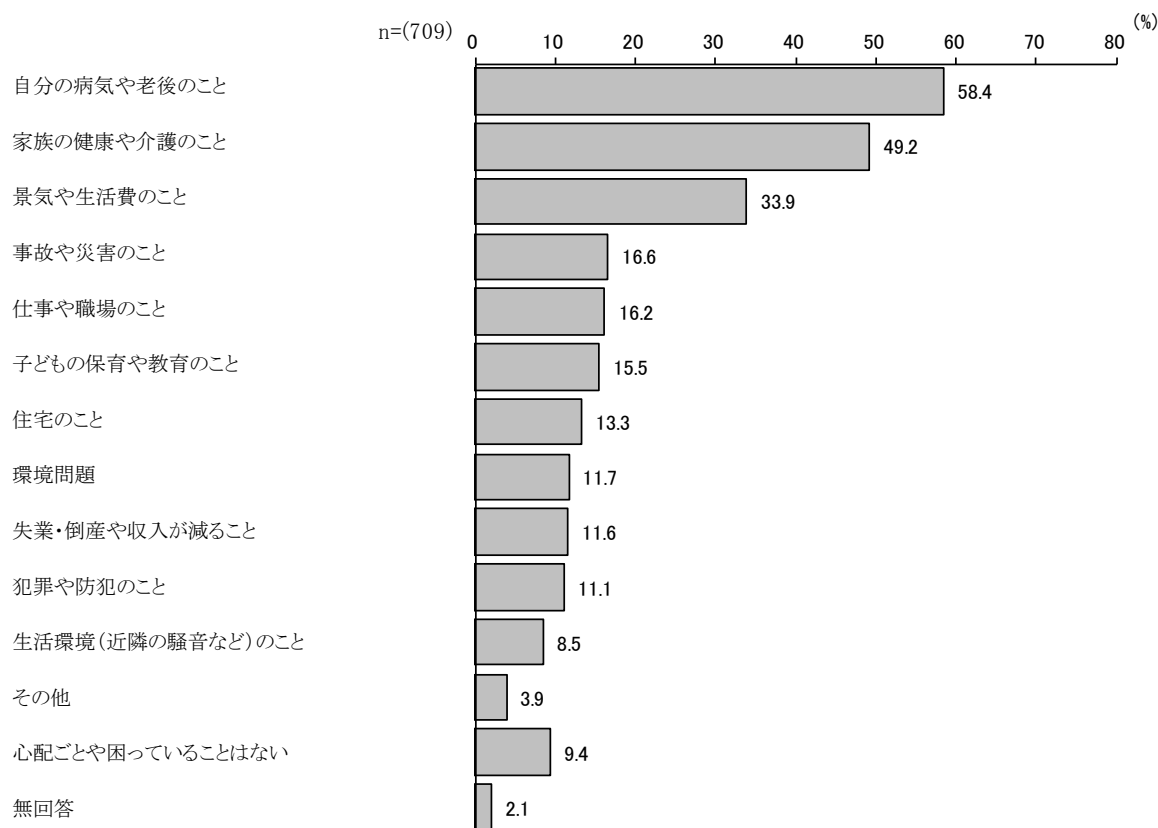


2 日常生活について

（1）生活の心配ごとなど

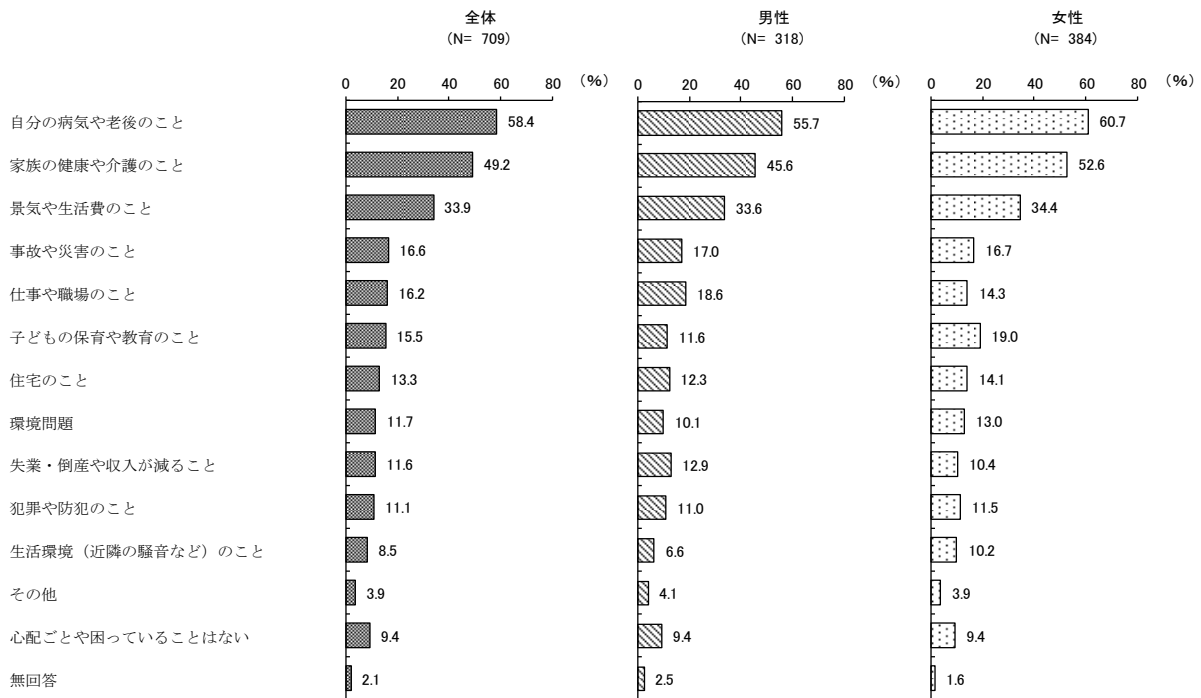
●若い世代は子育てや仕事、生活費などの不安が大きく、高齢層では健康への不安が大きい。

問8 あなたは、現在、ご自分やご家族の生活のことで心配ごとや関心ごと、困っていることなどがありますか。（あてはまるものすべてに○をお付けください。）



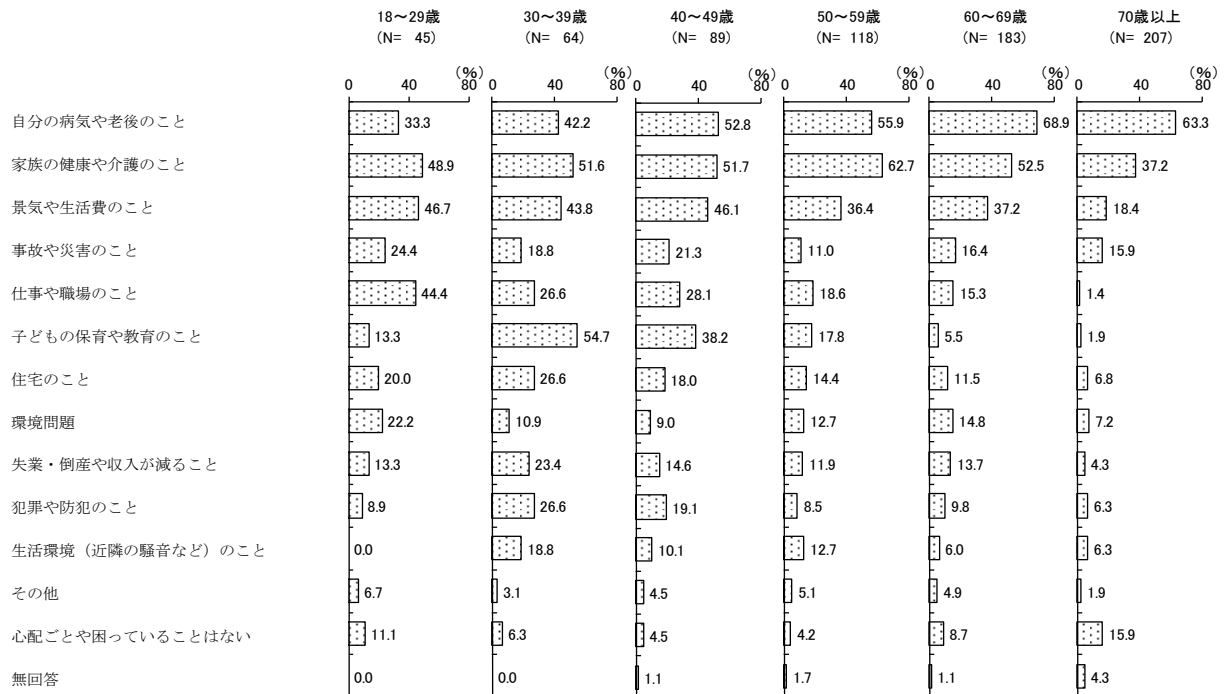
生活の心配ごとは、「自分の病気や老後のこと」が58.4%と最も多く、以下、「家族の健康や介護のこと」(49.2%)、「景気や生活費のこと」(33.9%)など、自分や家族の健康などに関する項目が上位を占める。

【生活の心配ごとなど／属性別（性別）】



性別にみると、女性は男性に比べて「家族の健康や介護のこと」「子どもの保育や教育のこと」との回答が多く、健康や子育てに不安を感じている。

【生活の心配ごとなど／属性別（年齢別）】

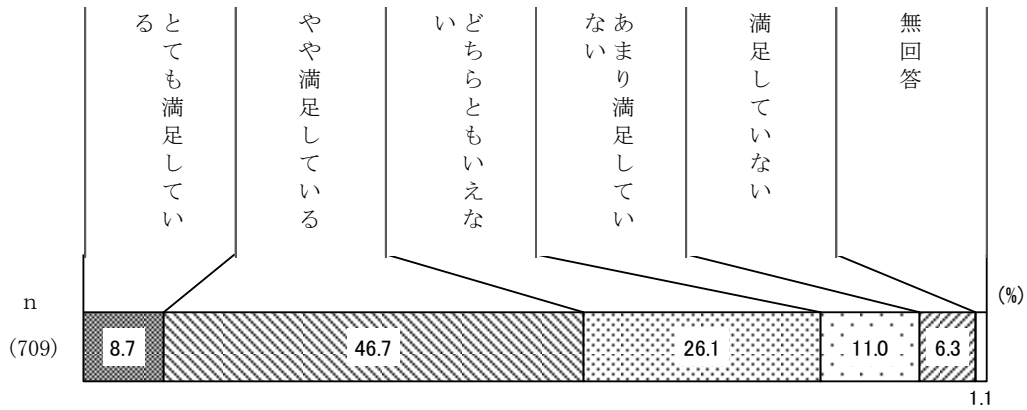


年齢別にみると、年代が高いほど健康への不安が多く、60歳以上では6割以上が「自分の病気や老後のこと」への不安を感じている。その一方、仕事や生活に関する悩みは年代が低いほど多く、40歳代以下では4割以上が「景気や生活費のこと」への不安を感じている。また、30~39歳では「子どもの保育や教育のこと」へ不安を感じている人が過半数と多くなっている。

（２）日常生活の満足度

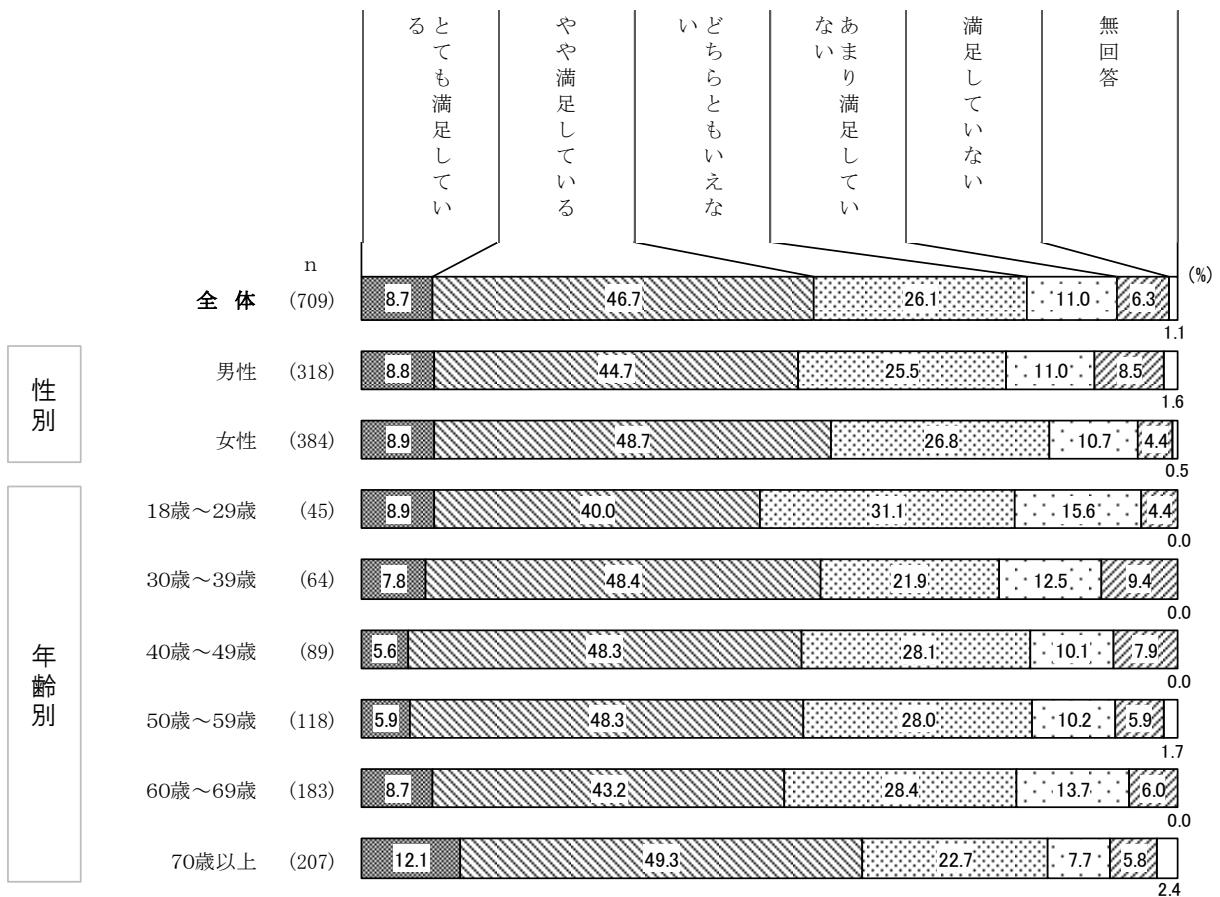
- 日常生活についての《満足度》は過半数を占める。
- 比較的高齢層ほど生活の満足度（「とても満足している」の回答割合）は高い。

問9 現在、あなたは日常生活にどの程度満足していますか。（○を1つお付けください。）



日常生活の満足度については、「やや満足している」との回答が46.7%と最も多く、「とても満足している」(8.7%)とあわせた《満足度》は55.4%と過半数を占める。

【日常生活の満足度／属性別（性別・年齢別）】



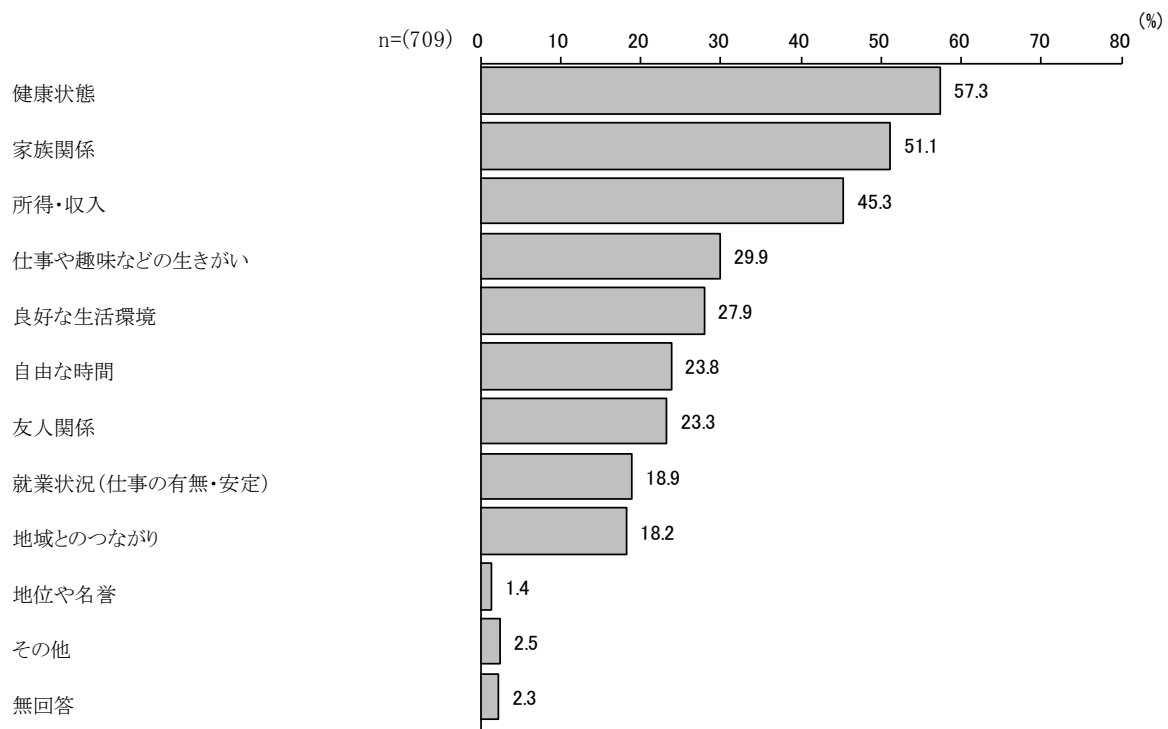
性別にみると、《満足度》は、男性に比べて女性で高い。

年齢別にみると、「とても満足している」との回答は概ね年代が上がるほど高く、70歳以上で12.1%となっている。また《満足度》は、20代以下（18～29歳）を除くすべての年代で5割を上回っており、70歳以上では61.4%と最も高い。

（3）満足度を判断する際に重視した点

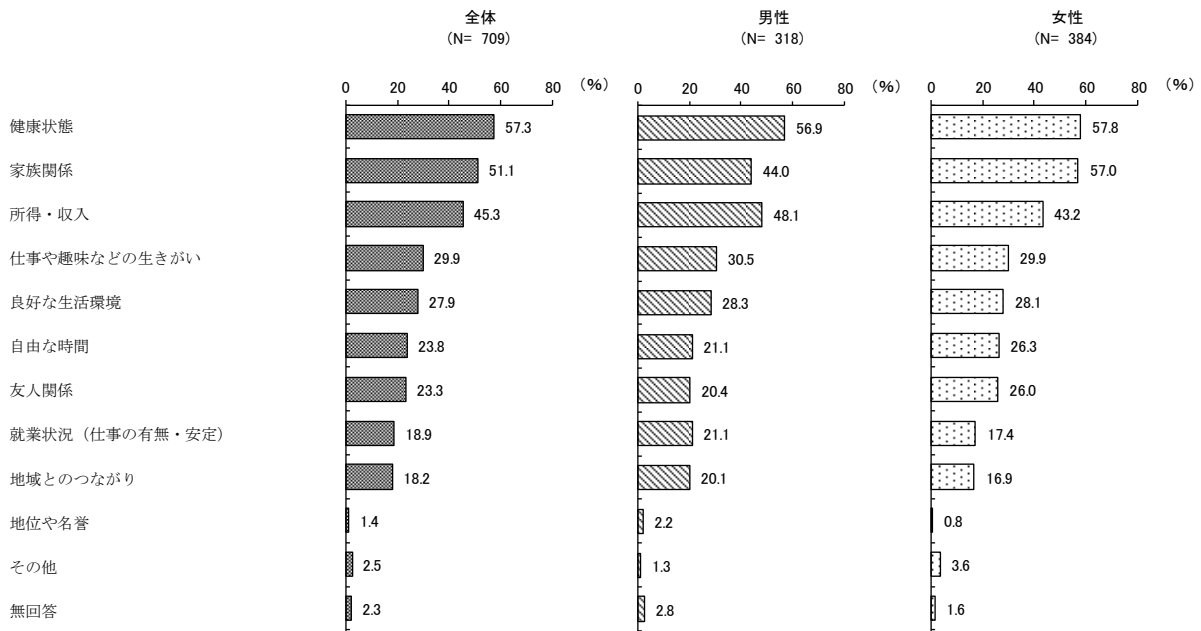
- 満足度を判断する際に重視した点は、「健康状態」がトップ。以下、「家族関係」、「所得・収入」。
- 高齢層では「健康状態」、若い世代は「家族関係」「所得・収入」が日常生活の満足度に起因している。
- 満足度が高い人は「健康状態」「家族関係」に満足しており、満足度が低い人ほど「所得・収入」「就業状況」に不満を感じている。

問10 あなたは、前問（問9）で日常生活に満足しているかどうか判断する際に、どのようなことを重視しましたか。（あてはまるものすべてに○をお付けください。）



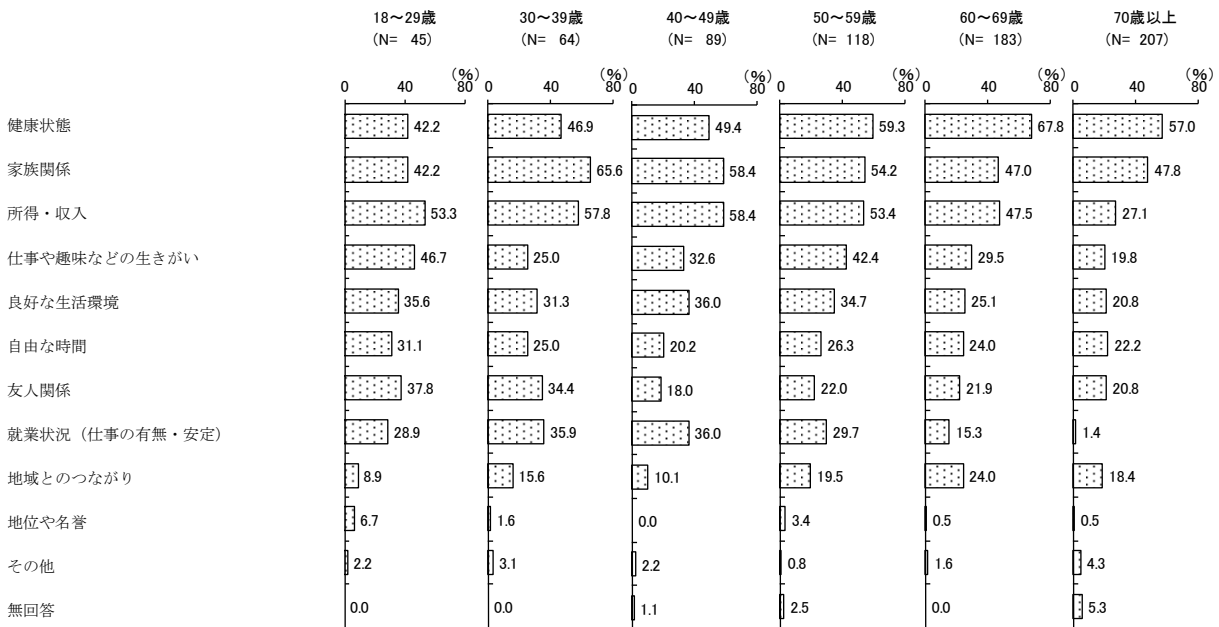
満足度を判断する際に重視した点は、「健康状態」が57.3%と最も多く、以下、「家族関係」(51.1%)、「所得・収入」(45.3%)となっている。

【満足度を判断する際に重視した点／性別】



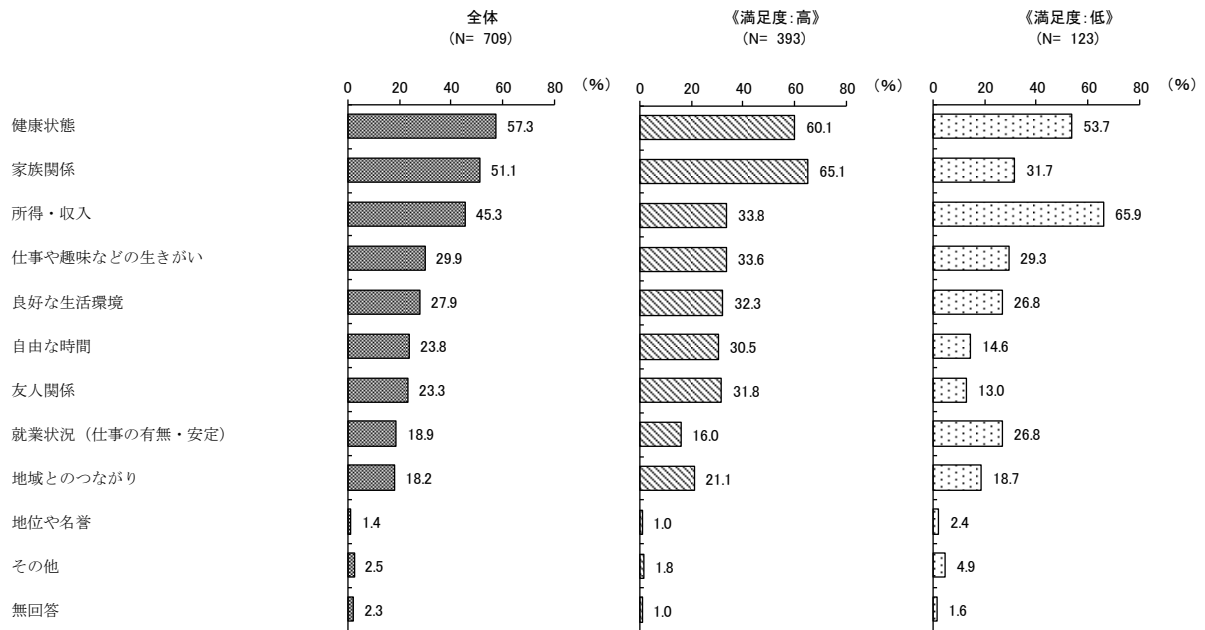
性別にみると、女性は男性に比べて「家族関係」「自由な時間」「友人関係」との回答が多く、男性では女性に比べ「所得・収入」が重視されている。

【満足度を判断する際に重視した点／年齢別】



年齢別にみると、「健康状態」「家族関係」「所得・収入」が各年代で多く、「健康状態」は年代が高いほど、「家族関係」「所得・収入」は年代が低いほど回答が多く、日常生活において重視されている。

【満足度を判断する際に重視した点／満足度別】



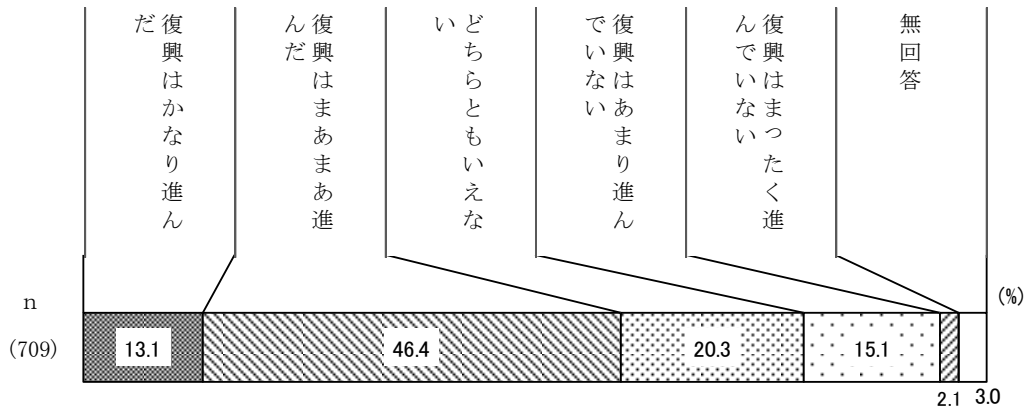
満足度別にみると、《満足度》が高い人は低い人に比べて「健康状態」「家族関係」を重視している一方、《満足度》が低い人は「所得・収入」「就業状況（仕事の有無・安定）」を重視しており、これらの要素が日常生活の満足度に影響を及ぼしている。

3 本宮市の東日本大震災及び原発事故からの復興について

（1）復興の状況

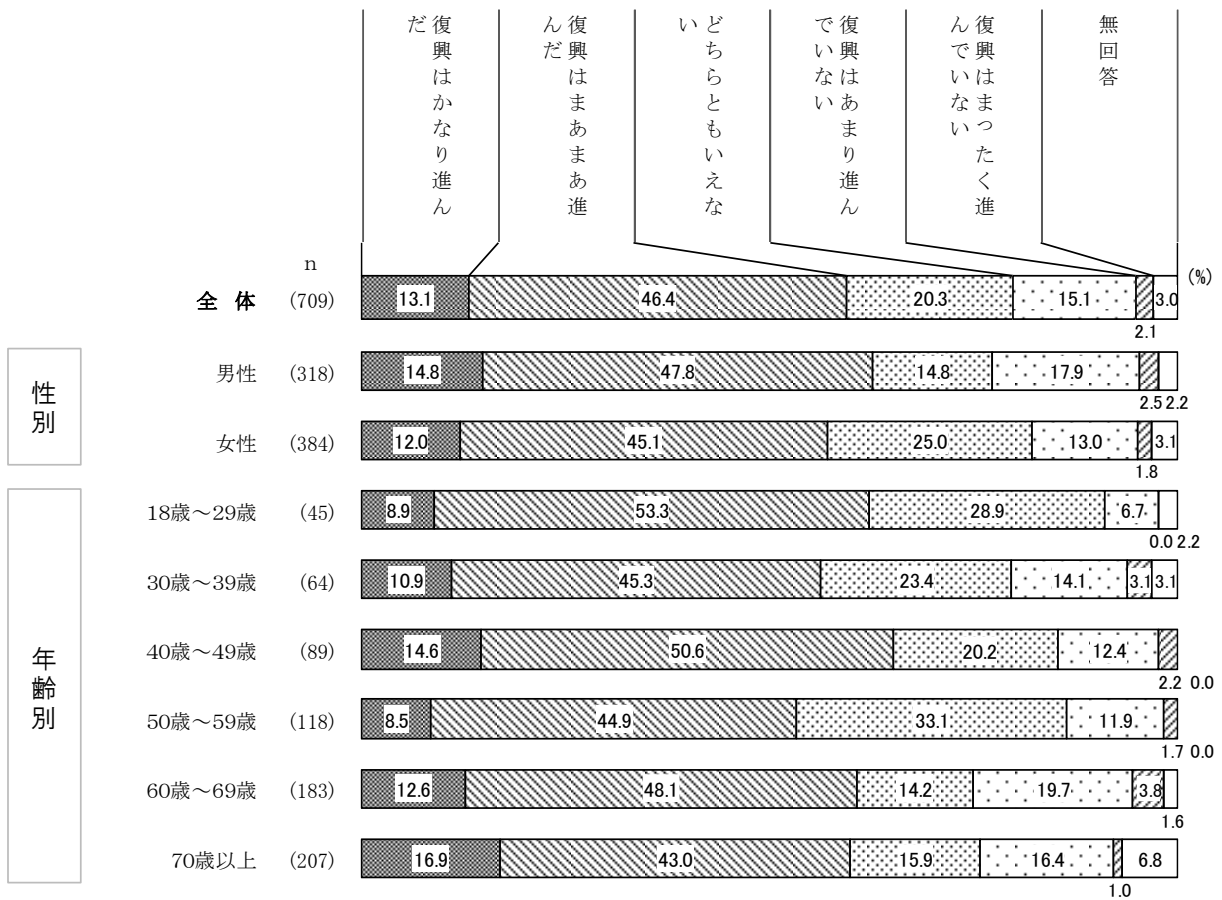
● 《復興が進んでいる》と感じている人は約6割を占める。

問1 1 あなたは、本宮市の復興が進んでいると思いますか。（○を1つお付けください。）



復興の状況は、「復興はまあまあ進んだ」との回答が46.4%と最も多く、「復興はかなり進んだ」(13.1%)とあわせると、《復興が進んでいる》と感じている人は約6割を占める。

【復興の状況／属性別（性別・年齢別）】



性別にみると、「復興が進んでいる」と感じている人は、女性に比べ、男性が多い。

年齢別にみると、「復興が進んでいる」と感じている人は各年代で5割を上回っており、40～49歳で65.2%と最も多い。

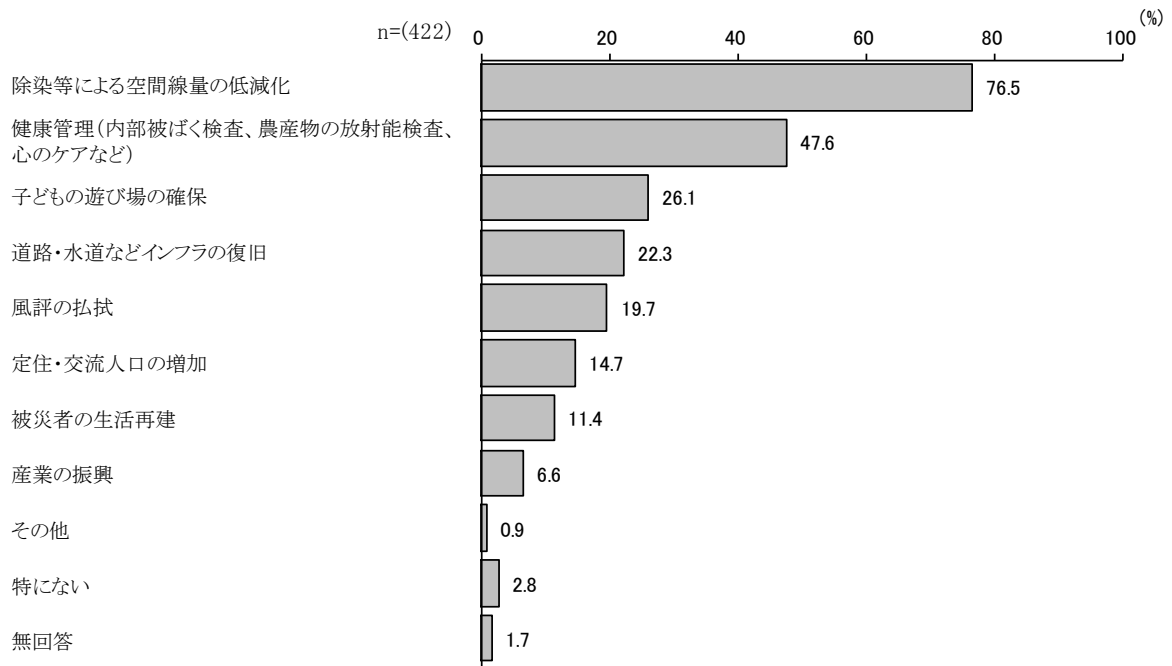
（２）復興が進んだと判断する際の要因

●復興が進んだと判断した要因としては、「除染による空間線量の低減化」がトップ。以下、「健康管理（内部被ばく検査、農産物の放射能検査、心のケアなど）」。

【「復興は進んだ」（問 11 で「1」～「2」）と答えた方のみ】

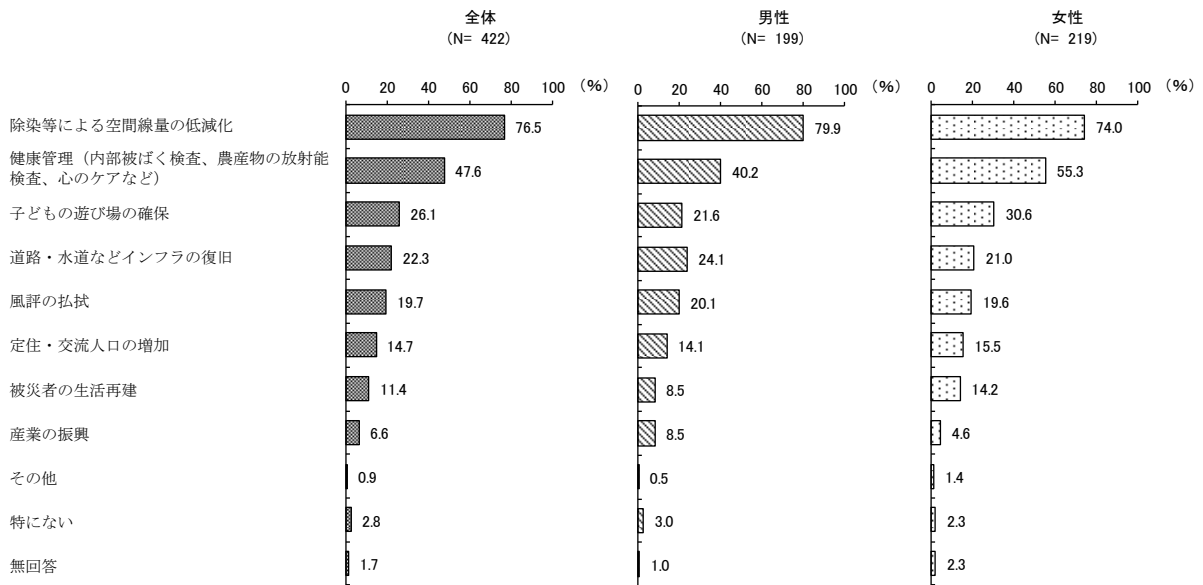
問 1 1 - 1 あなたにとって、復興が進んだと判断する際の要因は何ですか。

（あてはまるものすべてに○をお付けください。）



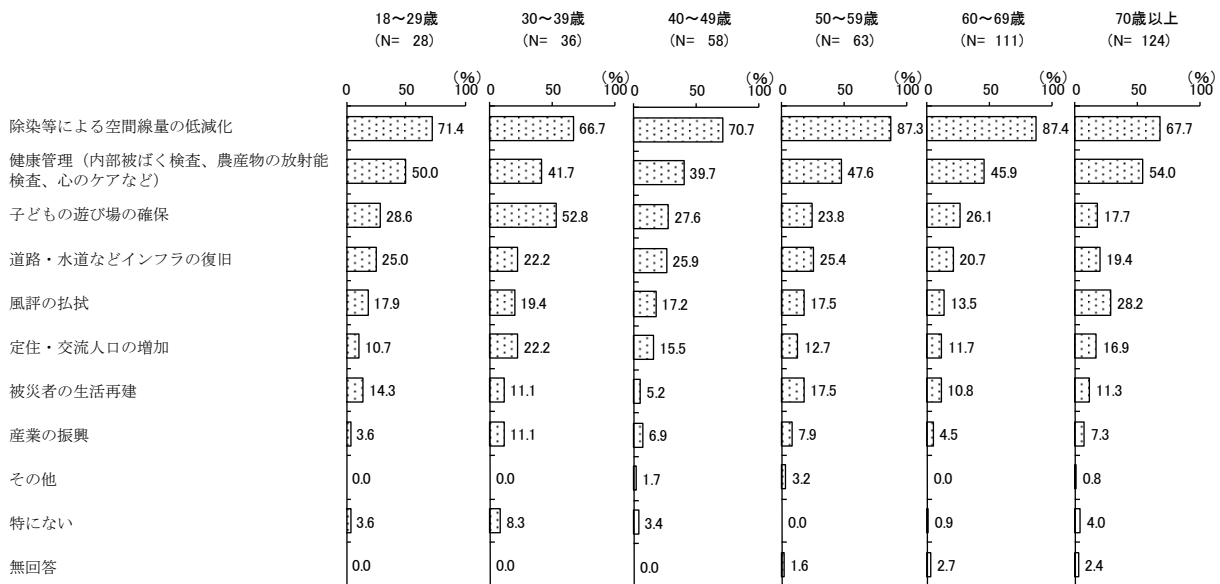
復興が進んだと判断する際の要因は、「除染による空間線量の低減化」が76.5%と最も多く、以下、「健康管理（内部被ばく検査、農産物の放射能検査、心のケアなど）」（47.6%）、「子どもの遊び場の確保」（26.1%）となっている。

【復興が進んだと判断する際の要因／性別】



性別にみると、男性は女性に比べて「除染等による空間線量の低減化」が多く、女性は男性に比べ「健康管理（内部被ばく検査、農産物の放射能検査、心のケアなど）」「子どもの遊び場の確保」「被災者の生活再建」が多い。

【復興が進んだと判断する際の要因／年齢別】



年齢別にみると、「除染等による空間線量の低減化」との回答が各年代で多く、特に50～60歳代では9割弱と回答が多い。また、30～39歳では過半数が「子どもの遊び場の確保」を理由としてあげている。

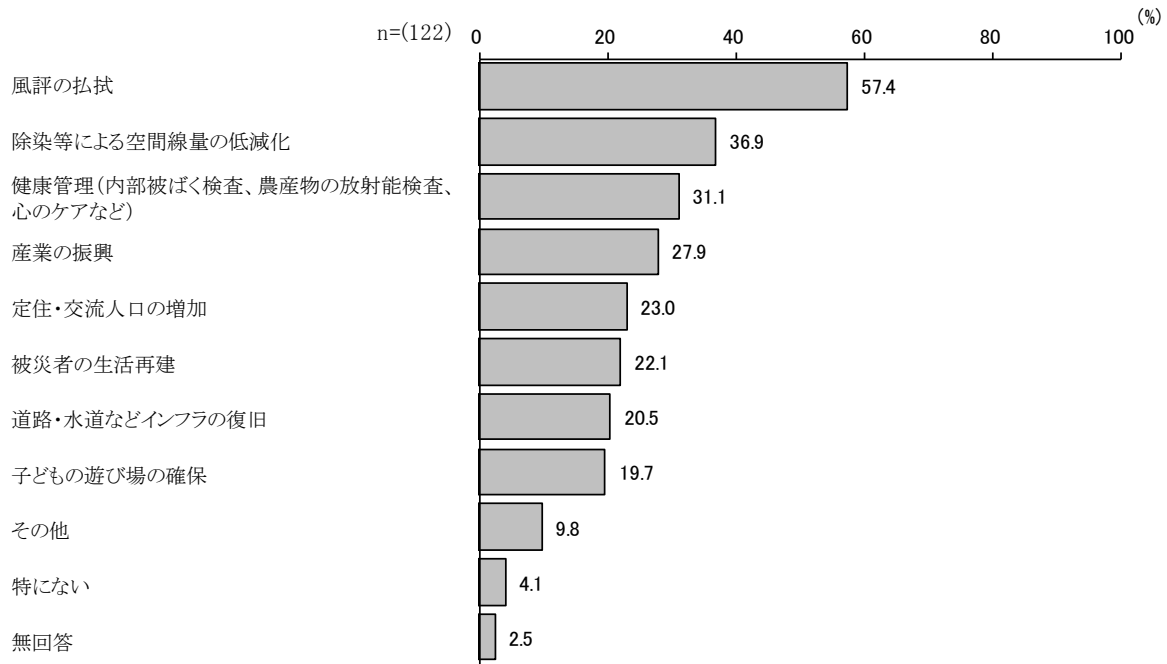
（3）復興が進んでいないと判断する際の要因

- 復興が進んでいないと判断した要因としては、「風評の払拭」がトップ。
- 女性では健康分野、男性では産業分野で復興が進んでいないと感じている。

【「復興は進んでいない」（問11で「4」～「5」）と答えた方のみ】

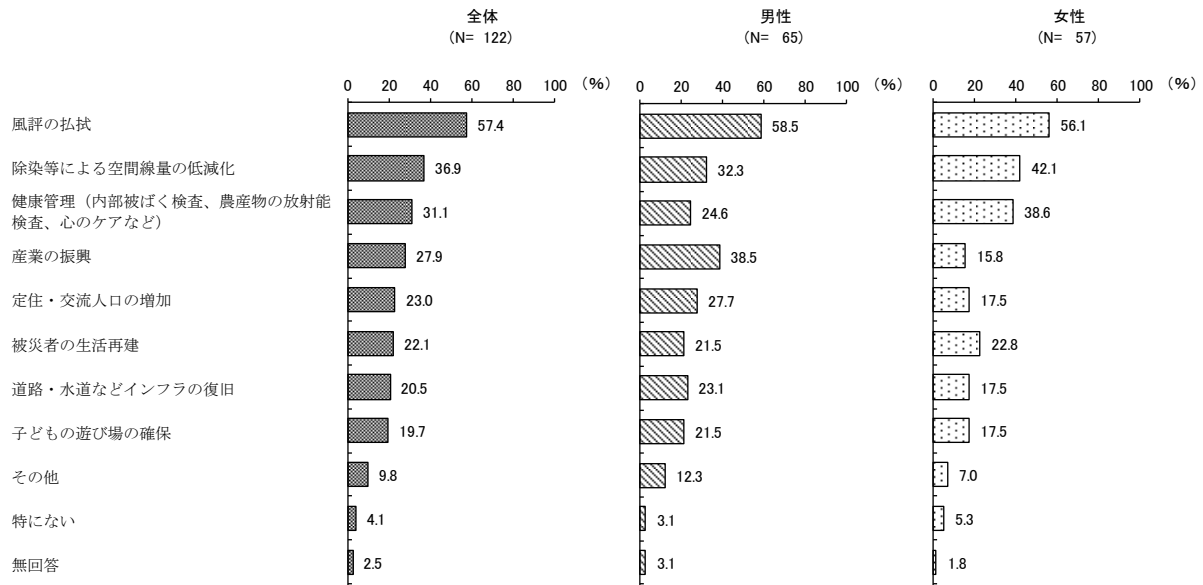
問11-2 あなたにとって、復興が進んでいないと判断する際の要因は何ですか。

（あてはまるものすべてに○をお付けください。）



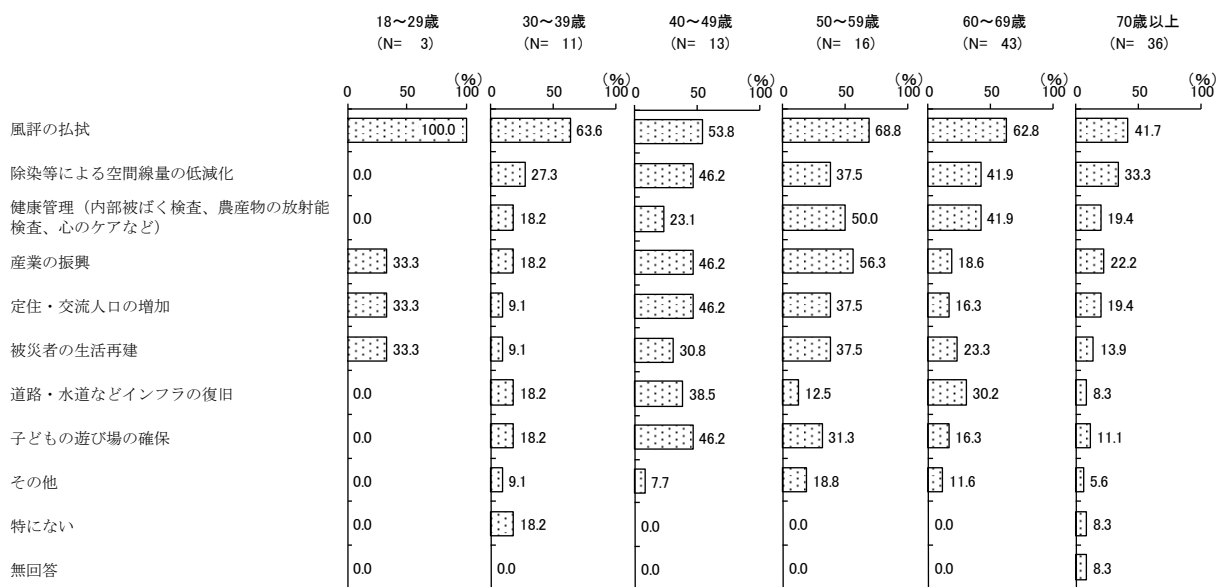
復興が進んでいないと判断する際の要因は、「風評の払拭」が57.4%と最も多く、以下、「除染等による空間線量の低減化」(36.9%)、「健康管理（内部被ばく検査、農産物の放射能検査、心のケアなど）」(31.1%)となっている。

【復興が進んでいないと判断する際の要因／性別】



性別にみると、女性では「除染等による空間線量の低減化」や「健康管理」などの健康分野に関して、男性では「産業の振興」や「定住・交流人口の増加」などで回答が多く、復興が進んでいないとの評価になっている。

【復興が進んでいないと判断する際の要因／年齢別】



年齢別にみると、各年代で「風評の払拭」がなされていないことを理由としている人が多く、他の年代に比べ「産業の振興」は50～59歳で、「子どもの遊び場の確保」は40～49歳で、回答が多い。

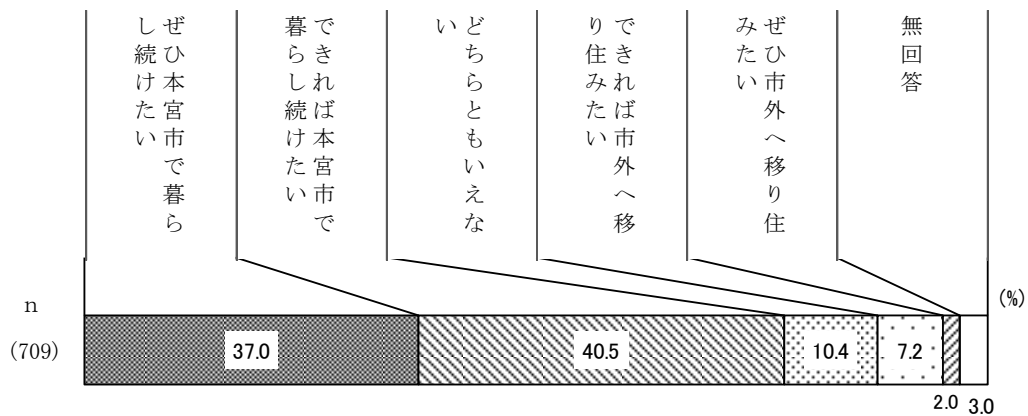
4 本宮市での暮らしについて

（1）今後の居住意向

- 今後の《居住意向》は77.5%。4人中3人が今後も本宮市での居住を希望している。
- 年代が高いほど《居住意向》が高く、年代が低いほど市外への転居の意向が強い。
- 日常生活の満足度や復興状況の評価が高いほど、《居住意向》が高い傾向にある。

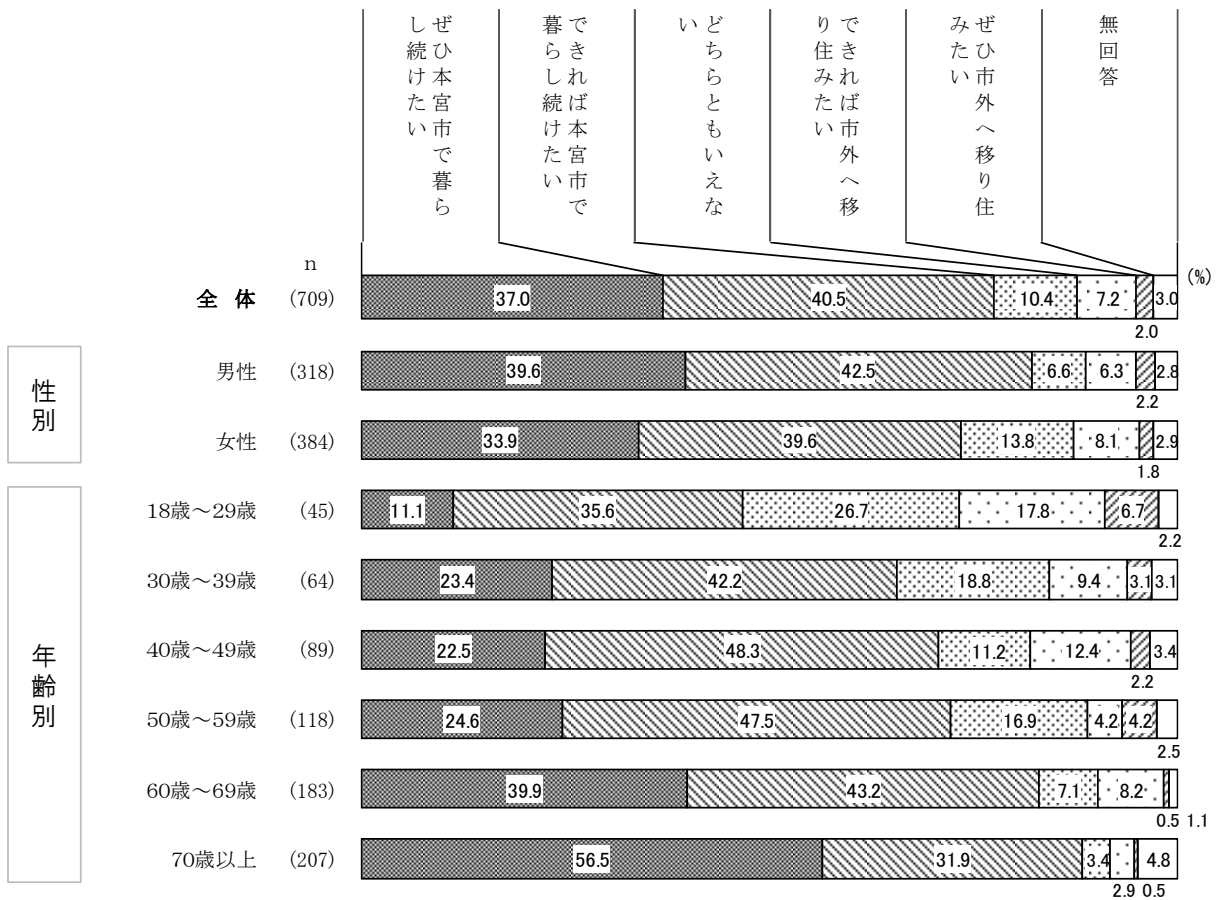
問12 あなたは、これからも本宮市で暮らし続けたいと思いますか。

（○を1つお付けください。）



今後の居住意向は、「できれば本宮市で暮らし続けたい」が40.5%と最も多く、「ぜひ本宮市で暮らし続けたい」(37.0%)とあわせると《居住意向》は77.5%と、4人中3人が今後も本宮市での居住を希望している。

【今後の居留意向／属性別（性別・年齢別）】

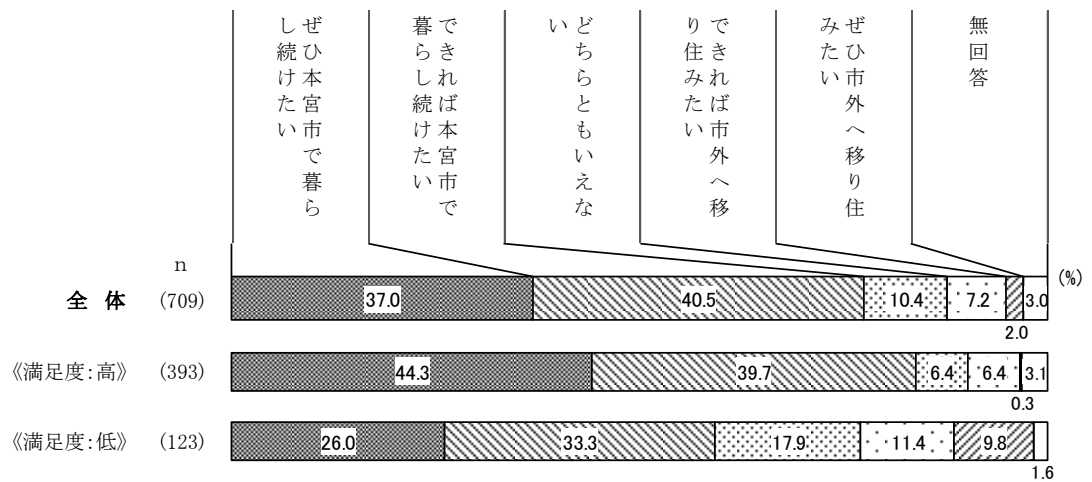


性別にみると、《居留意向》は、女性に比べ男性が多い。

年齢別にみると、今後も「ぜひ本宮市で暮らしたい」との回答は年代が高いほど多く、70歳以上では6割弱が回答している。また、「できれば本宮市で暮らしたい」と合わせた《居留意向》についても同様の傾向にあり、20歳代以下（18～29歳）を除くすべての年代で6割以上となっている。

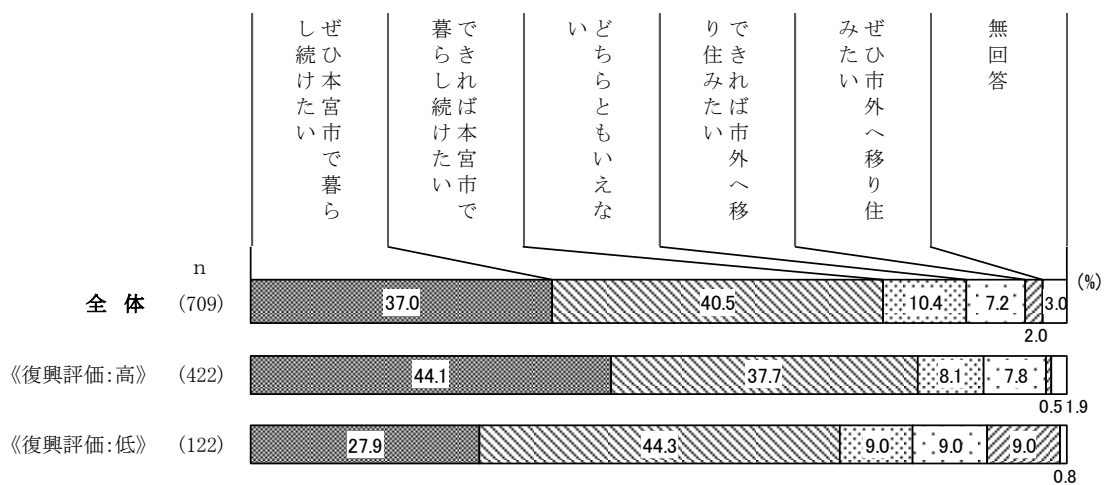
一方、「できれば市外へ移り住みたい」、「ぜひ市外へ移り住みたい」との回答は年代が低いほど多くなっている。

【今後の居留意向／日常生活の満足度別】



日常生活の満足度別にみると、《満足度》が高い人の《居留意向》は84.0%と高く、低い人の約1.4倍となっており、居留意向には日常生活の満足度との関連がみられる。

【今後の居留意向／復興評価別】



復興評価別にみると、満足度と同様に評価が高いほど居留意向も高く、復興状況の評価との関連もみられる。

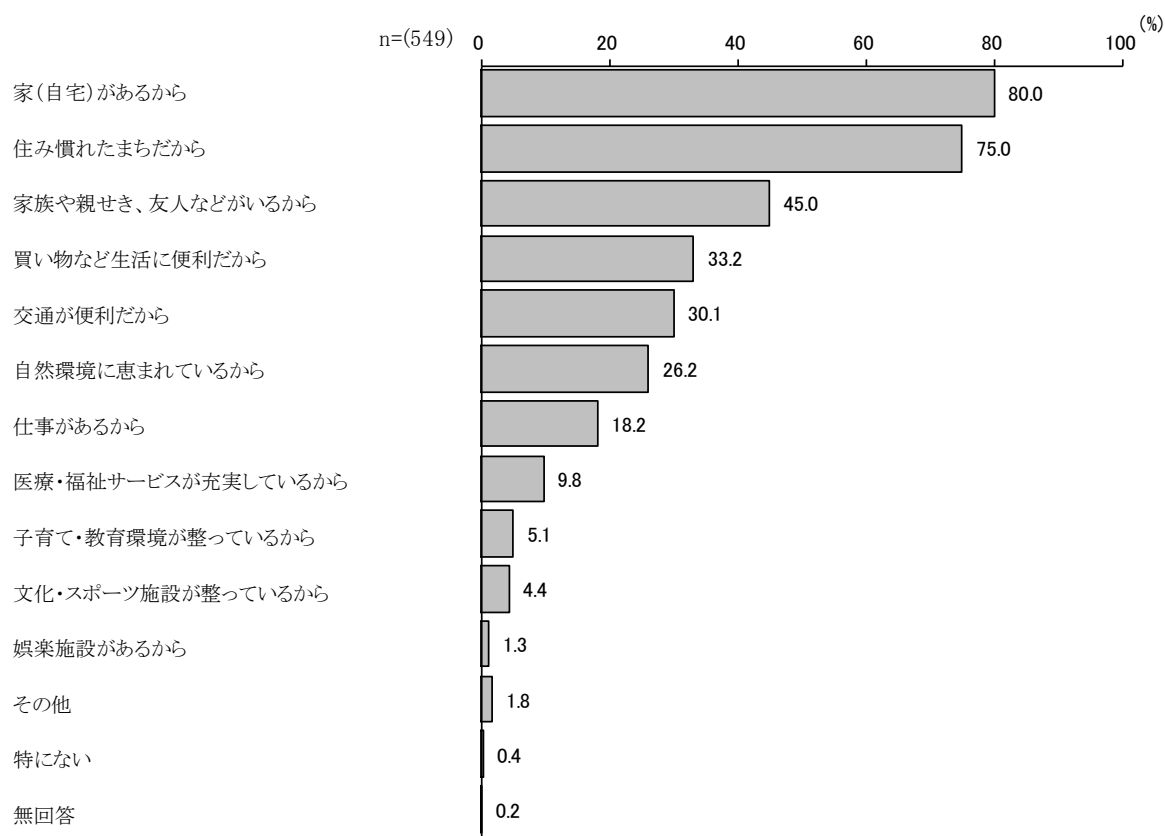
（２）本宮市で暮らし続けたい理由

- 本宮市で暮らし続けたい理由は、「家（自宅）があるから」がトップ。以下、「住み慣れたまちだから」など。
- 年代が高いほど、自宅があり地域に愛着があることが居住の理由となっており、市街地や高速道路のIC・国道４号のあるエリアでは生活や交通の利便性を理由としている。

【本宮市で暮らし続けたい（問12で「1」～「2」）と答えた方のみ】

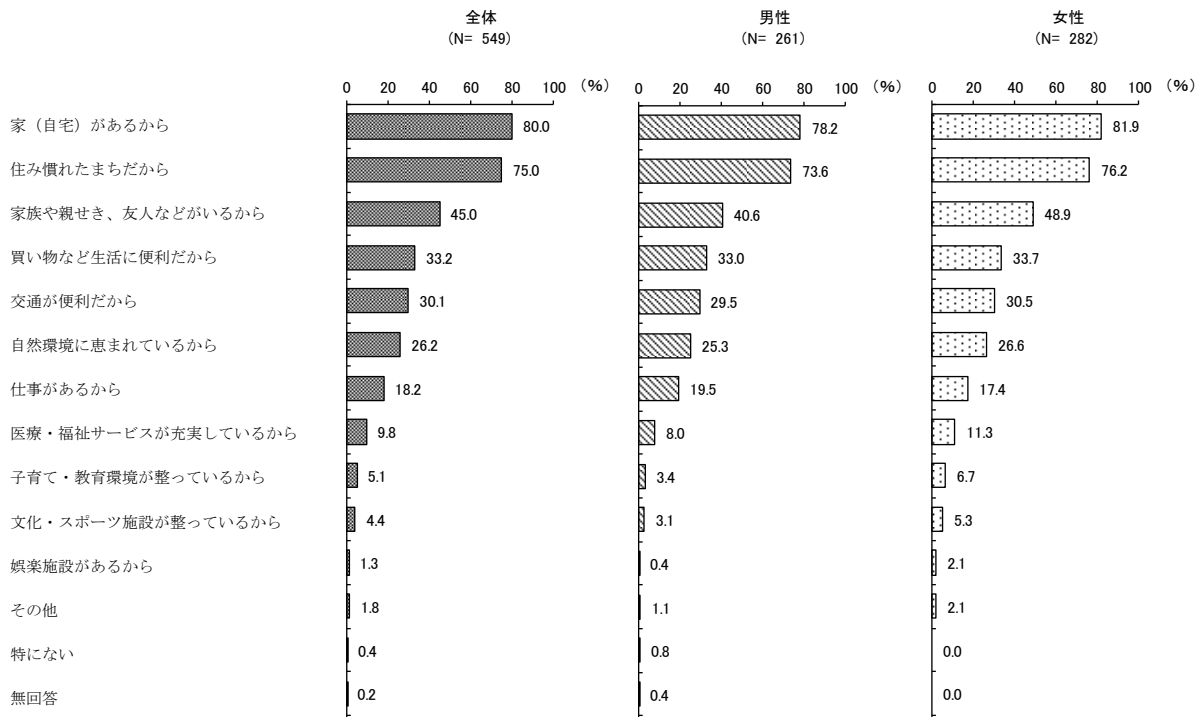
問12-1 本宮市で暮らし続けたいと思う理由は何ですか。

（あてはまるものすべてに○をお付けください。）



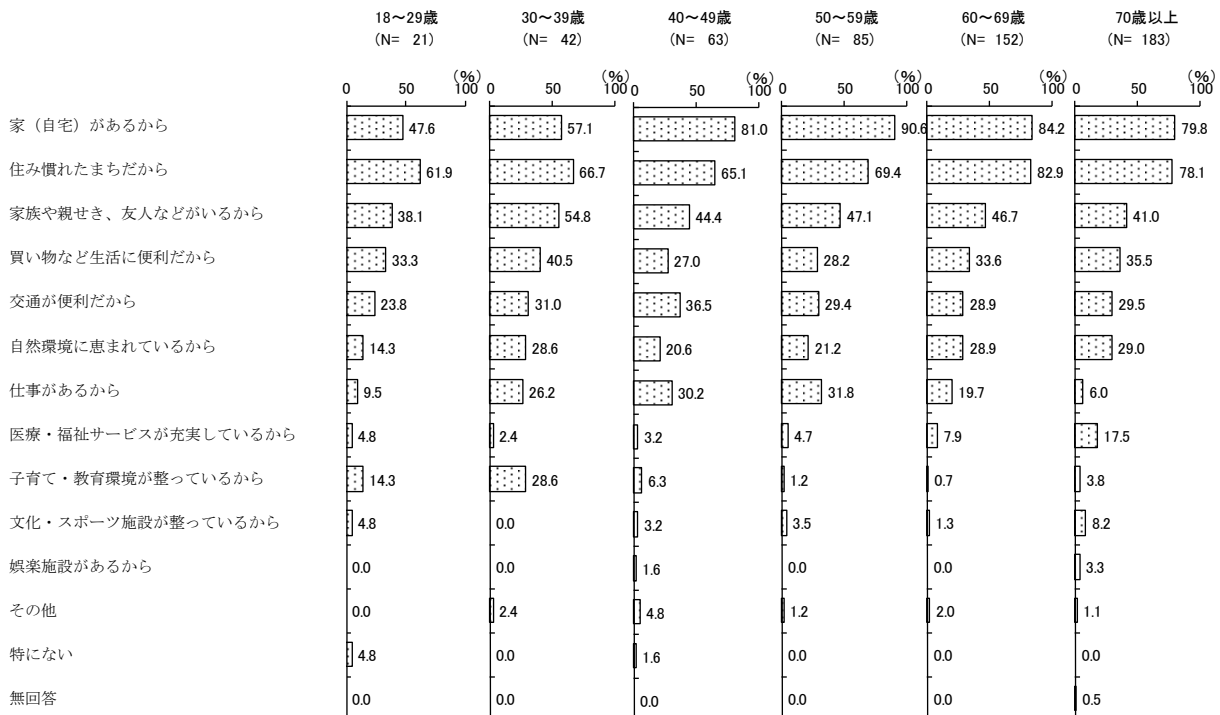
本宮市で暮らし続けたい理由は、「家（自宅）があるから」が80.0%と最も多く、以下、「住み慣れたまちだから」（75.0%）、「家族や親せき、友人などがいるから」（45.0%）となっている。

【本宮市で暮らし続けたい理由／性別】



性別にみると、女性は男性に比べて「家族や親せき、友人などがいるから」が多い。

【本宮市で暮らし続けたい理由／年齢別】



年齢別にみると、居住し続けたい理由としては、各年代で「家（自宅）があるから」「住み慣れたまちだから」が多く、特に40歳代以上では「家（自宅）があるから」との回答が8割以上を占める。

【本宮市で暮らし続けたい理由／居住地区別】

	調査数	家（自宅）があるから	住み慣れたまちだから	家族や親せき、友人などがいるから	買い物など生活に便利だから	交通が便利だから	自然環境に恵まれているから	仕事があるから	医療・福祉サービスが充実しているから	子育て・教育環境が整っているから	文化・スポーツ施設が整っているから	娯楽施設があるから	その他	特にない	無回答
全体	549	80.0	75.0	45.0	33.2	30.1	26.2	18.2	9.8	5.1	4.4	1.3	1.8	0.4	0.2
本宮	227	77.1	78.4	46.3	43.6	39.2	25.1	19.4	11.0	5.7	5.7	1.3	2.2	0.4	-
青田	26	76.9	80.8	38.5	23.1	19.2	23.1	11.5	7.7	7.7	3.8	3.8	3.8	3.8	-
荒井	31	77.4	77.4	51.6	51.6	61.3	35.5	19.4	6.5	9.7	-	-	-	-	-
仁井田	51	84.3	78.4	43.1	23.5	23.5	17.6	15.7	9.8	5.9	-	-	3.9	-	-
高木	60	76.7	81.7	48.3	41.7	28.3	31.7	16.7	10.0	8.3	8.3	3.3	-	-	1.7
岩根	39	82.1	48.7	23.1	20.5	12.8	20.5	17.9	12.8	2.6	2.6	-	-	-	-
関下	2	100.0	50.0	50.0	100.0	50.0	-	50.0	-	-	-	-	-	-	-
和田	20	95.0	65.0	45.0	25.0	25.0	40.0	25.0	5.0	-	-	-	-	-	-
糠沢	37	91.9	59.5	37.8	16.2	13.5	35.1	13.5	10.8	2.7	2.7	-	5.4	-	-
白岩	31	77.4	83.9	58.1	3.2	12.9	25.8	16.1	3.2	-	6.5	3.2	-	-	-
長屋	9	77.8	77.8	44.4	-	11.1	22.2	22.2	-	-	-	-	-	-	-
稲沢	11	81.8	90.9	54.5	18.2	9.1	18.2	18.2	27.3	-	-	-	-	-	-
松沢	3	66.7	66.7	100.0	-	33.3	33.3	33.3	-	-	33.3	-	-	-	-

※関下、長屋、松沢地区は調査数が少ないため、参考値としての掲載とする。

居住地別にみると、「家（自宅）があるから」は、和田、糠沢で9割以上、「住み慣れたまちだから」との回答は青田、高木、白岩、稲沢で8割以上、「家族や親せき、友人などがいるから」は、荒井、白岩、稲沢で5割以上と多くなっている。

また、「買い物など生活に便利だから」との回答は他の地区に比べて本宮、荒井、高木地区で、「交通が便利だから」との回答は荒井地区で多く、市街地や高速道路のインターチェンジ・国道4号のあるエリアでは生活や交通の利便性を理由に本宮市で暮らし続けたいとしている意見が比較的多くみられる。

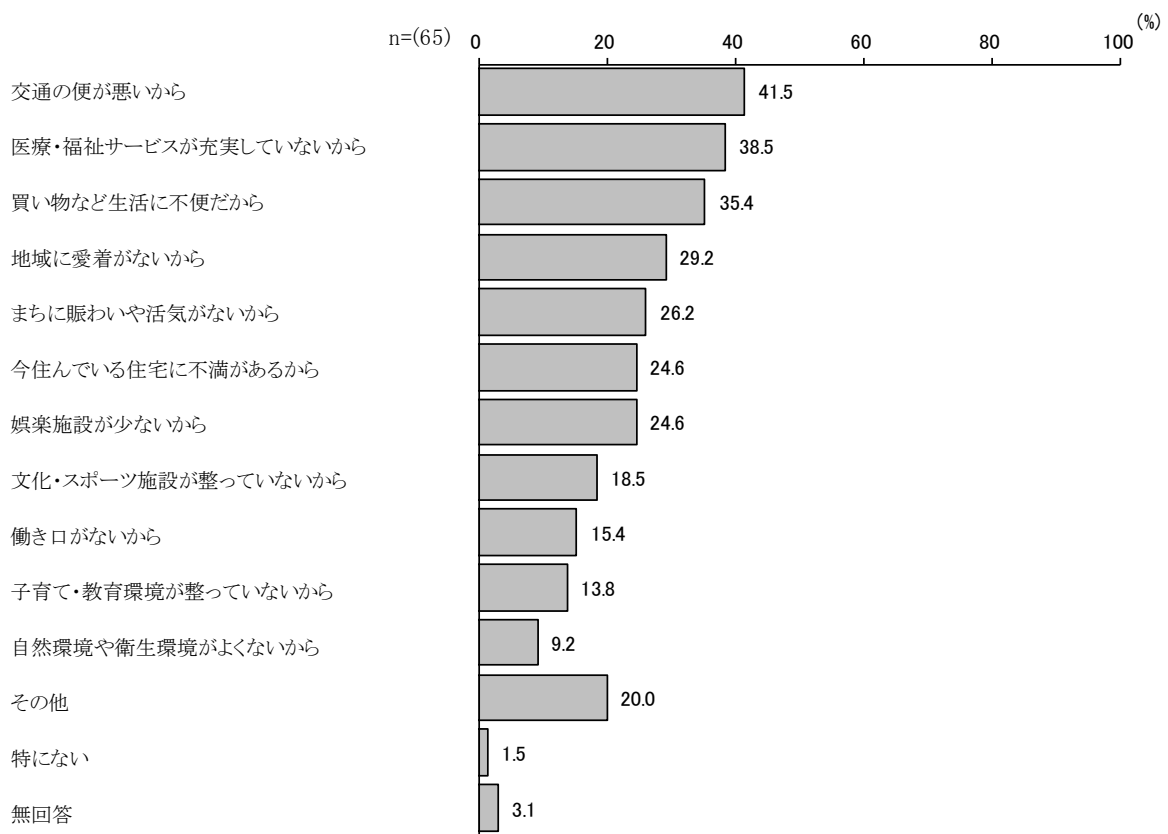
（３）市外に移り住みたい理由

- 市外に移り住みたい理由は、「交通の便が悪いから」がトップ。以下、「医療・福祉サービスが充実していないから」など。
- 市外への転居の意向が高い若い世代では娯楽の少なさ、40～50 歳代では生活や交通の利便性や福祉サービスの不足などが市外転居の要因に。

【本宮市外に移り住みたい（問 12 で「4」～「5」）と答えた方のみ】

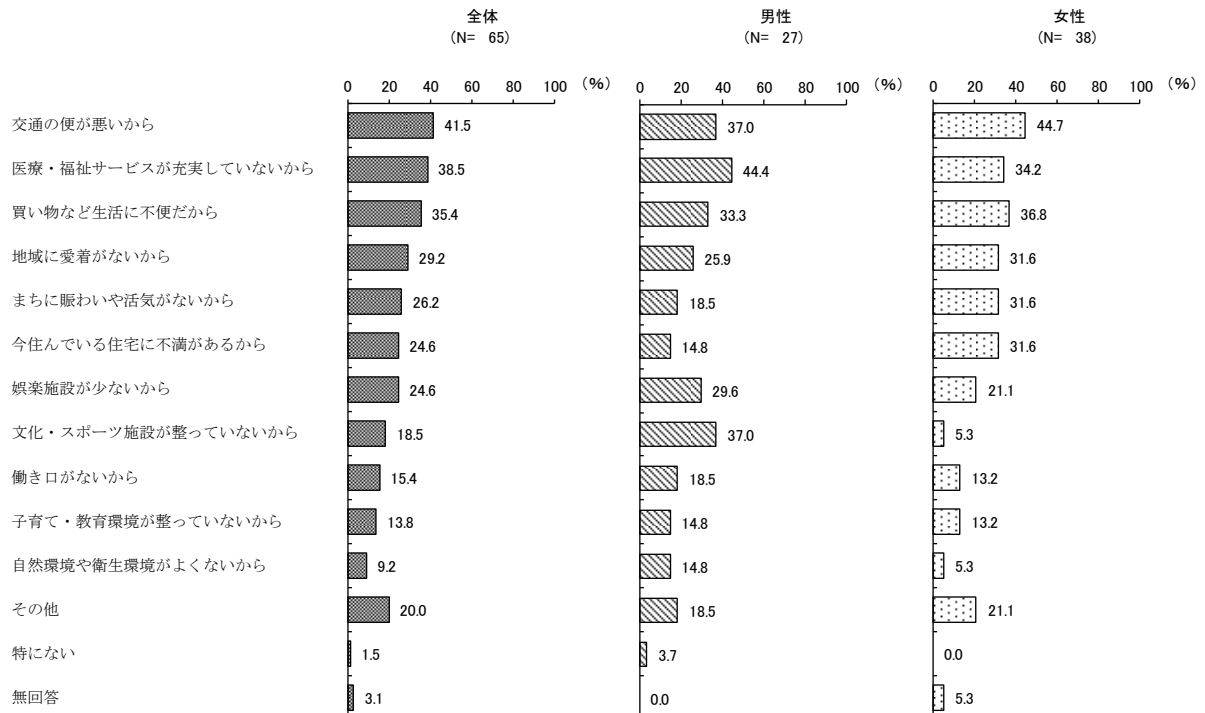
問 1 2—2 市外に移り住みたいと思う理由は何ですか。

（あてはまるものすべてに○をお付けください。）



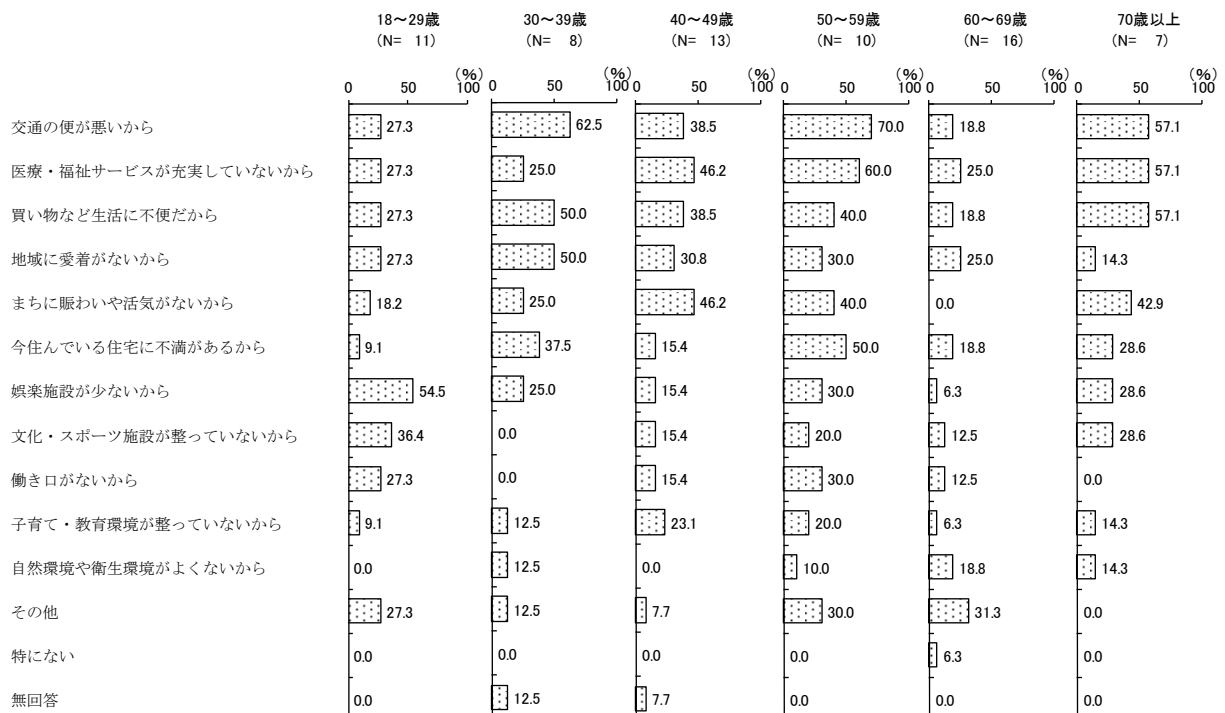
市外に移り住みたい理由は、「交通の便が悪いから」が 41.5%と最も多く、以下、「医療・福祉サービスが充実していないから」（38.5%）、「買い物など生活に不便だから」（35.4%）となっている。

【市外に移り住みたい理由／性別】



性別にみると、「医療・福祉サービスが充実していないから」「文化・スポーツ施設が整っていないから」は男性に多く、「交通の便が悪いから」「まちに賑わいや活気がないから」「今住んでいる住宅に不満があるから」は女性に多い。

【市外に移り住みたい理由／年齢別】



年齢別にみると、「交通の便が悪いから」「医療・福祉サービスが充実していないから」「まちに賑わいや活気がないから」が40～50歳代で多くあげられている。また、20歳代以下（18～29歳）の若い世代では「娯楽施設が少ないから」との意見が他の年代に比べ目立つ。

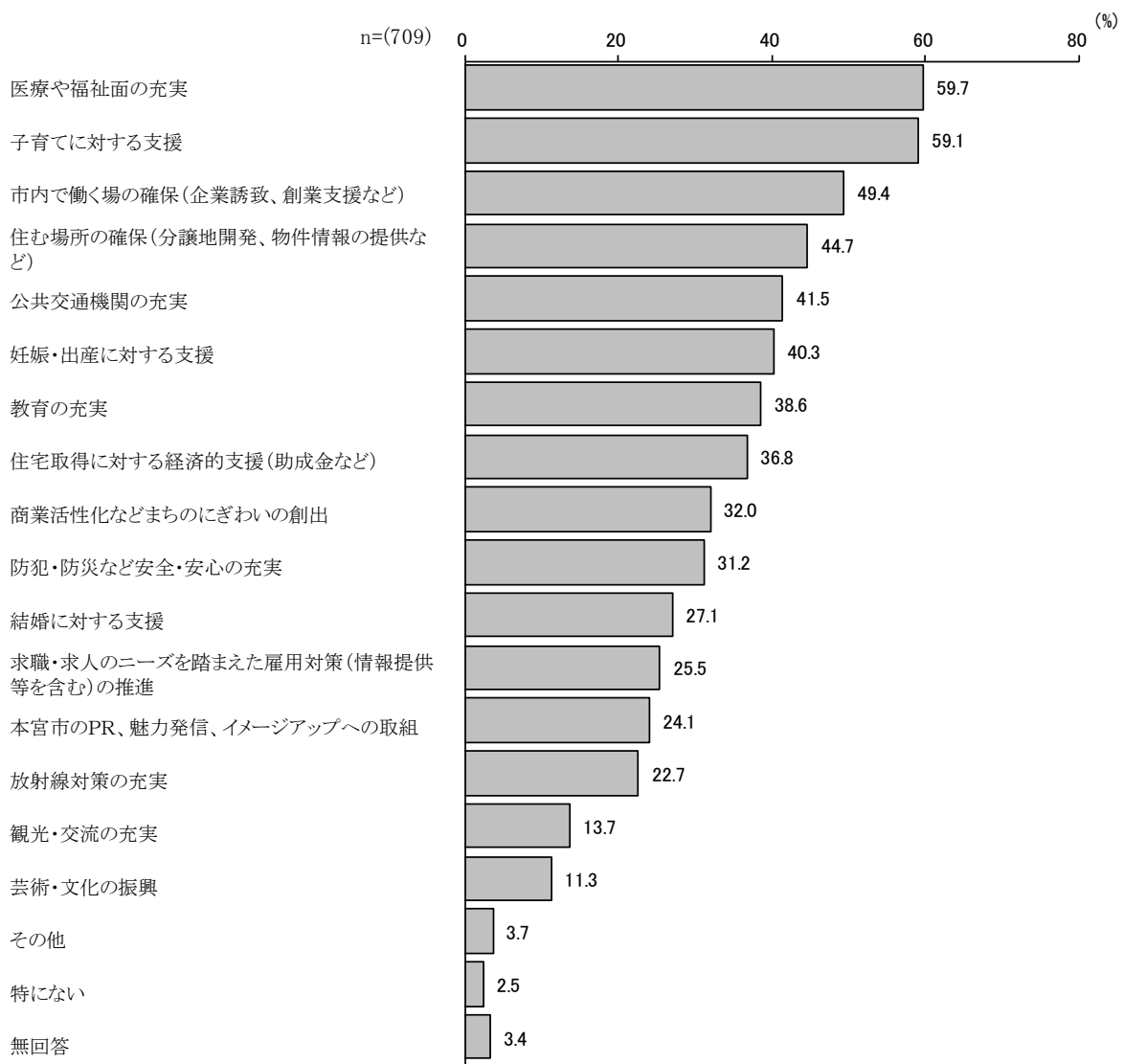
なお、上記の年齢別分析については、調査数が少ないため、参考値としての掲載とする。（とりわけ30～39歳、70歳以上は調査数が少ないため、分析コメントからも除外）

5 本宮市への定住・移住について

（1）本宮市への定住

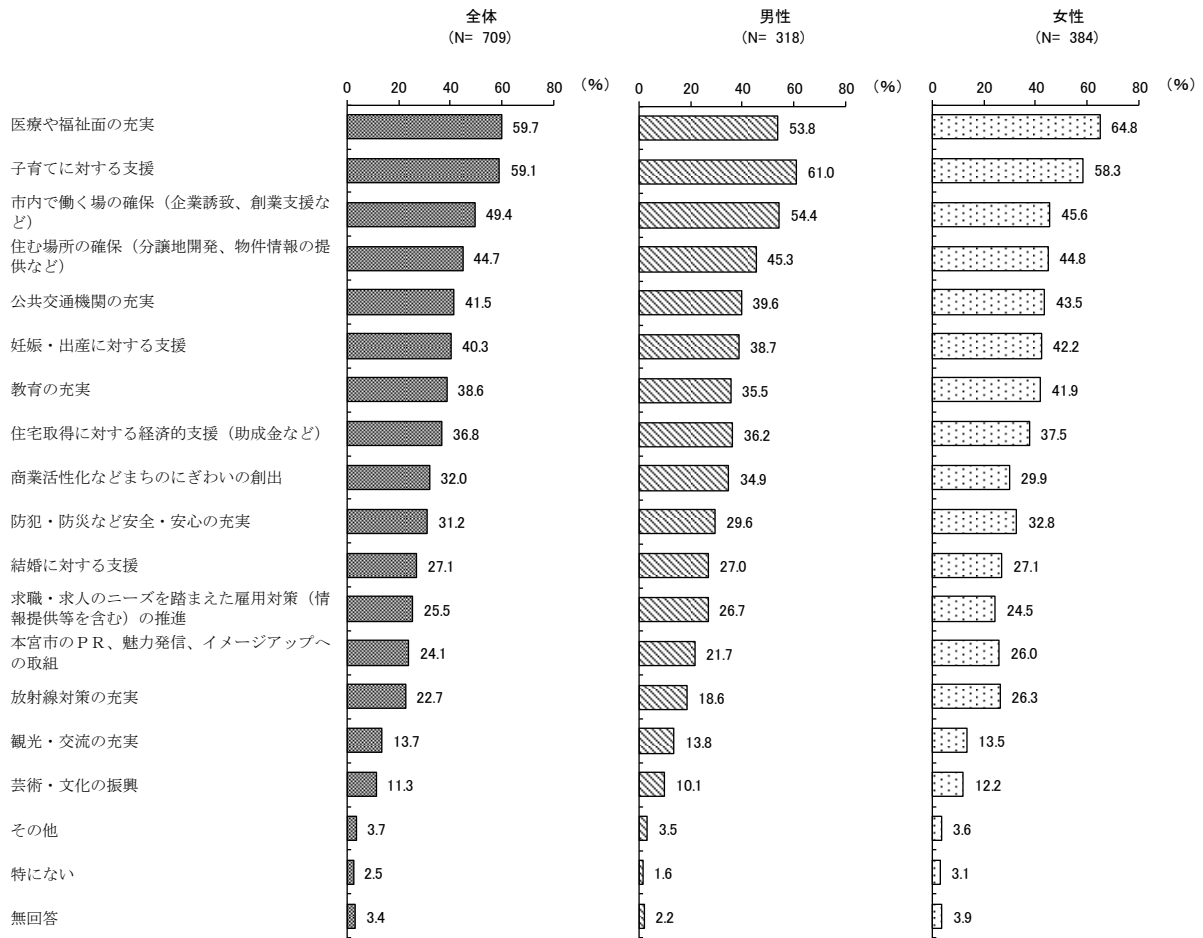
- 若い世代の定住に向けて、妊娠・出産や子育てへのニーズが高く、関連して医療や福祉の充実も望まれている。また、男性では働く場の確保についてのニーズも高い。
- 《居留意向》の低い人は、医療や福祉、公共交通や住宅取得への経済支援等を重視しており、若い世代の定住促進に向けてこれらの解決が課題。

問13 若い世代が本宮市に住み続けたり、市外にお住まいの方が本宮市に移り住みたいと思えるようにするには、どのような取組が重要だと思いますか。それぞれについてお答えください。（あてはまるものすべてに○をお付けください。）



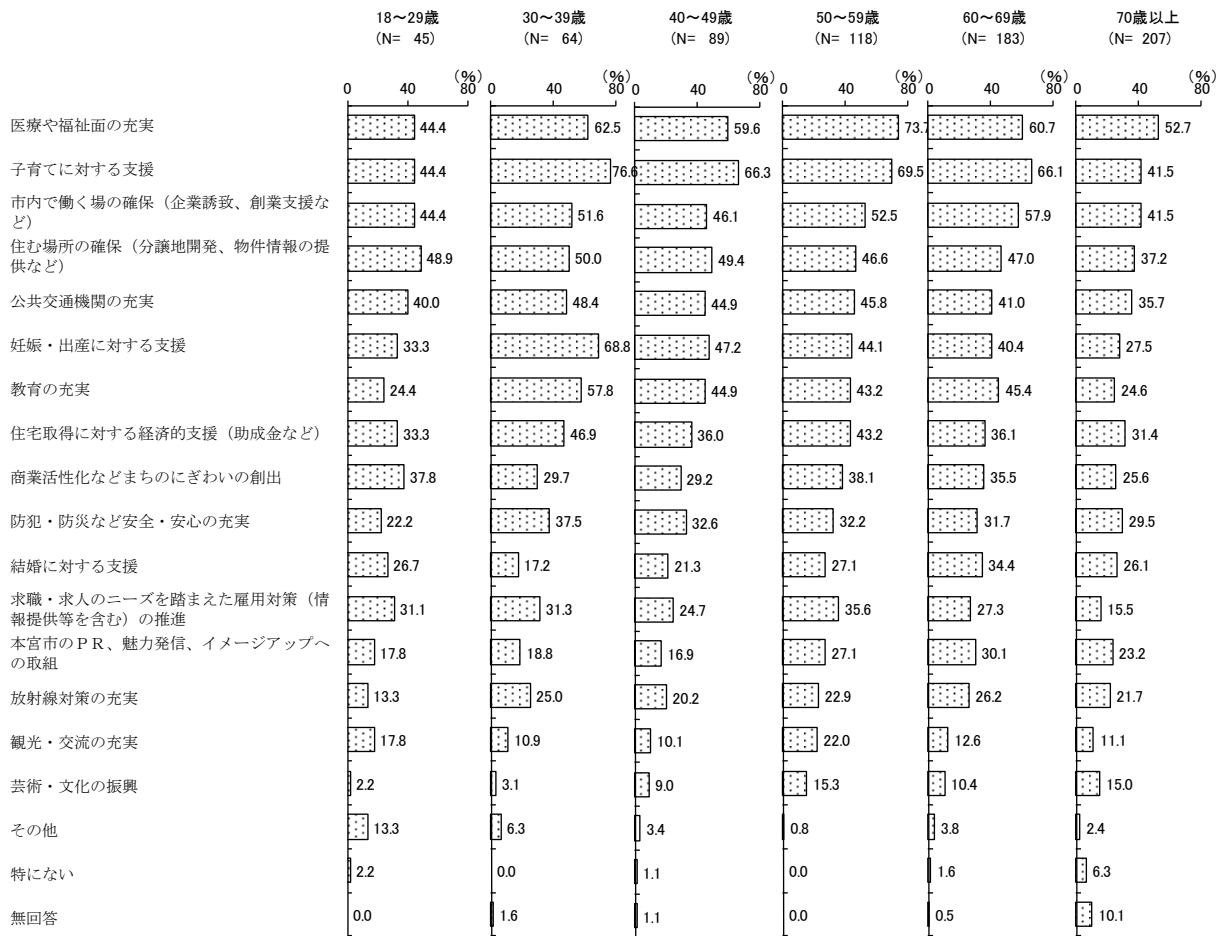
若い世代の定住に向けた取り組みとしては、「医療や福祉面の充実」が59.7%と最も多く、以下、「子育てに対する支援」(59.1%)、「市内で働く場の確保（企業誘致、創業支援など）」(49.4%)となっている。

【本宮市への定住／性別】



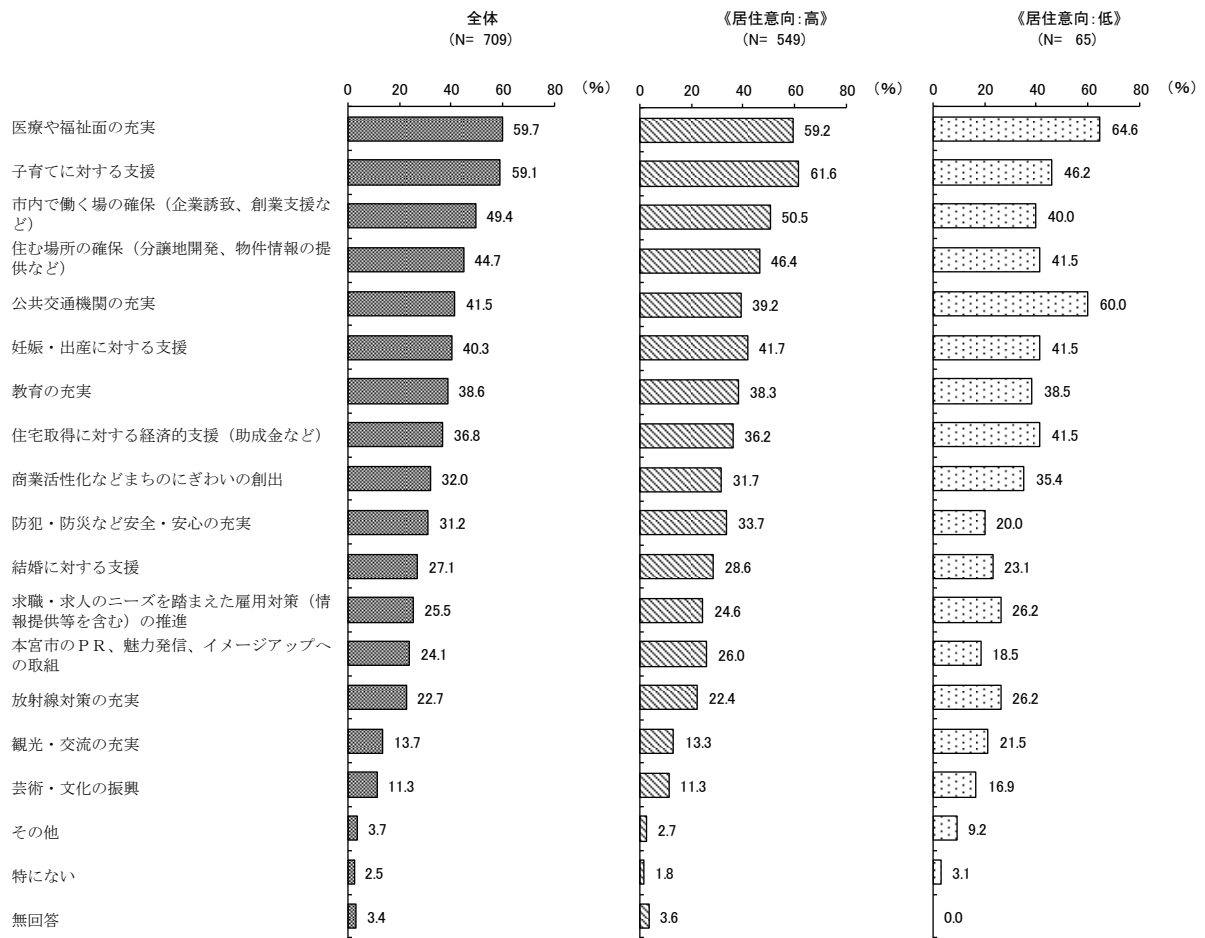
性別にみると、女性は男性に比べ「医療や福祉面の充実」を重視しており、男性は「市内で働く場の確保（企業誘致、創業支援など）」を重視している。

【本宮市への定住／年齢別】



年齢別にみると、30～39歳の若い世代では「子育てに対する支援」へのニーズが最も高く、関連して「妊娠・出産に対する支援」や「医療や福祉の充実」も重視されている。

【本宮市への定住／居留意向別】



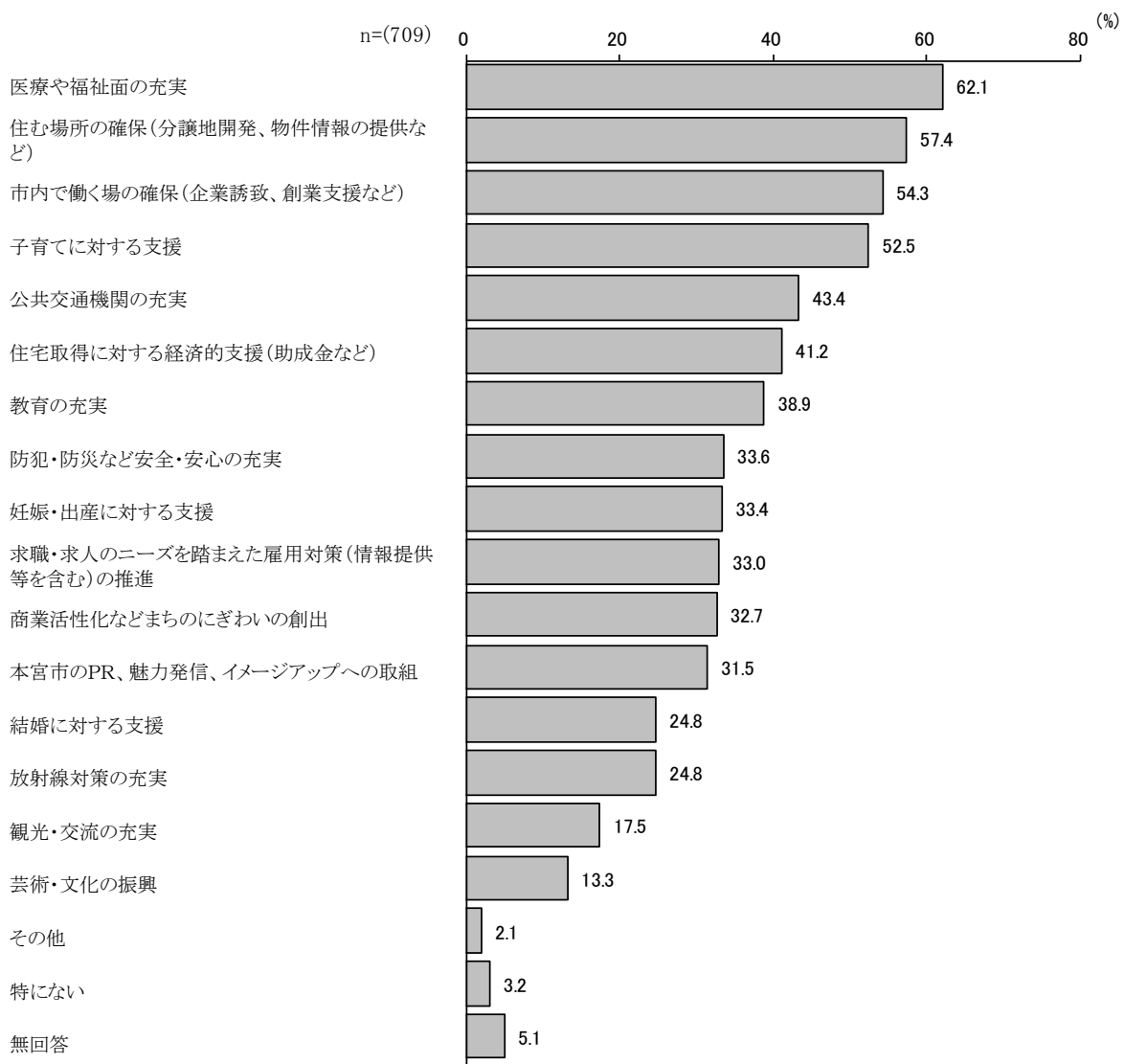
居留意向別にみると、《居留意向》が高い人は低い人に比べて「子育てに対する支援」「市内で働く場の確保（企業誘致、創業支援など）」「防犯・防災など安全・安心の充実」「結婚に対する支援」「本宮市のPR、魅力発信、イメージアップへの取組」を重視している。

一方、《居留意向》が低い人は「医療や福祉面の充実」「公共交通機関の充実」「住宅取得に対する経済的支援（助成金など）」「観光・交流の充実」「芸術・文化の振興」を重視しており、居留意向の低い層の定住促進に向け、これらの充実が課題となっている。

（２）本宮市への移住

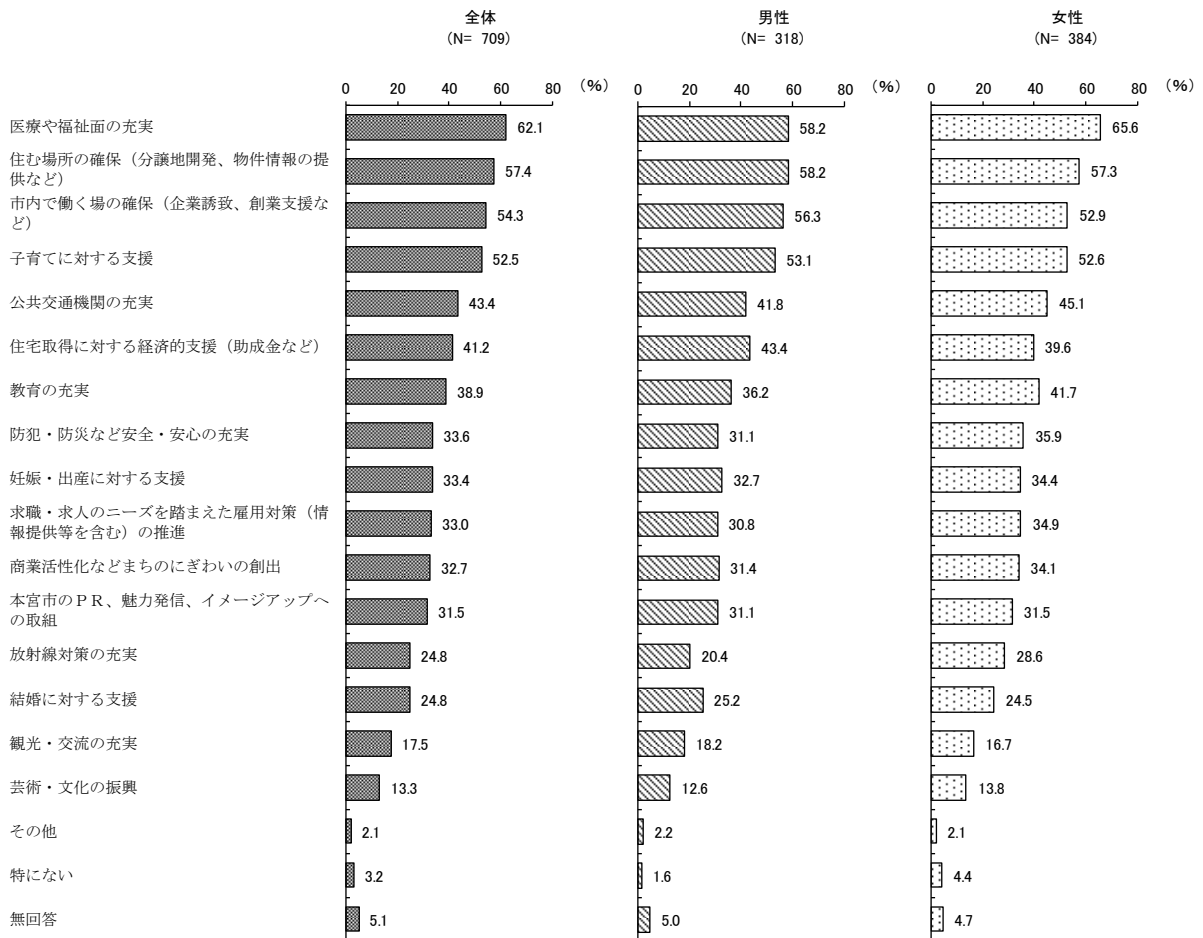
●移住者の増加に向けては、医療や福祉の充実などのサービスに加え、住宅確保や雇用の確保など生活基盤に関する施策が重要視されている。また、30歳代では、定住に向けたニーズと同様に、妊娠・出産や子育てについて重要と考えている人が多い。

問13 若い世代が本宮市に住み続けたり、市外にお住まいの方が本宮市に移り住みたいと思えるようにするには、どのような取組が重要だと思いますか。それぞれについてお答えください。（あてはまるものすべてに○をお付けください。）



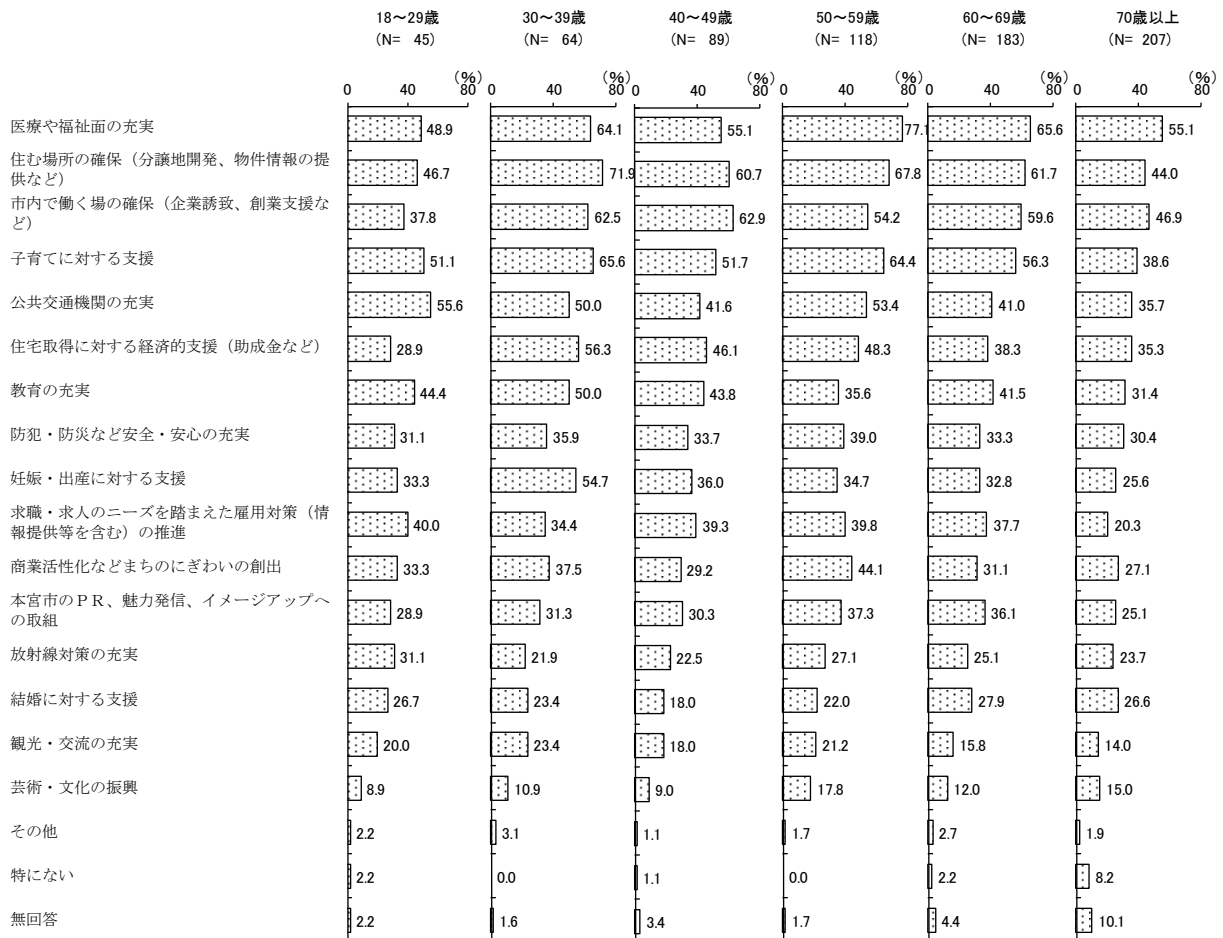
市外からの移住増加に向けた取り組みとしては、「医療や福祉面の充実」62.1%が最も多い。以下、「住む場所の確保（分譲地開発、物件情報の提供など）」（57.4%）、「市内で働く場の確保（企業誘致、創業支援など）」（54.3%）となっており、若者の定住促進に比べ、住宅や就労に関するニーズが高い。

【本宮市への移住／性別】



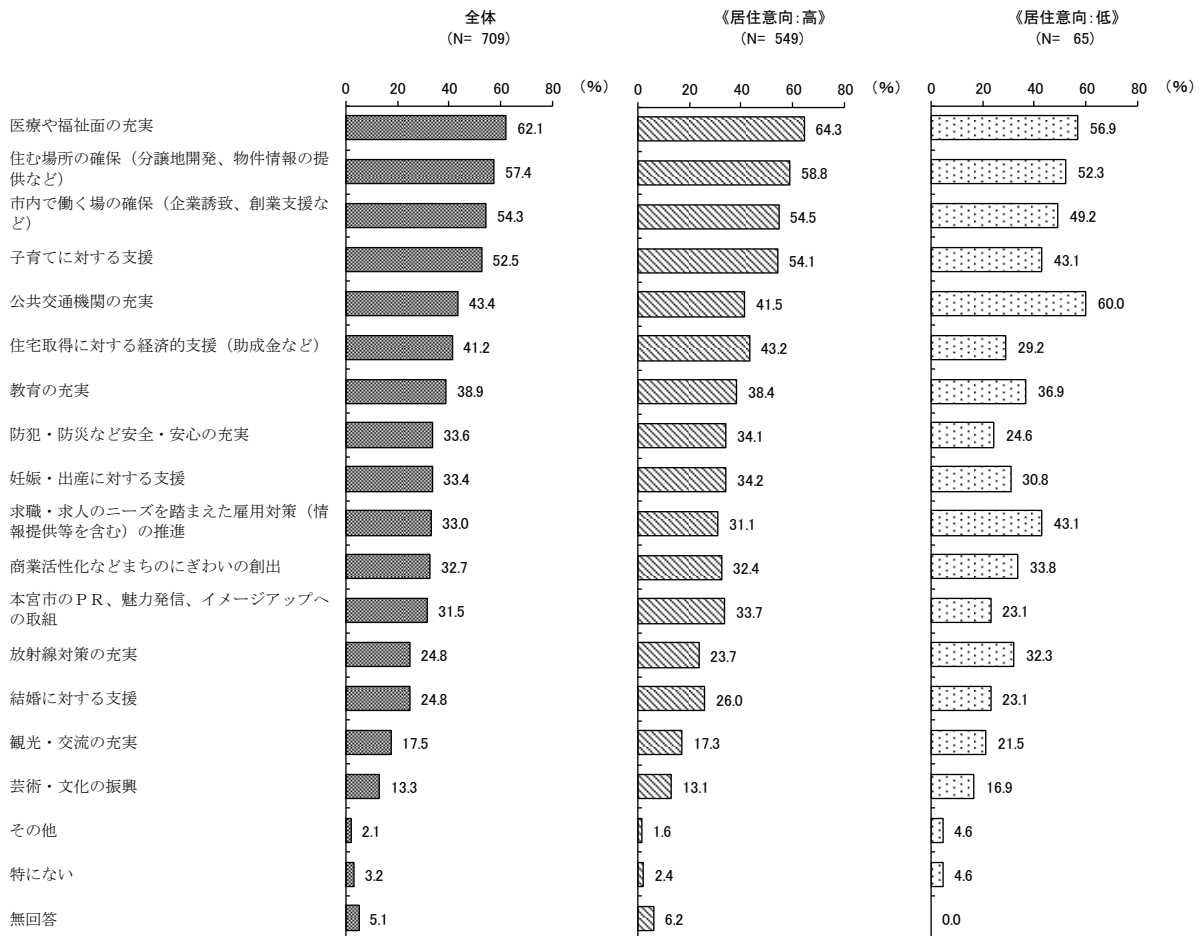
性別にみると、女性は男性に比べて「医療や福祉面の充実」「教育の充実」「放射線対策の充実」を重視している。

【本宮市への移住／年齢別】



年齢別にみると、「医療や福祉面の充実」にくわえ、「住む場所の確保（分譲地開発、物件情報の提供など）」「市内で働く場の確保（企業誘致、創業支援など）」などが高く、30～39歳では、これらに加え、「住宅取得に対する経済的支援（助成金など）」や「妊娠・出産に対する支援」「子育てに対する支援」などの回答が他の年代に比べ高くなっている。

【本宮市への移住／居留意向別】



居留意向別にみると《居留意向》が高い人は低い人に比べて「医療や福祉面の充実」「住む場所の確保（分譲地開発、物件情報の提供など）」「市内で働く場所の確保（企業誘致、創業支援など）」「子育てに関する支援」「住宅取得に対する経済的支援（助成金など）」「防犯・防災など安全・安心の充実」「本宮市のPR、魅力発信、イメージアップへの取組」を重視している。一方、《居留意向》が低い人は「公共交通機関の充実」「求職・求人のニーズを踏まえた雇用対策（情報提供等を含む）の推進」「放射線対策の充実」を重視している。

6 市の施策に対する満足度と今後の重要性について

本項では、本市で取り組む各施策について、「満足度」、「重要度」のそれぞれにおいて評価点を算出し、分析を行った。

評価点は1点～5点の間に分布し、3点が中間点、5点に近いほど評価は良く、逆に0点に近いほど評価が悪いことを表す。

満足度及び重要度の算出方法

現状の満足度及び今後の重要度をそれぞれ6段階評価で聞いた。

また、「満足度」、「重要度」を下記の数値評価に置き換え、加重平均にて評価点を算出した。

（評価点の算出にあたっては、「わからない」および無回答は除外し、算出）

得点が高いほど「満足度」では満足が、「重要度」では重要と考えている指標となる。

- 満足度：満足（5点）、やや満足（4点）、普通（3点）、やや不満（2点）、不満（1点）
- 重要度：高い（5点）、やや高い（4点）、普通（3点）、やや低い（2点）、低い（1点）

$$\frac{(\text{「満足」} \times 5 \text{点}) + (\text{「やや満足」} \times 4 \text{点}) + (\text{「ふつう」} \times 3 \text{点}) + (\text{「やや不満」} \times 2 \text{点}) + (\text{「不満」} \times 1 \text{点})}{\text{調査数} - (\text{「わからない」の回答者} + \text{「無回答」の回答者})} = \text{満足度}$$

※重要度についても同様の算出式

例) 学校教育の満足度

$$= (5 \text{点} \times 24) + (4 \text{点} \times 81) + (3 \text{点} \times 320) + (2 \text{点} \times 64) + (1 \text{点} \times 22) \div (709 - (146 + 52)) = 3.04$$

	調査数	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	わからない	無回答
1 学校等教育	709	24	81	320	64	22	146	52
	100.0	3.4	11.4	45.1	9.0	3.1	20.6	7.3

また、上記で算出した「満足度」、「重要度」をもとに、市民のニーズを明らかにするため、「ニーズ得点」の算出を行った。

ニーズ得点は「重要度」と「満足度」を上記のとおり得点化し、その差を求め、値が大きいほどニーズが高いと考える。つまりニーズが高い項目とは、「重要だと考えるが満足していない項目」となる。

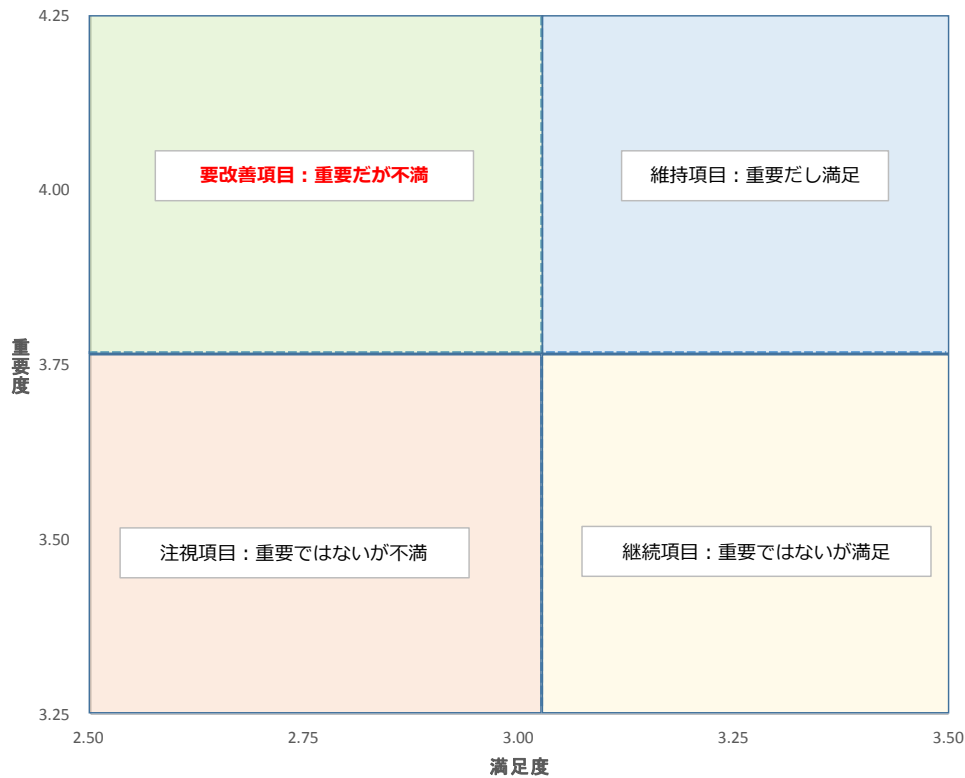
具体的な計算方法は次のとおり。

ニーズ得点の算出方法

$$\text{「重要度（加重平均）」} \times (5 - \text{「満足度（加重平均）」}) = \text{ニーズ得点}$$

ニーズ得点に加え、前述の「満足度」、「重要度」をもとに、まちづくり（取り組み）における項目間の相対的な位置付けを整理するため、散布図を作成した。

「満足度」「重要度」の関係を表す領域線は、それぞれの平均値を示す。



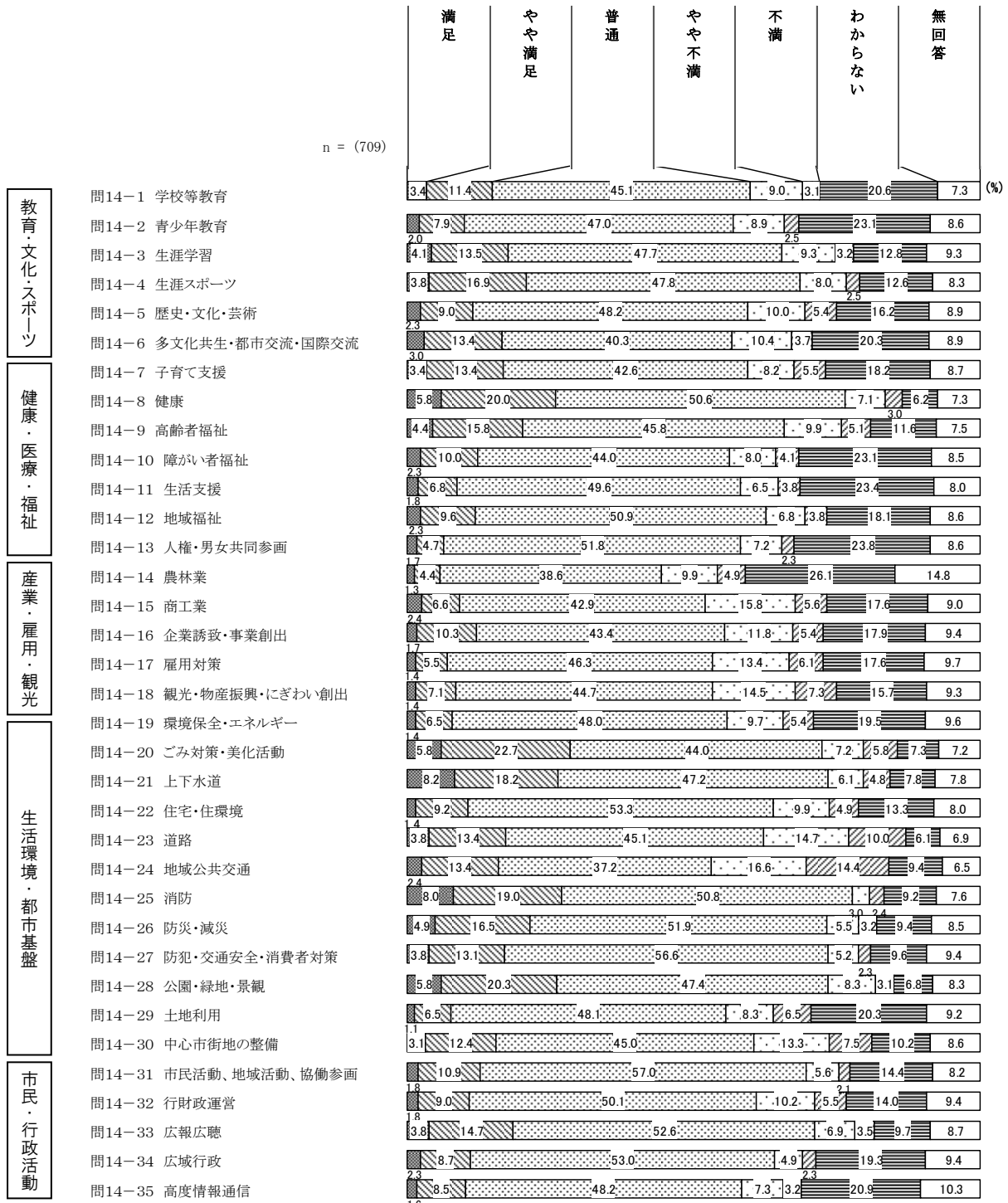
- 要改善項目：「満足度」が低く、「重要度」が高い
重要度が高い取り組みに対し満足度が低いため、現在のやり方を変えていく必要がある項目
- 注視項目：「満足度」も「重要度」も低い
重要度も満足度も低いため、市民ニーズを再認識し、必要があれば大きく改善する必要がある項目
- 維持項目：「満足度」も「重要度」も高い
重要度が高い取り組みに対し満足度も高いため、引き続き重点的に維持していく項目
- 継続項目：「満足度」が高く、「重要度」が低い
重要度は低い満足度が高いため、現状の取り組みを継続していく項目

※上記のそれぞれの領域に該当した項目の満足度や重要度の高低については、あくまで全体の平均と比較して、相対的に満足度や重要度が高い／低いということを示す。

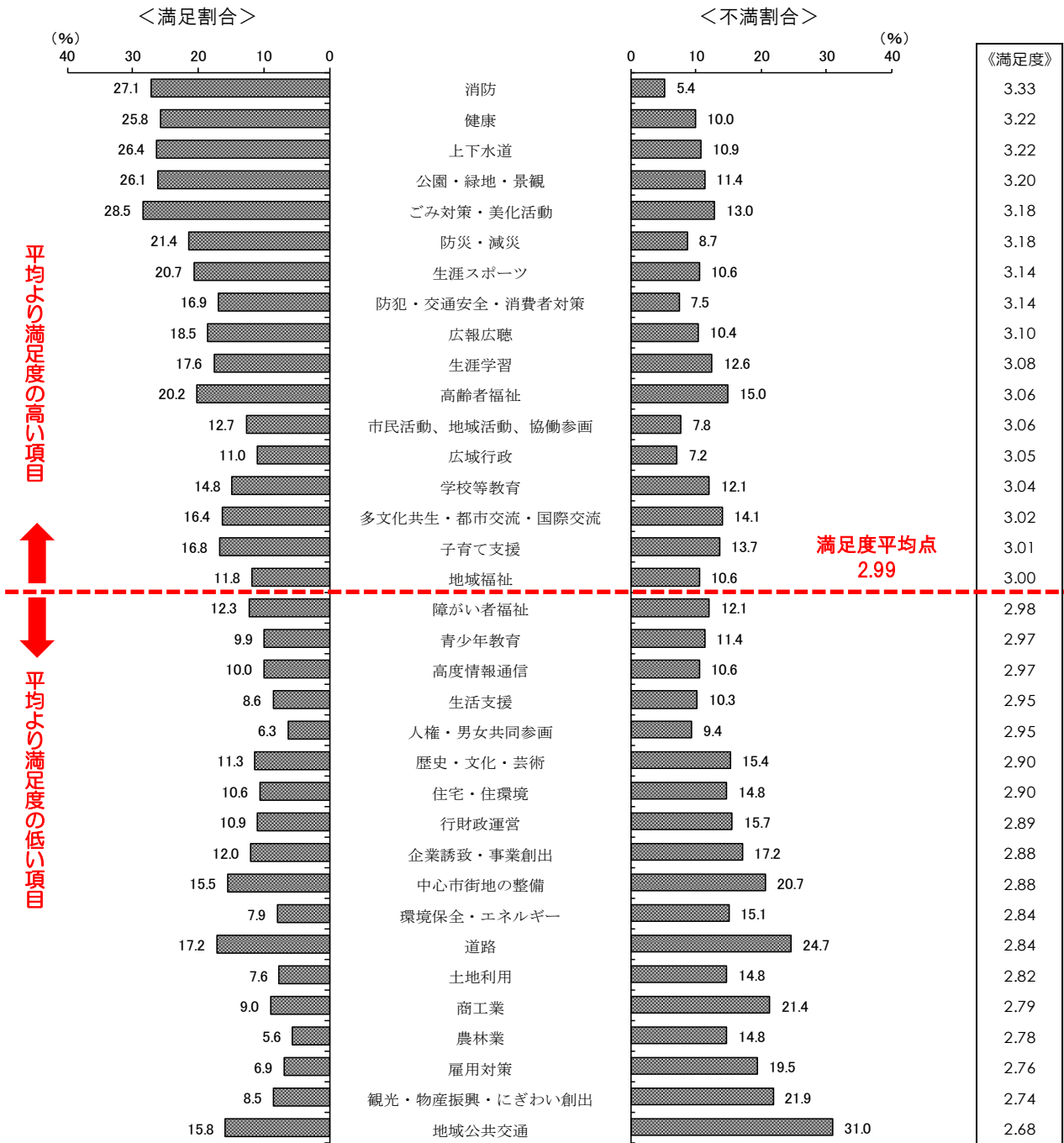
（１）満足度

- 満足度の高い施策は「消防」、「健康」、「上下水道」、「公園・緑地・景観」など。
- 一方、「観光・物産振興・にぎわい創出」、「雇用対策」、「農林業」、「商工業」などの、産業・雇用・観光分野においては他の分野に比べて満足度が低い。

問14 あなたは、本宮市が実施している次の施策（取組）について、現在どのくらい満足されていますか。また、今後の重要性についてどのようにお考えですか。



【満足割合・不満割合】



調査結果（市民意識）
6 市の施策に対する満足度と今後の重要性について

市の取り組む各施策について、満足度に加え、『満足』と『やや満足』を合わせた《満足割合》、『不満』と『やや不満』を合わせた《不満割合》を算出した。

《満足割合》は「ごみ対策・美化活動」が最も高く、《不満割合》は「地域公共交通」や「道路」の交通関連施策で高くなっている。

上記を踏まえた総合的な評価である満足度は「消防」で最も高く、以下、「健康」、「上下水道」、「公園・緑地・景観」などとなっている。一方、満足度が最も低いのは「地域公共交通」となっており、「観光・物産振興・にぎわい創出」、「雇用対策」、「農林業」、「商工業」などの産業・雇用・観光分野の各施策においても満足度の低さが目立つ。

【満足度／性別順位（上位5項目）】

	1位	2位	3位	4位	5位	全施策平均
全体	消防 3.33	健康 3.22	上下水道 3.22	公園・緑地・景観 3.20	ごみ対策・美化活動 ／防災・減災 3.18	2.99
男性	消防 3.33	上下水道 3.23	ごみ対策・美化活動 3.18	健康 3.16	公園・緑地・景観 3.15	2.96 ↓
女性	消防 3.32	健康 3.26	公園・緑地・景観 3.25	生涯スポーツ 3.22	防災・減災 3.22	3.01 ↑

【満足度／年齢別順位（上位5項目）】

	1位	2位	3位	4位	5位	全施策平均
全体	消防 3.33	健康 3.22	上下水道 3.22	公園・緑地・景観 3.20	ごみ対策・美化活動 ／防災・減災 3.18	2.99
18～29歳	消防 3.57	防災・減災 3.42	ごみ対策・美化活動 3.38	防犯・交通安全 ・消費者対策 3.38	健康 3.34	3.06 ↑
30～39歳	公園・緑地・景観 3.35	消防 3.29	青少年教育 3.24	生涯スポーツ 3.17	学校等教育 3.14	2.96 ↓
40～49歳	消防 3.12	防災・減災 3.11	防犯・交通安全 ・消費者対策 3.07	公園・緑地・景観 3.07	生涯スポーツ 3.05	2.92 ↓
50～59歳	消防 3.27	公園・緑地・景観 3.13	生涯スポーツ 3.11	健康／上下水道 ／防犯・交通安全・消費者対策 3.08		2.85 ↓
60～69歳	ごみ対策・美化活動 3.26	上下水道 3.24	消防 3.24	健康 3.16	防災・減災 3.15	2.96 ↓
70歳以上	消防 3.54	健康 3.49	上下水道 3.48	ごみ対策・美化活動 3.39	公園・緑地・景観 3.39	3.14 ↑

【満足度／居留意向別順位（上位5項目）】

	1位	2位	3位	4位	5位	全施策平均
全体	消防 3.33	健康 3.22	上下水道 3.22	公園・緑地・景観 3.20	ごみ対策・美化活動 ／防災・減災 3.18	2.99
《居留意向：高》	消防 3.36	上下水道 3.29	健康 3.28	公園・緑地・景観 3.26	ごみ対策・美化活動 3.23	3.03 ↑
《居留意向：低》	消防 3.08	上下水道 3.07	防犯・交通安全 ・消費者対策 3.05	防災・減災 2.96	公園・緑地・景観 2.95	2.70 ↓

満足度について性別にみると、男性に比べ女性で全施策の平均点が高く、「健康」や「公園・緑地・景観」の満足度が高い。

年齢別にみると、全施策の平均点は70歳以上や18～29歳で高く、30～39歳では全体で4位の「公園・緑地・景観」が、60～69歳では全体で5位の「ごみ対策・美化活動」の満足度が1位となっている。

居留意向別にみると、《居留意向》の高い人で全施策の平均点が高い。

【満足度／居住地別順位（上位5項目）】

	1位	2位	3位	4位	5位	全施策平均
全体	消防 3.33	健康 3.22	上下水道 3.22	公園・緑地・景観 3.20	ごみ対策・美化活動 ／防災・減災 3.18	2.99
本宮	消防 3.36	公園・緑地・景観 3.25	健康 3.24	防災・減災 3.23	ごみ対策・美化活動 ／上下水道 3.21	2.98 ↓
青田	消防 3.46	上下水道 3.45	公園・緑地・景観 3.42	ごみ対策・美化活動 3.31	健康 3.30	3.03 ↑
荒井	健康 3.38	消防 3.38	公園・緑地・景観 3.29	防災・減災 3.27	高齢者福祉 ／広報広聴 3.26	3.07 ↑
仁井田	上下水道 3.32	消防 3.20	防災・減災 3.20	広報広聴 3.20	公園・緑地・景観 3.18	2.94 ↓
高木	消防 3.34	公園・緑地・景観 3.26	健康 3.21	上下水道 3.20	生涯スポーツ 3.17	2.95 ↓
岩根	消防 3.23	上下水道 3.20	健康 3.16	障がい者福祉 3.11	防災・減災 3.09	2.88 ↓
関下	子育て支援 4.50	学校等教育 4.00	企業誘致・事業創出 4.00	消防 4.00	※同率の項目が多数の ため5位以降は掲載を 省略	3.56 ↑
和田	多文化共生 ・都市交流・国際交流 3.40	生涯学習 3.35	生涯スポーツ 3.33	地域福祉 3.33	障がい者福祉 3.32	3.07 ↑
糠沢	消防 3.42	生涯学習 3.29	生涯スポーツ 3.17	健康 3.15	高齢者福祉 3.14	2.96 ↓
白岩	上下水道 3.39	高度情報通信 3.27	ごみ対策・美化活動 3.23	広報広聴 3.22	広域行政 3.21	2.92 ↓
長屋	公園・緑地・景観 3.63	広報広聴 3.63	高度情報通信 3.60	消防 3.57	市民活動・地域 活動、協働参画 3.57	3.32 ↑
稲沢	生涯スポーツ 3.62	消防 3.57	生涯学習 3.54	学校等教育 3.50	高齢者福祉 3.47	3.18 ↑
松沢	上下水道 4.67	健康 4.33	ごみ対策・美化活動 4.33	広報広聴 4.33	※同率の項目が多数の ため5位以降は掲載を 省略	3.51 ↑

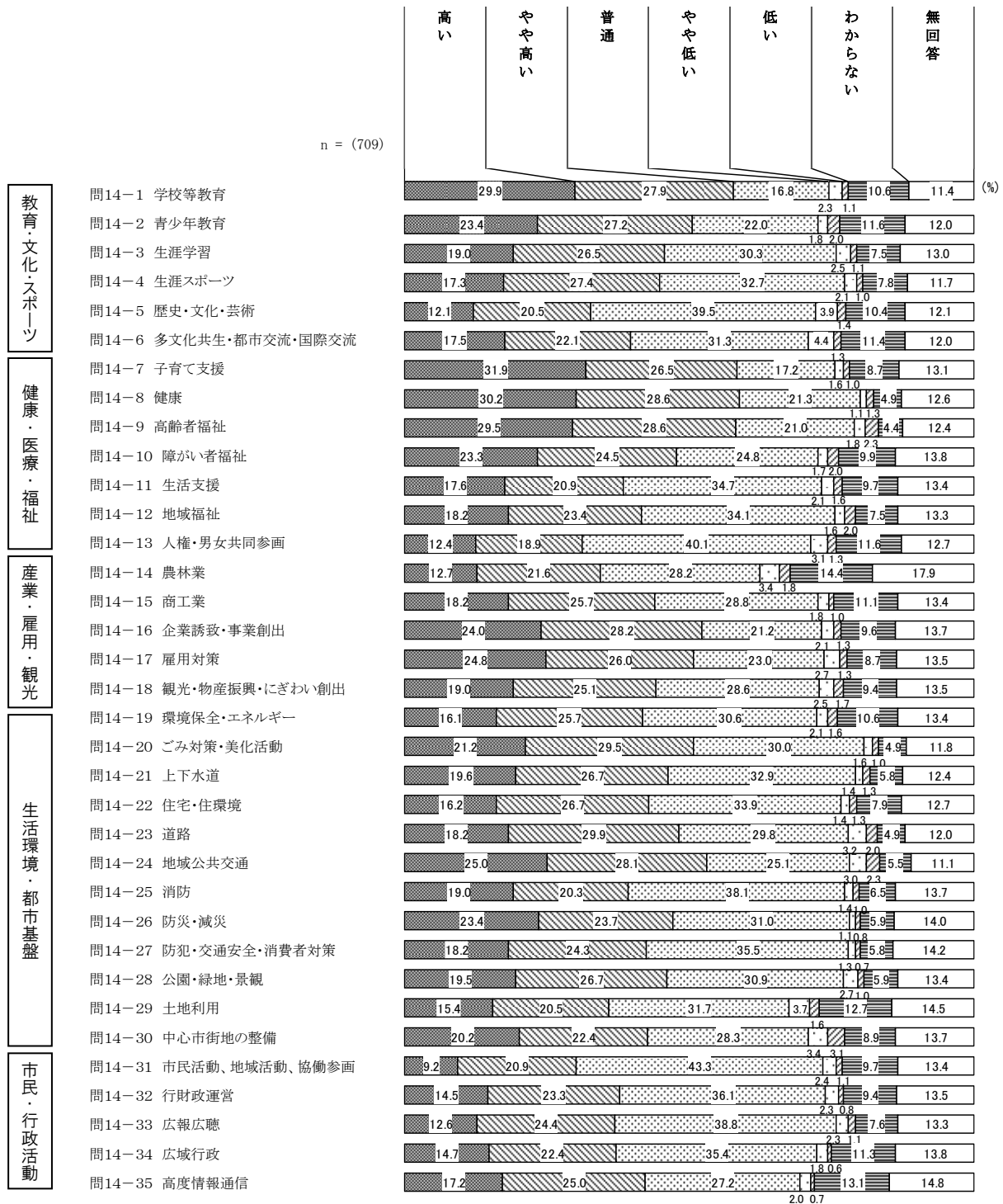
満足度について居住地別にみると、全施策の平均点は青田、荒井、和田、稲沢で高い。

仁井田では全体で3位の「上下水道」が、和田ではランク外の「多文化共生・都市交流・国際交流」が、稲沢では全体ではランク外の「生涯スポーツ」の満足度が1位となっている。

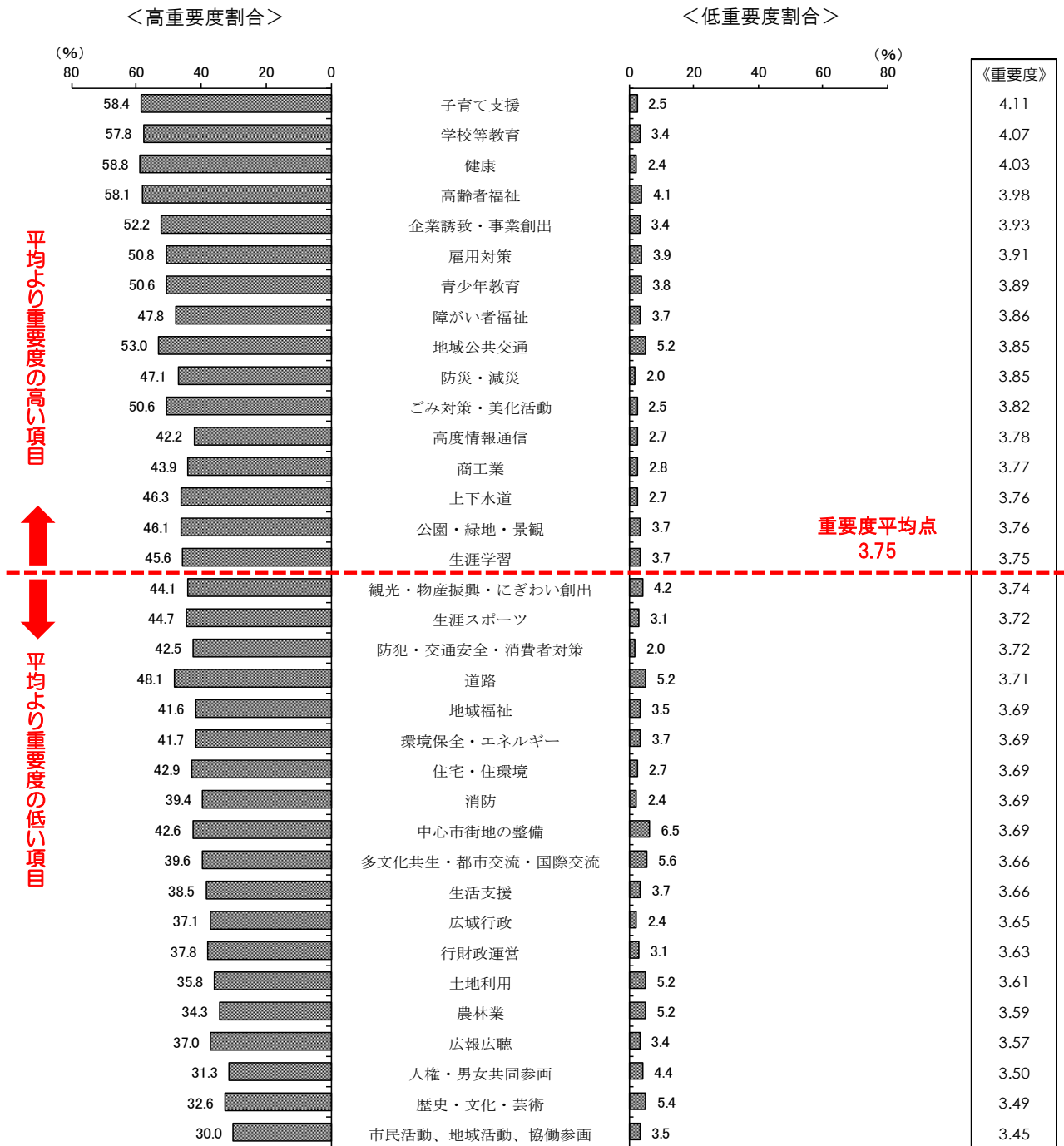
（２）重要度

- 重要度の高い施策は「子育て支援」、「学校等教育」など。他、「健康」、「高齢者福祉」、「障がい者福祉」なども高く、他の分野に比べて健康・医療・福祉分野の重要度が高い。
- また、「雇用対策」や「企業誘致」など雇用に関する項目や「地域公共交通」も重要度が高い。

問14 あなたは、本宮市が実施している次の施策（取組）について、現在どのくらい満足されていますか。また、今後の重要性についてどのようにお考えですか。



【高重要度・低重要度割合】



調査結果（市民意識）
6 市の施策に対する満足度と今後の重要性について

市の取り組む各施策について、重要度に加え、『高い』と『やや高い』を合わせた《高重要度割合》、『低い』と『やや低い』を合わせた《低重要度割合》を算出した。

《重要度高割合》は「健康」が最も高く、《低重要度割合》は「中心市街地の整備」で高くなっている。

上記を踏まえた総合的な評価である重要度は「子育て支援」で最も高く、以下、「学校等教育」、「健康」、「高齢者福祉」などとなっている。一方、重要度が最も低いのは「市民活動、地域活動、共同参画」となっており、「広報広聴」、「行財政運営」、「広域行政」なども含めた市民・行政活動分野の各施策において重要度の低さが目立つ。

【重要度／性別順位（上位5項目）】

	1位	2位	3位	4位	5位	全施策平均
全体	子育て支援 4.11	学校等教育 4.07	健康 4.03	高齢者福祉 3.98	企業誘致・事業創出 3.93	3.75
男性	子育て支援 4.11	学校等教育 4.00	健康 3.99	企業誘致・事業創出 3.97	高齢者福祉 ／雇用対策 3.90	3.70 ↓
女性	学校等教育 4.13	子育て支援 4.11	健康 4.07	高齢者福祉 4.04	障がい者福祉 3.98	3.79 ↑

【重要度／年齢別順位（上位5項目）】

	1位	2位	3位	4位	5位	全施策平均
全体	子育て支援 4.11	学校等教育 4.07	健康 4.03	高齢者福祉 3.98	企業誘致・事業創出 3.93	3.75
18～29歳	子育て支援 4.13	学校等教育 4.12	健康 4.02	地域公共交通 3.93	防災・減災 3.93	3.68 ↓
30～39歳	子育て支援 4.48	健康 4.44	高齢者福祉 4.41	学校等教育 4.33	雇用対策 4.23	3.90 ↑
40～49歳	子育て支援 4.26	健康 4.19	学校等教育 4.17	雇用対策 4.10	企業誘致・事業創出 ／地域公共交通 4.05	3.75 →
50～59歳	学校等教育 4.34	子育て支援 4.27	高齢者福祉 4.24	地域公共交通 4.14	青少年教育 4.11	3.91 ↑
60～69歳	学校等教育 3.94	子育て支援 3.94	健康 3.94	企業誘致・事業創出 3.81	青少年教育 3.80	3.62 ↓
70歳以上	消防 3.90	上下水道 3.89	子育て支援 3.88	ごみ対策・美化活動 3.85	公園・緑地・景観 3.85	3.72 ↓

【重要度／居留意向別順位（上位5項目）】

	1位	2位	3位	4位	5位	全施策平均
全体	子育て支援 4.11	学校等教育 4.07	健康 4.03	高齢者福祉 3.98	企業誘致・事業創出 3.93	3.75
《居留意向：高》	子育て支援 4.12	学校等教育 4.05	健康 4.04	高齢者福祉 4.00	企業誘致・事業創出 3.94	3.77 ↑
《居留意向：低》	学校等教育 4.12	子育て支援 3.98	地域公共交通 3.97	健康 3.96	企業誘致・事業創出 3.89	3.61 ↓

重要度について性別にみると、男性に比べ女性で全施策の平均点が高い。

年齢別にみると、全施策の平均点は30～39歳や50～59歳で高い。また、50～59歳、60～69歳では全体で2位の「学校等教育」が、70歳以上では全体ではランク外の「消防」の重要度が1位となっている。

居留意向別にみると、《居留意向》の高い人で全施策の平均点が高い。《居留意向》の低い人では、全体ではランク外の「地域公共交通」の重要度が3位となっている。

【重要度／居住地別順位（上位5項目）】

	1位	2位	3位	4位	5位	全施策平均
全体	子育て支援 4.11	学校等教育 4.07	健康 4.03	高齢者福祉 3.98	企業誘致・事業創出 3.93	3.75
本宮	子育て支援 4.06	学校等教育 4.05	健康 4.01	高齢者福祉 3.89	青少年教育 3.87	3.74 ↓
青田	子育て支援 4.29	健康 4.08	企業誘致・事業創出 4.07	雇用対策 4.04	学校等教育 ／防災・減災 4.00	3.83 ↑
荒井	学校等教育 4.21	子育て支援 4.16	高齢者福祉 4.16	健康 4.15	青少年教育 4.06	3.79 ↑
仁井田	高齢者福祉 4.08	健康 4.02	子育て支援 4.00	雇用対策 4.00	企業誘致・事業創出 3.98	3.80 ↑
高木	子育て支援 4.13	高齢者福祉 4.08	健康 4.06	学校等教育 3.98	企業誘致・事業創出 3.98	3.74 ↓
岩根	子育て支援 4.33	学校等教育 4.27	健康 4.21	雇用対策 4.07	地域公共交通 4.06	3.77 ↑
関下	子育て支援 5.00	企業誘致・事業創出 5.00	雇用対策 5.00	※同率の項目が多数のため 4位以降は掲載を省略		4.10 ↑
和田	学校等教育 4.04	子育て支援 4.00	青少年教育 3.91	健康 3.88	高齢者福祉 3.88	3.67 ↓
糠沢	学校等教育 4.32	子育て支援 4.28	障がい者福祉 4.28	青少年教育 4.20	地域公共交通 4.20	3.87 ↑
白岩	高齢者福祉 4.10	高度情報通信 4.03	子育て支援 3.97	学校等教育 3.96	企業誘致・事業創出 ／防災・減災 3.93	3.65 ↓
長屋	子育て支援 3.86	企業誘致・事業創出 3.86	高度情報通信 3.83	土地利用 3.75	※同率の項目が多数のため5位以降は掲載を省略	
稲沢	学校等教育 3.92	高齢者福祉 3.92	生涯学習 3.82	健康 3.75	消防 3.67	3.39 ↓
松沢	子育て支援 5.00	企業誘致・事業創出 5.00	上下水道 5.00	道路 5.00	行財政運営 5.00	4.14 ↑

重要度について居住地別にみると、全施策の平均点は青田、荒井、仁井田、岩根、糠沢で高い。
仁井田、白岩では全体で4位の「高齢者福祉」が、荒井、和田、糠沢、稲沢では全体で2位の「学校等教育」の重要度が1位となっている。

（3）満足度×重要度の評価

① 散布図

- 重要度・満足度がともに高い『維持項目』は、健康や高齢者福祉、子育て支援、学校等教育など。
- 重要度が高いが満足度が低い『要改善項目』は、雇用対策や企業誘致・事業創出の就労関連施策、地域公共交通、商工業など。これら施策については早期の対応が必要となっている。



② ニーズ得点

● ニーズが高い項目（＝重要だと考えるが満足していない項目）は「地域公共交通」がトップ。以下「雇用対策」「観光・物産振興・にぎわい創出」「商工業」「企業誘致・事業創出」など。

	満足度	重要度	ニーズ得点	散布図エリア
調査数	709	709	709	－
平均	2.99	3.75	7.55	－
地域公共交通	2.68	3.85	8.93	要改善
雇用対策	2.76	3.91	8.76	要改善
観光・物産振興・にぎわい創出	2.74	3.74	8.45	注視
商工業	2.79	3.77	8.33	要改善
企業誘致・事業創出	2.88	3.93	8.33	要改善
子育て支援	3.01	4.11	8.18	維持
道路	2.84	3.71	8.01	注視
学校等教育	3.04	4.07	7.98	維持
環境保全・エネルギー	2.84	3.69	7.97	注視
農林業	2.78	3.59	7.97	注視
青少年教育	2.97	3.89	7.90	要改善
土地利用	2.82	3.61	7.87	注視
中心市街地の整備	2.88	3.69	7.82	注視
障がい者福祉	2.98	3.86	7.80	要改善
住宅・住環境	2.90	3.69	7.75	注視
高齢者福祉	3.06	3.98	7.72	維持
高度情報通信	2.97	3.78	7.67	要改善
行財政運営	2.89	3.63	7.66	注視
生活支援	2.95	3.66	7.50	注視
地域福祉	3.00	3.69	7.38	継続
歴史・文化・芸術	2.90	3.49	7.33	注視
多文化共生・都市交流・国際交流	3.02	3.66	7.25	継続
生涯学習	3.08	3.75	7.20	維持
人権・男女共同参画	2.95	3.50	7.18	注視
健康	3.22	4.03	7.17	維持
広域行政	3.05	3.65	7.12	継続
防災・減災	3.18	3.85	7.01	維持
ごみ対策・美化活動	3.18	3.82	6.95	維持
生涯スポーツ	3.14	3.72	6.92	継続
防犯・交通安全・消費者対策	3.14	3.72	6.92	継続
広報広聴	3.10	3.57	6.78	継続
公園・緑地・景観	3.20	3.76	6.77	維持
市民活動、地域活動、協働参画	3.06	3.45	6.69	継続
上下水道	3.22	3.76	6.69	維持
消防	3.33	3.69	6.16	継続
【分野1】教育・文化・スポーツ	3.03	3.76	7.43	－
【分野2】健康・医療・福祉	3.02	3.83	7.57	－
【分野3】産業・雇用・観光	2.79	3.79	8.37	－
【分野4】生活環境・都市基盤	3.02	3.74	7.41	－
【分野5】市民・行政活動	3.01	3.62	7.18	－

平均よりニーズの高い項目



平均よりニーズが低い項目

【ニーズ得点／性別順位（上位5項目）】

	1位	2位	3位	4位	5位	全施策平均
全体	地域公共交通 8.93	雇用対策 8.76	観光・物産振興 ・にぎわい創出 8.45	商工業 8.33	企業誘致・事業創出 8.33	7.55
男性	地域公共交通 8.65	雇用対策 8.58	子育て支援 8.47	企業誘致・事業創出 8.30	観光・物産振興 ・にぎわい創出 8.28	7.53 ↓
女性	地域公共交通 9.29	雇用対策 8.88	観光・物産振興 ・にぎわい創出 8.59	商工業 8.57	企業誘致・事業創出 8.36	7.57 ↑

【ニーズ得点／年齢別順位（上位5項目）】

	1位	2位	3位	4位	5位	全施策平均
全体	地域公共交通 8.93	雇用対策 8.76	観光・物産振興 ・にぎわい創出 8.45	商工業 8.33	企業誘致・事業創出 8.33	7.55
18～29歳	雇用対策 8.98	地域公共交通 8.69	企業誘致・事業創出 8.66	商工業 8.33	観光・物産振興 ・にぎわい創出 8.13	7.13 ↓
30～39歳	地域公共交通 10.15	雇用対策 9.86	子育て支援 9.59	企業誘致・事業創出 9.41	土地利用 9.02	7.96 ↑
40～49歳	地域公共交通 10.73	子育て支援 8.95	雇用対策 8.94	学校等教育 8.67	企業誘致・事業創出 8.67	7.81 ↑
50～59歳	地域公共交通 11.39	観光・物産振興 ・にぎわい創出 9.65	商工業 9.56	雇用対策 9.55	学校等教育 9.24	8.41 ↑
60～69歳	観光・物産振興 ・にぎわい創出 8.37	雇用対策 8.20	商工業 8.08	学校等教育 7.92	農林業／道路 7.86	7.38 ↓
70歳以上	雇用対策 8.08	企業誘致・事業創出 7.98	農林業 7.76	商工業 7.72	観光・物産振興 ・にぎわい創出 7.71	6.91 ↓

【ニーズ得点／居住意向別順位（上位5項目）】

	1位	2位	3位	4位	5位	全施策平均
全体	地域公共交通 8.93	雇用対策 8.76	観光・物産振興 ・にぎわい創出 8.45	商工業 8.33	企業誘致・事業創出 8.33	7.55
《居住意向：高》	雇用対策 8.52	地域公共交通 8.40	観光・物産振興 ・にぎわい創出 8.39	商工業 8.24	企業誘致・事業創出 8.20	7.42 ↓
《居住意向：低》	地域公共交通 11.91	企業誘致・事業創出 10.19	雇用対策 10.02	商工業 9.57	観光・物産振興 ・にぎわい創出 9.20	8.29 ↑

ニーズ得点について性別にみると、男性に比べ女性で全施策の平均点が高い。

年齢別にみると、全施策の平均点は30～39歳、40～49歳、50～59歳で高く、18～29歳、70歳以上では全体で2位の「雇用対策」が、60～69歳では全体3位の「観光・物産振興・にぎわい創出」の重要度が1位となっている。

居住意向別にみると、《居住意向》の低い人で全施策の平均点が高く、企業誘致や雇用対策など就労関係の施策が上位にあがっている。

【ニーズ得点／居住地別順位（上位5項目）】

	1位	2位	3位	4位	5位	全施策平均
全体	地域公共交通 8.93	雇用対策 8.76	観光・物産振興・にぎわい創出 8.45	商工業 8.33	企業誘致・事業創出 8.33	7.55
本宮	観光・物産振興・にぎわい創出 8.64	雇用対策 8.63	商工業 8.60	企業誘致・事業創出 8.38	中心市街地の整備 8.33	7.53 ↓
青田	農林業 9.21	高度情報通信 8.69	青少年教育 8.42	土地利用 8.41	子育て支援 8.41	7.54 ↓
荒井	観光・物産振興・にぎわい創出 8.99	地域公共交通 8.81	雇用対策 8.62	農林業 8.39	学校等教育 8.29	7.32 ↓
仁井田	地域公共交通 9.74	農林業 9.01	観光・物産振興・にぎわい創出 8.90	雇用対策 8.84	高齢者福祉 8.77	7.83 ↑
高木	雇用対策 9.37	地域公共交通 9.37	障がい者福祉 8.99	子育て支援 8.76	企業誘致・事業創出 8.72	7.68 ↑
岩根	地域公共交通 11.00	学校等教育 9.22	子育て支援 9.05	雇用対策 8.83	環境保全・エネルギー 8.57	8.00 ↑
関下	上下水道 8.00	雇用対策 7.50	※同率の項目が多数のため3位以降は掲載を省略			5.87 ↓
和田	地域公共交通 9.42	観光・物産振興・にぎわい創出 8.76	中心市街地の整備 8.28	雇用対策 8.23	子育て支援 8.20	7.09 ↓
糠沢	地域公共交通 11.97	雇用対策 9.85	企業誘致・事業創出 9.39	道路 9.28	子育て支援 9.07	7.91 ↑
白岩	地域公共交通 9.68	土地利用 9.04	商工業 8.92	子育て支援 8.85	雇用対策 8.84	7.61 ↑
長屋	土地利用 7.50	商工業 7.04	障がい者福祉 7.00	道路 6.68	農林業 6.66	5.89 ↓
稲沢	道路 7.63	商工業 7.28	農林業 6.75	健康 6.75	雇用対策 6.66	6.13 ↓
松沢	道路 13.35	地域公共交通 11.25	企業誘致・事業創出 10.00	行財政運営 10.00	青少年教育 9.18	6.14 ↓

ニーズ得点について居住地別にみると、全施策の平均点は仁井田、高木、岩根、糠沢、白岩で高い。本宮、荒井では全体で3位の「観光・物産振興・にぎわい創出」が、高木では全体で2位の「雇用対策」が、青田では全体でランク外の「農林業」が、稲沢では全体でランク外の「道路」の重要度が1位となっている。

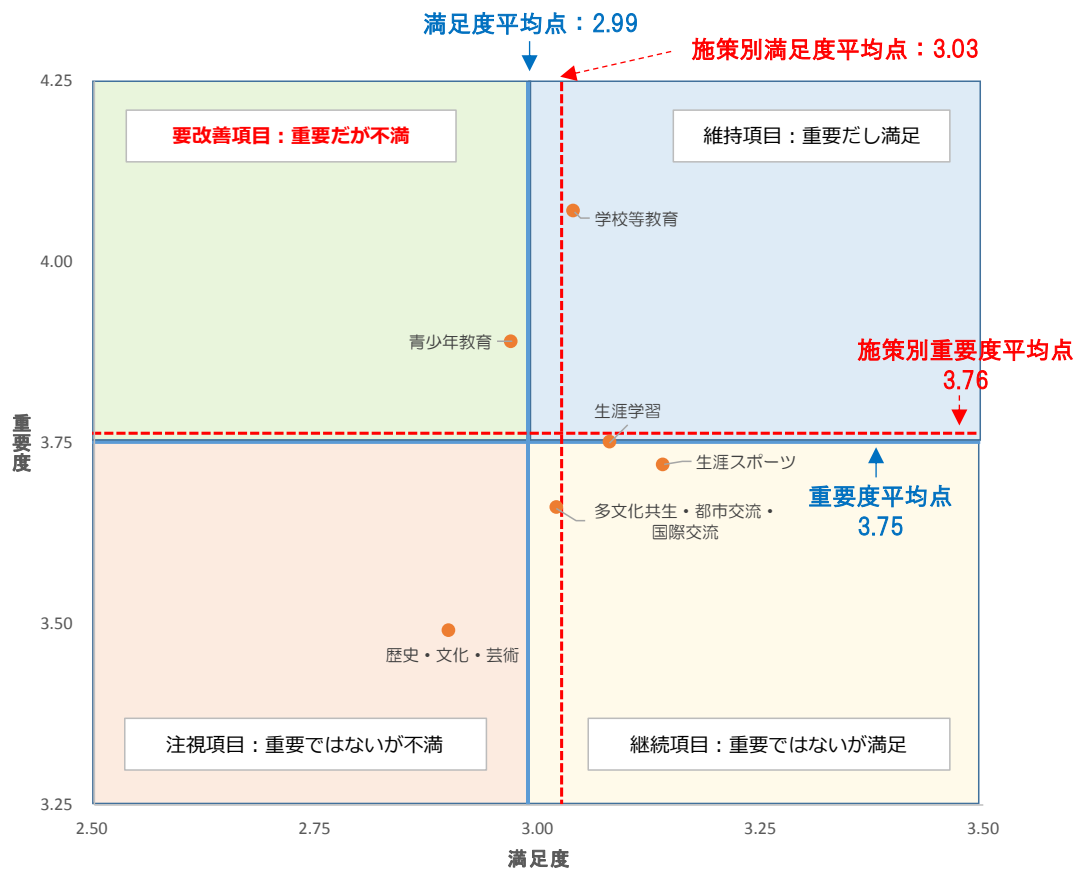
（４）施策分野別評価

①教育・文化・スポーツ

i) ニーズ得点&散布図

●教育・文化・スポーツ分野で最もニーズの高い施策は「学校等教育」。

【散布図】



【ニーズ得点】

	満足度	重要度	ニーズ得点	散布図エリア
調査数	709	709	709	—
施策別平均点	3.03	3.76	7.43	—
問14-1 学校等教育	3.04	4.07	7.98	維持
問14-2 青少年教育	2.97	3.89	7.90	要改善
問14-3 生涯学習	3.08	3.75	7.20	維持
問14-4 生涯スポーツ	3.14	3.72	6.92	継続
問14-5 歴史・文化・芸術	2.90	3.49	7.33	注視
問14-6 多文化共生・都市交流・国際交流	3.02	3.66	7.25	継続

教育・文化・スポーツ分野で最もニーズの高い施策は「学校等教育」。散布図上では維持項目に位置しているものの、重要度と満足度の差が大きいため、ニーズ得点が高くなっている。また、「青少年教育」についてもニーズ得点が高く、要改善項目となっている。

【満足度・重要度／属性別】

	全体	満足度		重要度	
		男	女	男	女
調査数	709	318	384	318	384
問14-1 学校等教育	3.04	3.06	3.02	4.00	4.13
問14-2 青少年教育	2.97	2.97	2.96	3.82	3.96
問14-3 生涯学習	3.08	2.99	3.14	3.64	3.85
問14-4 生涯スポーツ	3.14	3.05	3.22	3.65	3.78
問14-5 歴史・文化・芸術	2.90	2.82	2.98	3.42	3.55
問14-6 多文化共生・都市交流・国際交流	3.02	2.94	3.10	3.61	3.69

	全体	満足度						重要度					
		18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
調査数	709	45	64	89	118	183	207	45	64	89	118	183	207
問14-1 学校等教育	3.04	3.24	3.14	2.92	2.87	2.99	3.19	4.12	4.33	4.17	4.34	3.94	3.77
問14-2 青少年教育	2.97	3.15	3.24	2.84	2.85	2.94	3.03	3.69	4.09	3.94	4.11	3.80	3.77
問14-3 生涯学習	3.08	3.20	3.10	2.93	2.98	3.02	3.25	3.63	3.75	3.71	3.93	3.68	3.75
問14-4 生涯スポーツ	3.14	3.16	3.17	3.05	3.11	3.10	3.26	3.60	3.62	3.71	3.90	3.67	3.72
問14-5 歴史・文化・芸術	2.90	2.85	2.80	2.87	2.78	2.90	3.06	3.20	3.29	3.46	3.71	3.45	3.56
問14-6 多文化共生・都市交流・国際交流	3.02	3.10	3.05	2.97	2.84	2.95	3.23	3.50	3.73	3.78	3.84	3.52	3.61

	全体	満足度		重要度	
		居住意向高い	居住意向低い	居住意向高い	居住意向低い
調査数	709	549	65	549	65
問14-1 学校等教育	3.04	3.08	2.86	4.05	4.12
問14-2 青少年教育	2.97	3.01	2.70	3.91	3.85
問14-3 生涯学習	3.08	3.09	2.85	3.75	3.70
問14-4 生涯スポーツ	3.14	3.18	2.82	3.74	3.58
問14-5 歴史・文化・芸術	2.90	2.96	2.50	3.50	3.29
問14-6 多文化共生・都市交流・国際交流	3.02	3.05	2.74	3.68	3.53

性別に見ると、男性では「学校等教育」、女性では「生涯スポーツ」の評価が高い。重要度においては男女ともに「学校等教育」を重視している。

年齢別にみると、満足度は30歳代以下を除くすべての年代で「生涯スポーツ」の評価が高い。重要度においてはすべての年代で「学校等教育」の得点が高く、重視されている。

居住意向別にみると、全ての項目で《居住意向》の高い人の評価が高い。一方、《居住意向》の低い人では「歴史・文化・芸術」の満足度が最も低い。重要度においてはいずれも「学校等教育」が最も重視されている。

ii) 自由意見

●教育・文化・スポーツ分野については、「図書館・文化・スポーツ施設の整備・拡充・有効活用」や「教育施設（保育・幼稚園、学校等）の建設・整備・充実」などハード面の整備・充実に関する意見が多くみられた。

問14 教育・文化・スポーツ分野全般について、ご意見をご記入ください。

項目	件数	
図書館・文化・スポーツ施設の整備・拡充・有効活用	28	
教育施設（保育・幼稚園、学校等）の建設・整備・充実	12	
教育環境・学力向上施策の充実	11	
市民大学や文化講座など気軽に学べる機会や場の提供	10	
教育者・指導者の育成、充実	9	
スポーツ・健康づくりの機会や場の提供	8	
スポーツによる地域活性化・スポーツ団体の活動支援	6	
絵画や演劇、コンサートなどの芸術鑑賞ができる機会や場の提供	6	
国際交流活動が行える機会や場の提供	6	
自分で考える力の育成（教科書による学習以外のカリキュラムの創設など）	5	
伝統文化を生かした交流、情報発信、伝統継承	2	
芸術・文化活動が行いやすい環境整備	2	
行政への意見、要望等	18	
その他	17	
わからない・特になし	6	
意見数計	146	

教育・文化・スポーツ分野について自由な意見を求めたところ、「図書館・文化・スポーツ施設の整備・拡充・有効活用」に関する意見が28件と最も多く、以下、「教育施設（保育・幼稚園、学校等）の建設・整備・充実」（12件）、「教育環境・学力向上施策の充実」（11件）などハード面の整備・充実に関する意見が多くみられた。

【主な意見】

●図書館・文化・スポーツ施設の整備・拡充・有効活用

・震災時に子供は中学生。仮設校舎でした。立派な2中になりましたね！子供が高校生の時に親として、勉強出来る施設があれば良いのに…と強く思いました。夢図書館がありますが、車でないと利用不可…。公民館の図書コーナーは市として貧弱ですね。歴史資料館の建物は貴重ですが、合体させてはいかがでしょうか？勉強したい子にとっては、通学の帰り、また、自宅を離れても自主勉強する為に郡山の高校まで行っていました。本宮はスポーツ施設に関しては充実している方だと思いますが、ゆっくり本を読んだり、勉強コーナーの机がある施設が本宮駅前周辺にあっても良いのでは…（エポカは別として）。（女性/50歳代）

- ・本宮市には他市に誇れる施設が沢山あるが、それを活用しきれていない。グリーンパーク野球場やまゆみアリーナなど、例えば市が主催する大会などを通して人を呼び込む、食事やお土産などの2次効果を生みだすことを考えてほしい。（男性／70歳以上）

●教育環境・学力向上施策の充実

- ・私は77才のおばあちゃんですが、これからは子供達のために英語をしっかりと教えてほしいと思っています。自信をもって話せたらどんなに良いか、子供達のこれからのためにお願いします。（女性／70歳以上）
- ・最近、いじめを苦に自殺する児童生徒や教職員の不祥事の報道をよく耳にします。文化・スポーツの大切さも十分に理解していますが、それ以前に、安心して教育を受けさせられる環境づくりが最優先だと思います。子供と親、相互の目線に沿った教育行政を展開していただきたいです。（男性／40歳代）

●市民大学や文化講座など気軽に学べる機会や場の提供

- ・市民が気軽に参加できる企画をもっとたくさん作ってほしい。例えば、親子登山や親子でフルーツ狩り、ベビーマッサージ、親子でストレッチなど、家族で行えるようなイベントがあると良い。貴重な体験ができる。（女性／30歳代）

●スポーツによる地域活性化・スポーツ団体の活動支援

- ・これと言って目新しいこともなく、スポーツや文化も普通にどこの市でもやっていることばかり、本宮市として何か特化したスポーツ、例えばサッカー、文化・芸術なら〇〇と言われる位になることがあれば、人も集まり活気が出ると思います。（男性／50歳代）

●絵画や演劇、コンサートなどの芸術鑑賞ができる機会や場の提供

- ・芸術面（美術、音楽）で本物に触れる行事があった方がいい。（女性／60歳代）

●国際交流活動が行える機会や場の提供

- ・私は英語が好きです。将来どこで何をしたいのかまだ分からなくて（←選択肢の多い今日だから）本宮で私にできる事・できれば英語を使って海外と繋がれるような仕事があればぜひやりたいです（21歳・大学生）。（女性／20歳代以下）
- ・国際的視点での物事の考え方が出来るようになる必要性がますます高まっている。（男性／60歳代）
- ・多くの市民が国際交流出来る場を増やしてほしい。たとえば、ヤングアメリカンズを小・中・高等学校に呼ぶなど。たくさんの外国人達と歌って踊れるので、自分の殻を破って積極的になれる人が増えるのではと思います。又、自分も参加してみたい。（女性／40歳代）

●自分で考える力の育成（教科書による学習以外のカリキュラムの創設など）

- ・幼児教育にもっと力を入れてみてはと思います。また、ロンドンと姉妹庭園を締結したことを積極的に生かし、人材育成をしていくことも望んでいます。（女性／30歳代）

●伝統文化を生かした交流、情報発信、伝統継承

- ・文化財関係のPRが必要と思う。（女性／70歳以上）

●行政への意見、要望等

- ・施策をやっているけど、私たちが認知してなければ意味がない。満足度や重要性について聞かれても知らなきゃダメではないか？（女性／20歳代以下）
- ・本宮市は何をどれだけやっているのか？今がこうだから今後こういう風にしたいなど、市民にうまく伝わっていないと思う。各種の広報紙を若い人達が見ているとは思えない。余裕がないのでは？市では広報紙を出して満足していない。これがベストだと思っていないですか？（男性／60歳代）
- ・スポーツネットワークに参加しており、とても満足している。アパート等にも市政便りを配布して欲しい。（男性／30歳代）

●その他

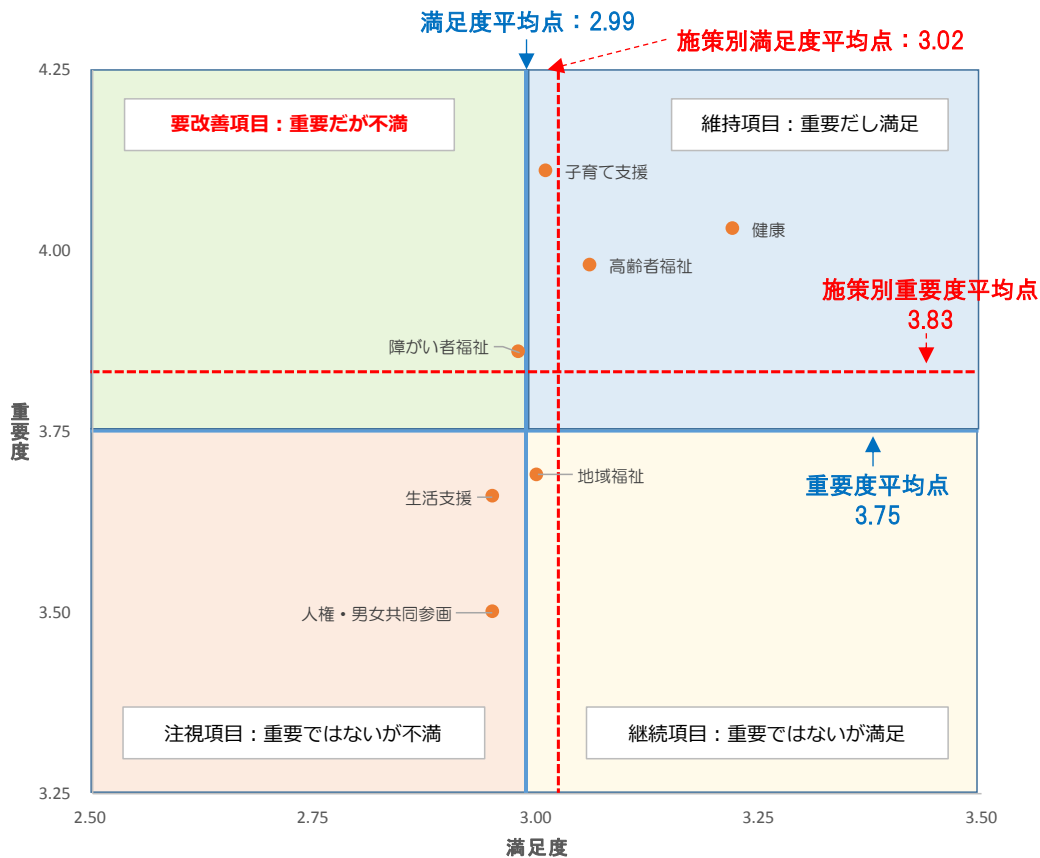
- ・子供がいないのであまり分かりませんが、他の方々や社内の方々の話を聞く限り、教育の分野は良いのではないかと思います（他の市に比べて）。（女性／40歳代）
- ・市民が利用できるプールがあるのでありがたいです。満足しています。（女性／30歳代）
- ・最近、すれ違う小学生からあいさつされる事が多くなりました。とても気持ちのいいものです。学校の教育でしょうか、それとも家庭教育でしょうか、健やかな子供達の成長を見守りたいと考えています。又、それと同時に教育の重要性の高さについて深く認識させられました。（女性／60歳代）

②健康・医療・福祉

i) ニーズ得点&散布図

●健康・医療・福祉分野で最もニーズの高い施策は「子育て支援」。

【散布図】



【ニーズ得点】

	満足度	重要度	ニーズ得点	散布図エリア
調査数	709	709	709	—
施策別平均点	3.02	3.83	7.57	—
問14-7 子育て支援	3.01	4.11	8.18	維持
問14-8 健康	3.22	4.03	7.17	維持
問14-9 高齢者福祉	3.06	3.98	7.72	維持
問14-10 障がい者福祉	2.98	3.86	7.80	要改善
問14-11 生活支援	2.95	3.66	7.50	注視
問14-12 地域福祉	3.00	3.69	7.38	継続
問14-13 人権・男女共同参画	2.95	3.50	7.18	注視

健康・医療・福祉分野で最もニーズの高い施策は「子育て支援」、次いで「障がい者福祉」となっており、特に「障がい者福祉」は散布図上で要改善項目となっている。

【満足度・重要度／属性別】

	全体	満足度		重要度	
		男	女	男	女
調査数	709	318	384	318	384
問14-7 子育て支援	3.01	2.94	3.07	4.11	4.11
問14-8 健康	3.22	3.16	3.26	3.99	4.07
問14-9 高齢者福祉	3.06	3.00	3.10	3.90	4.04
問14-10 障がい者福祉	2.98	2.93	3.03	3.73	3.98
問14-11 生活支援	2.95	2.97	2.93	3.60	3.71
問14-12 地域福祉	3.00	2.97	3.03	3.60	3.76
問14-13 人権・男女共同参画	2.95	2.97	2.93	3.44	3.56

	全体	満足度						重要度					
		18~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上	18~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上
調査数	709	45	64	89	118	183	207	45	64	89	118	183	207
問14-7 子育て支援	3.01	3.26	2.86	2.90	2.90	3.03	3.15	4.13	4.48	4.26	4.27	3.94	3.88
問14-8 健康	3.22	3.34	3.13	3.02	3.08	3.16	3.49	4.02	4.44	4.19	4.10	3.94	3.79
問14-9 高齢者福祉	3.06	3.16	3.00	3.00	2.92	3.03	3.18	3.77	4.41	4.04	4.24	3.79	3.82
問14-10 障がい者福祉	2.98	3.07	3.03	3.03	2.94	2.90	3.04	3.78	4.14	3.95	4.08	3.72	3.65
問14-11 生活支援	2.95	2.90	3.11	2.88	2.90	2.82	3.11	3.63	3.91	3.74	3.88	3.42	3.63
問14-12 地域福祉	3.00	2.83	2.95	3.03	2.93	2.97	3.11	3.56	3.90	3.76	3.91	3.54	3.57
問14-13 人権・男女共同参画	2.95	2.93	3.03	2.93	2.81	2.93	3.04	3.41	3.60	3.56	3.69	3.34	3.49

	全体	満足度		重要度	
		居住意向高い	居住意向低い	居住意向高い	居住意向低い
調査数	709	549	65	549	65
問14-7 子育て支援	3.01	3.05	2.83	4.12	3.98
問14-8 健康	3.22	3.28	2.88	4.04	3.96
問14-9 高齢者福祉	3.06	3.10	2.80	4.00	3.75
問14-10 障がい者福祉	2.98	2.98	2.86	3.88	3.52
問14-11 生活支援	2.95	2.96	2.68	3.70	3.47
問14-12 地域福祉	3.00	3.02	2.70	3.72	3.43
問14-13 人権・男女共同参画	2.95	2.98	2.68	3.53	3.24

性別に見ると、男女ともに「健康」の評価が最も高い。重要度においては男女ともに「子育て支援」を重視している。

年齢別にみると、満足度は40～49歳を除くすべての年代で「健康」の評価が最も高い。重要度においてはすべての年齢で「子育て支援」の得点が高く、重視されている。

居住意向別にみると、全ての項目で《居住意向》の高い人の評価が高い。一方、《居住意向》の低い人では「生活支援」「人権・男女共同参画」の満足度が最も低い。重要度においてはいずれも「子育て支援」が最も重視されている。

ii) 自由意見

●健康・医療・福祉分野については、「医療施設の拡充」や「健康管理事業の充実」「地域福祉の充実」などを望む意見が多くみられた。

問14 健康・医療・福祉分野全般について、ご意見をご記入ください。

項目	件数	
医療施設の拡充	25	
健康管理事業の充実	11	
地域福祉の充実	11	
医療、出産、子育てにかかる費用負担の軽減	8	
保育環境の充実（待機児童ゼロ、病児・病後児保育など）	6	
各年代の健康づくりプログラムの創設	5	
医療スタッフの確保の強化	3	
高齢者施設の拡充・受け入れ体制の強化	3	
生活支援	3	
遊び場の拡充（市内至るところに子どもが遊べる場所を確保）	2	
高齢者が生きがいをもって活動できる場の提供	2	
障がい者が自分らしく生きていけるまちづくり（雇用の充実）	2	
人権・男女共同参画について	1	
行政への意見、要望等	13	
その他	19	
わからない・特になし	2	
意見数計	116	

健康・医療・福祉分野について自由な意見を求めたところ、「医療施設の拡充」に関する意見が25件と最も多く、以下、「健康管理事業の充実」（11件）、「地域福祉の充実」（11件）となっている。

【主な意見】

●医療施設の拡充

- ・健康、医療、福祉の充実しているところに人は集まると思います。これらを充実させることが大切だと思います。（女性／50歳代）
- ・閉院する個人の病院が多い。総合病院に行くにしても、曜日で科が決まっている。病気ごとにいちいち違う病院に行かなくてはいけないことが多い。「相談できます」だけでなく、「こんな風に解決した」というのもPRしたらいいと思う。（女性／60歳代）
- ・何と言っても産科がないことは人口増にマイナスイメージである。また、稲沢や松沢など市の中心部まで遠い人のため、公共交通の充実や白岩診療所の存続を望む。（男性／70歳以上）

●健康管理事業の充実

- ・寝たきりにならない為の現在の健康を1人でも多く維持するために、健康管理を重視してもらいたい。（例）通院して、医師から出された薬を服用しているが、なるべく薬に頼らず別の面からの見直しが必要である。（女性／60歳代）
- ・健康診断の胃カメラ検診で、昨年（H28）は郡山市内の病院でも検診可能であったが、今年は検診出来なかった。かといって本宮市内の医院に申し込むと既に予約で一杯。これでは検診する人が減ってしまう。今後の検診時に再考を望む。（男性／60歳代）
- ・個人が自立して自分自身の健康管理をしていくことが大切。健康増進への対策として予算を分配することは賛成できる。食事指導等の施策に期待したい。また年配の方々がいきいきと日々を暮せるよう、趣味の拡充を図れたら良いと思う。（男性／50歳代）
- ・今後ますます高齢化が進み、医療費がかさむと思うので、病気を予防するための取り組みをもう少し進めてほしいと思います。高齢者が必要とされる社会になってほしいです。（女性／50歳代）
- ・高齢化が進んでいる現在、要介護度が高い方が増えていくと思われます。これからは介護予防に力を入れていくべきかと思います。（女性／40歳代）
- ・介護が必要になる前の予防を進めて欲しい。運動に自由に参加できるようになれば、PRがもっとあってもいいのではないか。（女性／60歳代）

●地域福祉の充実

- ・年齢を重ねても健康で過ごせるよう、若いうちから意識して生活することが大切であると思う。今後は高齢化が進むため、福祉を手厚くしてほしい。（女性／40歳代）

●保育環境の充実（待機児童ゼロ、病児・病後児保育など）

- ・本宮地区の幼稚園について。本宮地区に公立幼稚園があれば行かせたいが私立しかない。であれば、公立幼稚園と同等くらいに月謝の補助をして欲しい。公立と私立で差額があり過ぎる。送迎ができない等で、近くの私立に通わせざるを得ない家庭も多いと思います。（女性／30歳代）
- ・子育てをしていて、支援センター、一時保育、病後児保育などがもっと充実しているといいなと感じる。遊び場は充実しているが、前記のものはニーズがあるのに支援のないものがある。『子育てしやすい市』をうたうのであれば必要かなと感じる。（女性／30歳代）

●各年代の健康づくり、プログラムの創設

- ・とてもきれいな施設えぽかで、年間通してもっと健康増進や福祉関係のイベントをして活用してはどうですか？（女性／50歳代）

●遊び場の拡充（市内至るところに子どもが遊べる場所を確保）

- ・まゆみ小学校の学童保育の場所が小学校から遠すぎる。プールを作るより学童の場所を小学校の近くに作ってほしかった。遠いので学童保育の場所を近くに作るか考えてほしい。しかも道も狭いので不便です。（女性／30歳代）

- 障がい者が自分らしく生きていけるまちづくり（雇用の充実）
 - ・障害者専用の求人情報誌を無償提供し、本宮市とハローワークと事業者と連携して障害を持つ人達の雇用促進をしていくべき。求人情報誌を設置されている所をみると、一般者向けの求人しか無いのはある意見で障害者に対する偏見と差別です。（性別不明／30歳代）

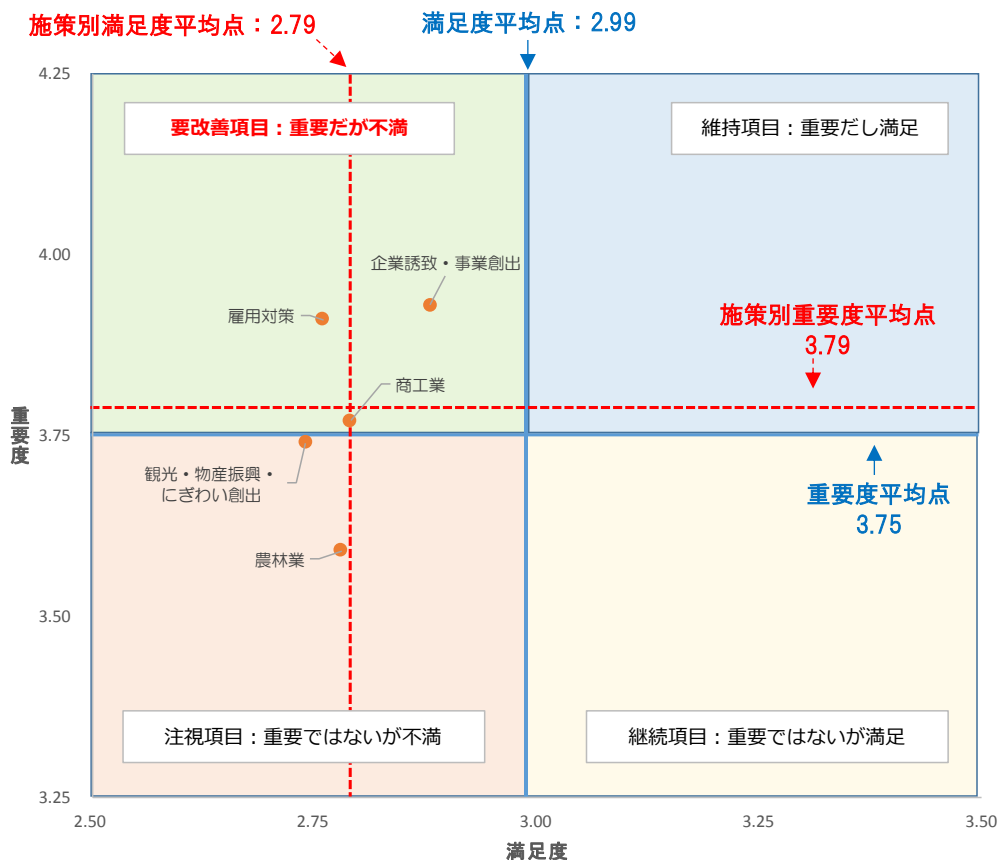
- その他
 - ・子育て世代にとっては、無料で遊べる施設がたくさんあるのは助かる。子育てに関しては住みやすい街であると思う。他にも様々な助成が受けられ、経済的負担が少なく満足している。（女性／20歳代以下）
 - ・シルバー人材で働く人達の存在は、地域にとって重要だと思います。（女性／20歳代以下）
 - ・市の取り組みに無関心でした。これから気を付けます。（女性／70歳以上）

③産業・雇用・観光

i) ニーズ得点&散布図

●産業・雇用・観光分野で最もニーズの高い施策は「雇用対策」。
他の分野に比べ、分野全体の平均ニーズ得点が高く、対策が必要となっている。

【散布図】



【ニーズ得点】

	満足度	重要度	ニーズ得点	散布図エリア
調査数	709	709	709	—
施策別平均点	2.79	3.79	8.37	—
問14-14 農林業	2.78	3.59	7.97	注視
問14-15 商工業	2.79	3.77	8.33	要改善
問14-16 企業誘致・事業創出	2.88	3.93	8.33	要改善
問14-17 雇用対策	2.76	3.91	8.76	要改善
問14-18 観光・物産振興・にぎわい創出	2.74	3.74	8.45	注視

産業・雇用・観光分野で最もニーズの高い施策は「雇用対策」で散布図上でも要改善項目となっている。他の分野に比べ分野全体の平均ニーズ得点も高く、要改善項目に加え、注視項目も多いことから、分野の各施策の対応が必要となっている。

【満足度・重要度／属性別】

	全体	満足度		重要度	
		男	女	男	女
調査数	709	318	384	318	384
問14-14 農林業	2.78	2.77	2.80	3.53	3.64
問14-15 商工業	2.79	2.82	2.75	3.73	3.81
問14-16 企業誘致・事業創出	2.88	2.91	2.85	3.97	3.89
問14-17 雇用対策	2.76	2.80	2.73	3.90	3.91
問14-18 観光・物産振興・にぎわい創出	2.74	2.75	2.74	3.68	3.80

	全体	満足度						重要度					
		18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
調査数	709	45	64	89	118	183	207	45	64	89	118	183	207
問14-14 農林業	2.78	2.97	2.74	2.94	2.65	2.68	2.88	3.50	3.70	3.49	3.84	3.39	3.66
問14-15 商工業	2.79	2.82	2.73	2.91	2.56	2.78	2.92	3.82	3.94	3.81	3.92	3.64	3.71
問14-16 企業誘致・事業創出	2.88	2.72	2.75	2.86	2.78	3.00	2.91	3.80	4.18	4.05	4.05	3.81	3.82
問14-17 雇用対策	2.76	2.58	2.67	2.82	2.67	2.79	2.85	3.71	4.23	4.10	4.10	3.71	3.76
問14-18 観光・物産振興・にぎわい創出	2.74	2.79	2.73	2.81	2.55	2.70	2.90	3.68	3.92	3.71	3.94	3.64	3.67

	全体	満足度		重要度	
		居住意向高い	居住意向低い	居住意向高い	居住意向低い
調査数	709	549	65	549	65
問14-14 農林業	2.78	2.79	2.59	3.60	3.49
問14-15 商工業	2.79	2.82	2.44	3.78	3.74
問14-16 企業誘致・事業創出	2.88	2.92	2.38	3.94	3.89
問14-17 雇用対策	2.76	2.82	2.39	3.91	3.84
問14-18 観光・物産振興・にぎわい創出	2.74	2.78	2.38	3.78	3.51

性別にみると、男女ともに「企業誘致・事業創出」の評価が最も高い。重要度においては、男性では「企業誘致・事業創出」、女性では「雇用対策」が最も重視されている。

年齢別にみると、満足度は30歳代以下の若い世代で「雇用対策」が最も低く、40～50歳代では「観光・物産振興・にぎわい創出」の評価が低い。重要度においては30～50歳代で「雇用対策」が高く、重視されている。

居住意向別にみると、全ての項目で《居住意向》の高い人の評価が高い。一方、《居住意向》の低い人では「企業誘致・事業創出」「観光・物産振興・にぎわい創出」の満足度が最も低い。重要度においては「企業誘致・事業創出」が最も重視されている。

ii) 自由意見

●産業・雇用・観光分野については、商店街の活性化なども含めた「商工業の復興」に関する意見が最も多く、「既存の観光資源や施設の利活用」「新しい観光資源や施設の開発・整備」「市外・県外に対するPRの充実」など観光の活性化についての意見も多くみられた。

問14 産業・雇用・観光分野全般について、ご意見をご記入ください。

項目	件数
商工業の復興（商店街の活性化など）	15
新しい観光資源や施設の開発・整備	14
既存の観光資源や施設の利活用	13
市外・県外に対するPRの充実	13
農林業の復興（販路拡大、担い手の育成など）	8
既存企業の育成や雇用機会の創出	8
企業誘致の推進	8
ニーズにあわせた求人情報の提供や雇用支援	5
新たな事業創出への取組	3
行政への意見、要望等	7
その他	14
わからない・特になし	1
意見数計	109

産業・雇用・観光分野について自由な意見を求めたところ、「商工業の復興」に関する意見が15件と最も多く、以下、「新しい観光資源や施設の開発・整備」（14件）、「既存の観光資源や施設の利活用」、「市外・県外に対するPRの充実」（ともに13件）など観光の活性化についての意見も多くみられた。

【主な意見】

●商工業の復興（商店街の活性化など）

- ・街での買い物等の目的で出かけることが正直、年に5回あるかどうか（スーパーマーケットは別です）です。魅力を感じることが出来ないのが事実です。どうしても郡山へ出てしまいます。（女性／40歳代）
- ・白沢地区に店がない。（女性／70歳以上）
- ・高齢者にとって近くに商店が無くなり、買い物が大変になった。（男性／70歳以上）
- ・市の中心街がまるで賑わっていない。若者向けの店等を誘致しては？（男性／40歳代）

●新しい観光資源や施設の開発・整備

- ・本宮市の特産物って何？住みたい町に評価されているのだから、ブランド商品が生まれればもっと目立つ町になると思う。（男性／60歳代）

- ・県外在住の方に、本宮は何が有名なの？と聞かれたことがあり、自分なりにいくつか項目をあげたのですが、その方には納得できるものがなかったらしく、困ったことがありました。難しい問題ではありますが、これぞという観光や特産品があればと思います。（女性／50歳代）

●既存の観光資源や施設の利活用

- ・工業団地が華やかになってきましたね。どこの町、地域も同じ繁栄を望まなくても良いと思います。私達は主都圏から県南地区、そして本宮の住民になりました。美しい農村風景らがまだまだ残っていますね。それを生かしてみては？これから先、必ず食糧難がやって来ます。海外に輸出出来る時代もきっと来る。高齢者が頑張っていますが、なんとか次世代まで繋げて行けるよう努力したいものです。（女性／50歳代）
- ・他の市町村から人々が足を運んで来てくれる様なもの、英国庭園は期待しています。（女性／60歳代）
- ・市内に観光施設がない。史跡などもっと多くあると思われるが、アピール不足の様に感じられる。（女性／70歳以上）

●市外・県外に対するPRの充実

- ・村おこしにならぬ、市おこしをしなくてはならないと思う。本宮市をアピールするような食べ物、文化、観光、おいしい店の紹介等、より多くの人に知ってもらい、市外からも客を集める。米がおいしいのに、分かってもらえない悔しさがある。（女性／60歳代）

●農林業の復興（販路拡大、担い手の育成など）

- ・農業に関しては、後継者不足による高齢化が進んでおり、早急な対策が必要ではと思います。株式会社等の組織改革もありだと考えます。（女性／50歳代）
- ・就農支援（若手）が欲しい。（女性／50歳代）
- ・私の家では出荷はしませんが年間食べる位の米を作っていますが、私の仕事の都合上、農作業はほとんど高齢の両親がやっています。最近、周り近所の農家さんも大規模農家さんに委託するなど後継者不足です。以前はそう言った田んぼを貸り入れて農業組合メンバーで米作りをしようと話が出て、現実になろうかと思っていた矢先、あの原発事故で無になってしまいました。（男性／50歳代）
- ・生涯学習に農業、林業の体験があってもよいのでは。（女性／40歳代）
- ・国からの補助金を当てにする農政なので先行きがとても心配。市、独自の考え方が欲しい。（男性／60歳代）

●既存企業の育成や雇用機会の創出

- ・若い年代の働き口がありません。定年を迎えた方が、日中の数時間だけの勤務を行える事業所もありません。産業を発展させたいと言うのであれば、まずはそこで働く人が安心して仕事をできる環境を作っていただきたいです。（男性／40歳代）

●企業誘致の推進

- ・歴史や文化は一朝一夕にはならないものなので、大切に保存し、継承していく必要があると思います。小さい頃からそういったものに触れ、地元を誇りを持ってもらえるといいですね。また人口を増やすためにも、企業誘致や雇用に力を入れるのは非常に重要と思います。（女性／30歳代）
- ・合併以前は白沢地区へも企業が進出していた。特に白沢地区へは行政が誘致する姿勢がないと企業は来ない。白沢地区への企業誘致への市の積極的な関わりを希望する。（男性／70歳以上）

●行政への意見、要望等

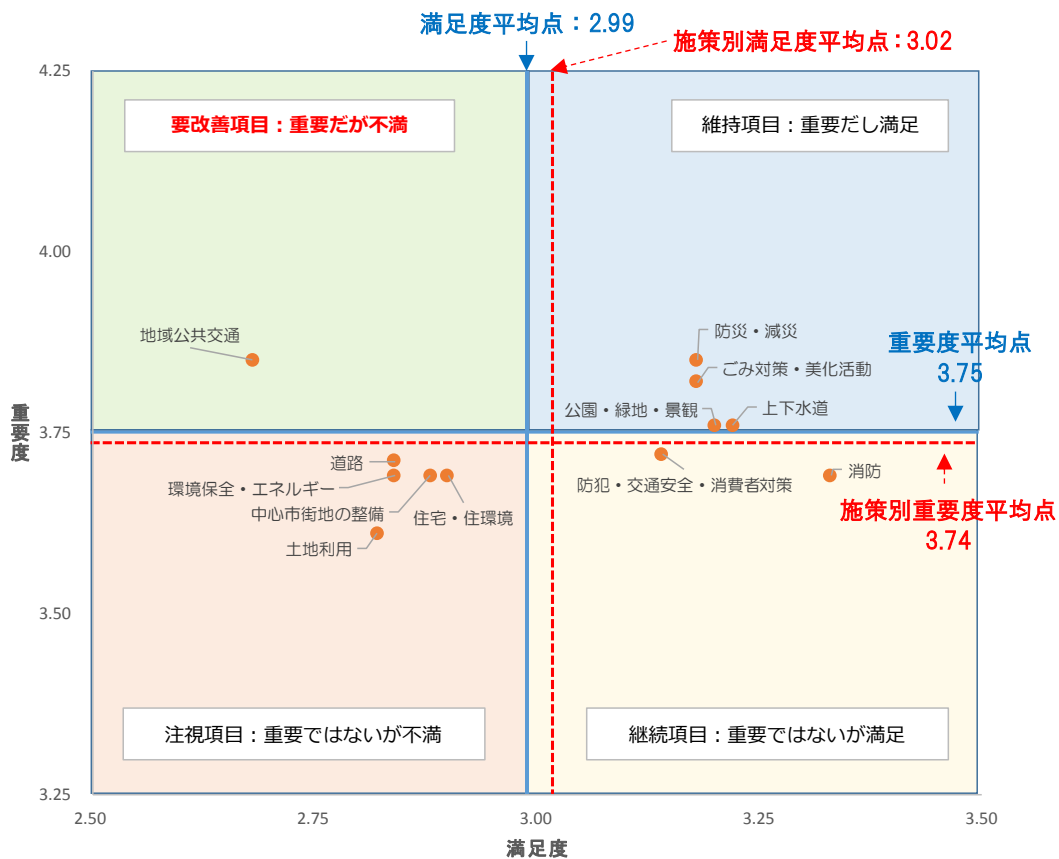
- ・市内の商工業、関連企業などに携わっていなければ、この分野は広報が少ないのでよくわからない…と感じます。道の駅があるといいなと思っています。本宮のものばかりでなく広く県内のものを扱うお店があったら通りすがりの人も引きつけられるし、地元の人でも楽しめると思いませんか？（女性／50歳代）

④生活環境・都市基盤

i) ニーズ得点&散布図

●生活環境・都市基盤分野で最もニーズの高い施策は「地域公共交通」。

【散布図】



【ニーズ得点】

	満足度	重要度	ニーズ得点	散布図エリア
調査数	709	709	709	—
施策別平均点	3.02	3.74	7.41	—
問14-19 環境保全・エネルギー	2.84	3.69	7.97	注視
問14-20 ごみ対策・美化活動	3.18	3.82	6.95	維持
問14-21 上下水道	3.22	3.76	6.69	維持
問14-22 住宅・住環境	2.90	3.69	7.75	注視
問14-23 道路	2.84	3.71	8.01	注視
問14-24 地域公共交通	2.68	3.85	8.93	要改善
問14-25 消防	3.33	3.69	6.16	継続
問14-26 防災・減災	3.18	3.85	7.01	維持
問14-27 防犯・交通安全・消費者対策	3.14	3.72	6.92	継続
問14-28 公園・緑地・景観	3.20	3.76	6.77	維持
問14-29 土地利用	2.82	3.61	7.87	注視
問14-30 中心市街地の整備	2.88	3.69	7.82	注視

生活環境・都市基盤分野で最もニーズの高い施策は「地域公共交通」で散布図上でも要改善項目となっている。以下、「道路」、「環境保全・エネルギー」などとなっている。

【満足度・重要度／属性別】

	全体	満足度		重要度	
		男	女	男	女
調査数	709	318	384	318	384
問14-1-19 環境保全・エネルギー	2.84	2.81	2.87	3.67	3.71
問14-2-0 ごみ対策・美化活動	3.18	3.18	3.18	3.75	3.89
問14-2-1 上下水道	3.22	3.23	3.21	3.73	3.78
問14-2-2 住宅・住環境	2.90	2.93	2.87	3.67	3.71
問14-2-3 道路	2.84	2.77	2.89	3.71	3.72
問14-2-4 地域公共交通	2.68	2.70	2.63	3.76	3.92
問14-2-5 消防	3.33	3.33	3.32	3.67	3.70
問14-2-6 防災・減災	3.18	3.12	3.22	3.82	3.87
問14-2-7 防犯・交通安全・消費者対策	3.14	3.09	3.18	3.69	3.75
問14-2-8 公園・緑地・景観	3.20	3.15	3.25	3.69	3.81
問14-2-9 土地利用	2.82	2.79	2.85	3.57	3.65
問14-3-0 中心市街地の整備	2.88	2.82	2.93	3.56	3.81

	全体	満足度						重要度					
		18~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上	18~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上
調査数	709	45	64	89	118	183	207	45	64	89	118	183	207
問14-1-19 環境保全・エネルギー	2.84	3.00	2.82	2.84	2.60	2.86	2.97	3.53	3.77	3.67	3.84	3.60	3.73
問14-2-0 ごみ対策・美化活動	3.18	3.38	3.00	2.85	3.01	3.26	3.39	3.78	3.81	3.76	3.90	3.79	3.85
問14-2-1 上下水道	3.22	3.26	3.04	2.99	3.08	3.24	3.48	3.74	3.73	3.71	3.75	3.70	3.89
問14-2-2 住宅・住環境	2.90	3.12	2.75	2.86	2.77	2.91	3.01	3.85	3.96	3.62	3.85	3.48	3.72
問14-2-3 道路	2.84	3.03	2.80	2.72	2.63	2.81	3.04	3.75	3.73	3.71	3.84	3.59	3.73
問14-2-4 地域公共交通	2.68	2.79	2.43	2.35	2.25	2.87	2.97	3.93	3.95	4.05	4.14	3.62	3.69
問14-2-5 消防	3.33	3.57	3.29	3.12	3.27	3.24	3.54	3.60	3.64	3.42	3.80	3.64	3.90
問14-2-6 防災・減災	3.18	3.42	3.08	3.11	3.00	3.15	3.35	3.93	4.09	3.75	3.92	3.76	3.82
問14-2-7 防犯・交通安全・消費者対策	3.14	3.38	3.10	3.07	3.08	3.07	3.26	3.90	3.86	3.70	3.74	3.57	3.82
問14-2-8 公園・緑地・景観	3.20	3.24	3.35	3.07	3.13	3.10	3.39	3.81	4.12	3.65	3.77	3.59	3.85
問14-2-9 土地利用	2.82	2.84	2.71	2.87	2.73	2.73	3.01	3.62	3.94	3.53	3.85	3.34	3.63
問14-3-0 中心市街地の整備	2.88	3.08	2.82	2.96	2.66	2.86	3.00	3.76	3.67	3.72	3.90	3.56	3.61

	全体	満足度		重要度	
		居住意向高い	居住意向低い	居住意向高い	居住意向低い
調査数	709	549	65	549	65
問14-1-19 環境保全・エネルギー	2.84	2.87	2.63	3.71	3.55
問14-2-0 ごみ対策・美化活動	3.18	3.23	2.84	3.86	3.53
問14-2-1 上下水道	3.22	3.29	3.07	3.81	3.43
問14-2-2 住宅・住環境	2.90	2.95	2.56	3.71	3.59
問14-2-3 道路	2.84	2.89	2.69	3.74	3.52
問14-2-4 地域公共交通	2.68	2.80	2.00	3.82	3.97
問14-2-5 消防	3.33	3.36	3.08	3.73	3.47
問14-2-6 防災・減災	3.18	3.22	2.96	3.86	3.74
問14-2-7 防犯・交通安全・消費者対策	3.14	3.15	3.05	3.75	3.56
問14-2-8 公園・緑地・景観	3.20	3.26	2.95	3.79	3.55
問14-2-9 土地利用	2.82	2.87	2.51	3.63	3.59
問14-3-0 中心市街地の整備	2.88	2.93	2.75	3.68	3.50

性別にみると、男女ともに「地域公共交通」の評価が最も低い。重要度においては、男性では「防災・減災」、女性では「地域公共交通」が最も重視されている。

年齢別にみると、満足度は60~69歳を除くすべての年代で「地域公共交通」の評価が最も低い。重要度においては18~29歳、40~49歳、50~59歳で「地域公共交通」が最も重視されている。

居住意向別にみると、全ての項目で《居住意向》の高い人の評価が高い。一方、《居住意向》の低い人では「地域公共交通」の満足度が最も低く、重要度において最も重視されている。

ii) 自由意見

●生活環境・都市基盤分野については、「ごみや震災廃棄物、雑草などの適切な処理」「駅周辺の整備や中心市街地の活性化、空き店舗の解消」「身近な生活道路の整備（除雪含む）」「バスや鉄道など公共交通機関の整備（駅ホームの整備含む）」など、環境美化や町の活性化、インフラの整備などについての意見が多くみられた。

問14 生活環境・都市基盤分野全般について、ご意見をご記入ください。

項目	件数
ごみや震災廃棄物、雑草などの適切な処理	22
駅周辺の整備や中心市街地の活性化、空き店舗の解消	20
バスや鉄道など公共交通機関の整備（駅ホームの整備含む）	19
身近な生活道路の整備（除雪含む）	18
市街地以外（郊外）の整備・活性化	11
交通安全活動の推進や対策、交通安全施設の整備（街灯の設置含む）	10
公園や緑地の整備	10
計画的な土地利用の推進	10
上下水道の整備	4
公営住宅など住環境の整備	3
消防体制について	3
美しい景観の保全	3
災害に強いまちづくり	2
豪雨や竜巻など全国的に被害が増加している自然災害への備えの充実	2
再生可能エネルギーの積極的活用	1
行政への意見、要望等	16
その他	20
わからない・特になし	2
意見数計	176

生活環境・都市基盤分野について自由な意見を求めたところ、「ごみや震災廃棄物、雑草などの適切な処理」に関する意見が22件と最も多く、以下、「駅周辺の整備や中心市街地の活性化、空き店舗の解消」（20件）、「バスや鉄道など公共交通機関の整備（駅ホームの整備含む）」（19件）、「身近な生活道路の整備（除雪含む）」（18件）など環境美化や町の活性化、インフラの整備などについての意見が多くみられた。

【主な意見】

●ごみや震災廃棄物、雑草などの適切な処理

- ・市外へつながるバスが欲しい。ゴミの分別が多く、袋を買うだけでお金がなくなっていくので、燃えるゴミとプラスチックは一緒にして良いと思う。本宮市はゴミの分別が面倒なので出ていく人もいると思う。（女性/20歳代以下）

● 駅周辺の整備や中心市街地の活性化、空き店舗の解消

- ・シャッター商店街となり、駅を中心とした旧町内の活性化がない。（男性／60 歳代）
- ・本宮駅前の整備はほとんど出来ておりますが、五百川駅前広場が整備されておられません。朝夕のラッシュにはとても混雑して電車に乗り遅れる場合もあります。早急に出入口を広げて下さい。（男性／70 歳以上）

● バスや鉄道など公共交通機関の整備（駅ホームの整備含む）

- ・市街地巡回バスをもっと広範囲にしてほしい。五百川駅も利用者が増えているので、安全面防犯を考えて、無人駅じゃなくしてほしい。（女性／50 歳代）
- ・駅までの通学手段がない。自転車でも不便。市営バスなどみずきが丘まで、せめて朝と夕だけでもなんとかしてほしい。（女性／30 歳代）
- ・旧白沢村から本宮駅に行くバス本数、及びバス停が無さすぎる。旧白沢村の扱いに不満を感じる。（男性／40 歳代）
- ・定期巡回バスの運行をお願いしたい。（男性／50 歳代）
- ・交通の便を良くしなければ、にぎわいやアピールポイントがあっても市が活性化しないのでは？（男性／30 歳代）
- ・今は車を運転できるからいいが、将来できなくなった時のことを考えると不安。本数は大変少ないし、バスが走っている所まで出るのも面倒になりそう。何か解決方法はあるのだろうか。（男性／60 歳代）
- ・高齢化社会に向って地域公共交通を充実してほしい（本宮市街から白沢方面へ行く巡回バスなど）。（女性／70 歳以上）
- ・バスの利便性をもっとないと、高齢者の運転、事故が増加するばかりでは。（女性／50 歳代）
- ・地域による格差がないことを望む（駅前周辺と白沢地区など駅から離れている地域）。また、地域公共交通は、これからも継続して行ってほしい。特に子どもたちの安全確保のためにも通学バスは必要であると考え。（女性／40 歳代）
- ・公共交通の運行について、いつ誰が乗れるのかが分からない。誰も乗っていないバスが走っているのを見ると、もったいないと思う。市民に定期的に周知を図るべきだと思う。（男性／50 歳代）

● 身近な生活道路の整備（除雪含む）

- ・学生の通学路について、車道の端を歩いている様子を見るので、通学路における歩道の確保が必要だと思います。（女性／20 歳代以下）

● 市街地以外（郊外）の整備・活性化

- ・都市部は整備されているが、私達が住む山間部は昔と変わらず置き去りにされてる傾向にある。明るい市にするためにも防犯灯の設置や見通しの悪い所の物の撤去等、奥に足を運んで見てもらいたい所があります。（女性／60 歳代）

●公園や緑地の整備

- ・日常的に休息のできる公園が少ないと思います。公共施設への交通網が無い。（女性／40歳代）
- ・あぶくま川の西側堤防上の橋から五百川まで早く通して、サイクリングロードを作ってほしい！散歩やジョギングができ、健康増進に繋がる。市外からも利用者が集まる。千本桜のような桜の名所を作り、観光客が来れるような整備が必要かと。駅近くにショッピングセンターがほしい。（女性／60歳代）

●計画的な土地利用の推進

- ・自然エネルギーの活用の推進が大切。中心市街地もよいが、本宮市には駅が2つあり、本宮駅、五百川駅の間を結ぶ商業、産業地域として発展させ、その周辺に住居地域として発展させるべき。（男性／50歳代）

●行政への意見、要望等

- ・生活環境に対してはほぼ満足致しております。県の“へそ”の町としてめぐまれた環境にあり便利であります。従ってもっと利便性をアピールした施策を期待します。本宮市としては成長出来る分野であると思います。（男性／70歳以上）
- ・企業誘致に力を入れて欲しい。（男性／30歳代）

●その他

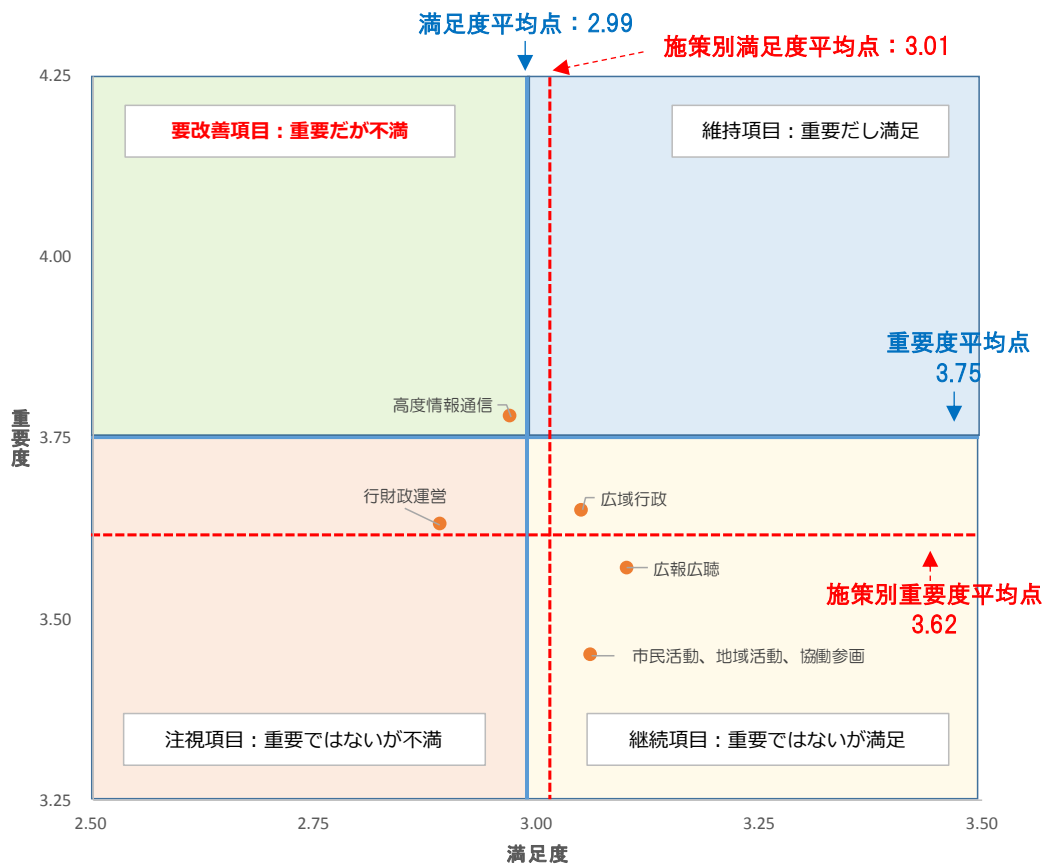
- ・中心市街地の整備をしても人はあまり歩いていません（高校生しか姿が見えない）。（女性／20歳代以下）
- ・安心な暮らしが出来る幸せ、感謝申し上げます。英国庭園のオープンにより展開されることに期待します。西口本宮駅のオープンも見たいものと、生きる楽しみが出来ました。（女性／70歳以上）
- ・市民ひとり、ひとりの満足いくようには難しい事であると思うが、出来るだけ弱い立場の人達の声も多く聞いてほしいです。（女性／60歳代）

⑤市民・行政活動

i) ニーズ得点&散布図

●市民・行政活動分野でニーズの高い施策は「高度情報通信」「行財政運営」。

【散布図】



【ニーズ得点】

	満足度	重要度	ニーズ得点	散布図エリア
調査数	709	709	709	—
施策別平均点	3.01	3.62	7.18	—
問14-31 市民活動、地域活動、協働参画	3.06	3.45	6.69	継続
問14-32 行財政運営	2.89	3.63	7.66	注視
問14-33 広報広聴	3.10	3.57	6.78	継続
問14-34 広域行政	3.05	3.65	7.12	継続
問14-35 高度情報通信	2.97	3.78	7.67	要改善

市民・行政活動分野でニーズの高い施策は「高度情報通信」「行財政運営」で、特に「高度情報通信」は散布図上でも要改善項目となっている。

【満足度・重要度／属性別】

	全体	満足度		重要度	
		男	女	男	女
調査数	709	318	384	318	384
問14-31 市民活動、地域活動、協働参画	3.06	3.04	3.07	3.42	3.47
問14-32 行財政運営	2.89	2.91	2.87	3.62	3.63
問14-33 広報広聴	3.10	3.05	3.14	3.52	3.61
問14-34 広域行政	3.05	3.02	3.08	3.57	3.73
問14-35 高度情報通信	2.97	2.95	2.98	3.76	3.80

	全体	満足度						重要度					
		18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
調査数	709	45	64	89	118	183	207	45	64	89	118	183	207
問14-31 市民活動、地域活動、協働参画	3.06	3.03	3.02	2.97	2.97	3.03	3.22	3.29	3.33	3.33	3.56	3.36	3.65
問14-32 行財政運営	2.89	2.85	2.89	2.77	2.78	2.81	3.13	3.27	3.65	3.60	3.84	3.54	3.69
問14-33 広報広聴	3.10	2.88	3.08	2.96	3.07	3.07	3.28	3.23	3.68	3.45	3.65	3.49	3.75
問14-34 広域行政	3.05	3.09	3.12	3.02	2.91	3.01	3.19	3.54	3.81	3.53	3.75	3.58	3.71
問14-35 高度情報通信	2.97	3.00	2.97	2.94	2.73	2.95	3.16	3.83	4.00	3.71	3.92	3.71	3.64

	全体	満足度		重要度	
		居住意向高い	居住意向低い	居住意向高い	居住意向低い
調査数	709	549	65	549	65
問14-31 市民活動、地域活動、協働参画	3.06	3.11	2.74	3.49	3.25
問14-32 行財政運営	2.89	2.96	2.57	3.66	3.42
問14-33 広報広聴	3.10	3.17	2.74	3.61	3.31
問14-34 広域行政	3.05	3.10	2.71	3.68	3.53
問14-35 高度情報通信	2.97	3.02	2.67	3.76	3.78

性別にみると、概ね男性に比べ女性の満足度が高く、男女ともに「広報広聴」の評価が最も高い。重要度においては男女ともに「高度情報通信」を重視している。










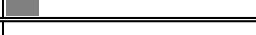
年齢別にみると、満足度は50歳以上で「広報広聴」の評価が高い。その一方「行財政運営」の評価が低くなっている。重要度においては70歳以上を除くすべての年齢で「高度情報通信」がもっとも重視されている。

居住意向別にみると、全ての項目で《居住意向》の高い人の評価が高い。一方、《居住意向》の低い人では「行財政運営」の満足度が最も低い。重要度においてはいずれも「高度情報通信」が最も重視されている。

ii) 自由意見

●市民・行政活動分野については、市民活動や行政活動に関する情報提供の方法や広報紙への要望など「広報・広聴」についての意見が多くみられた。

問14 市民・行政活動分野全般について、ご意見をご記入ください。

項目	件数	
広報・広聴	9	
行財政運営	3	
広域行政	3	
市民活動をしている団体やグループへ資金や交流の場などの支援	2	
コミュニティづくりのための各種イベントの開催	2	
拠点となる集会所や会議・研修などに利用できる場所の整備	1	
高度情報通信	1	
行政への意見、要望等	24	
その他	15	
わからない・特になし	4	
意見数計	64	

市民・行政活動分野について自由な意見を求めたところ、「広報広聴」に関する意見が9件と最も多く、市民活動や行政活動に関する情報提供の方法や広報紙への要望についての意見が多くみられた。

【主な意見】

●**広報・広聴**

- ・多くの市民の目や耳につきやすく分かりやすい様に情報を伝えていくべきなのではないでしょうか。ポスター等でより目につきやすく発信していくべきかと。(性別不明/30歳代)
- ・広報誌は他の市と比べるととても読みやすいと感じている。これからも見やすく、読みやすい広報誌を作っていてほしい。(女性/40歳代)
- ・広報紙をもう少し色々な所に置いてほしい。アパート住まいだと、回覧板などで手に入れることができない。知っている限りでは、市役所、えぼかでしか手に入れない。郵便局やスーパー等にもあるとうれしいです。(女性/30歳代)

●**広域行政**

- ・本市はへその街と売り出しているのですが、郡山圏域内と連携した方が発展するのではないかと思います。(男性/70歳以上)

●**市民活動をしている団体やグループへ資金や交流の場などの支援**

- ・市民団体活動の推進。(女性/70歳以上)

●行政への意見、要望等

- ・市役所の職員のレベルがとても低い。勉強してほしい（意欲、親切、勉強、変化度が低いです）。（女性／50歳代）
- ・窓口対応はあまり印象が良くない感じです（親しみがない）。（女性／20歳代以下）
- ・市役所の月曜19時まで開設は助かります。時間、曜日の追加等、今後も検討していただきたいです。（男性／40歳代）
- ・住民が自分達の街作りに参加している意識を持つため、現在の行政主体の街作り政策を住民主体の地方自治法に左右されない個性ある自分達の街作りにする狙いから、住民と行政の住民・行政協同社会を作る必要がある。住民が生き生きした活力ある市になりますよ。名称は『住民・行政経営委員会』とでも…素敵ですネ。（男性／70歳以上）
- ・今後の少子高齢化社会に対応した、広域行政や行政運営について早く取り組むとともに、住民自治に基づく市民活動を更に支援してほしい。（男性／70歳以上）
- ・私たち世代にはいまいち浸透していない事項。行政、市政…市議員さん身近にいますが、なんか遠い感じ。もっと若い世代と交流して、何を思っているのか聞いてみては？（女性／30歳代）
- ・車がないと生活ができないので、交通の便を考えてほしい。（女性／60歳代）








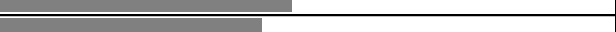
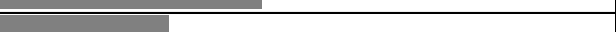
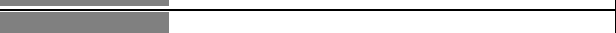
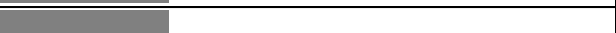
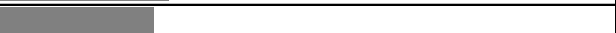



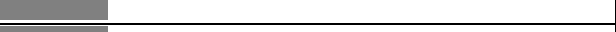
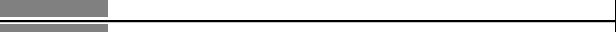
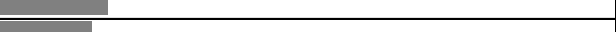
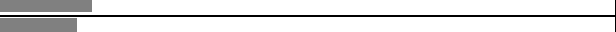
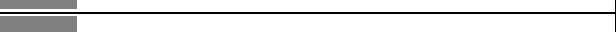
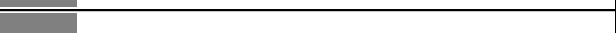
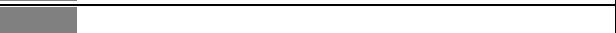
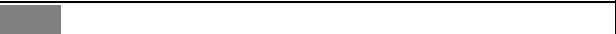



●その他

- ・市民活動・地域活動・協働参画に対する参加者、中心的な役割を担う人が固定式は長期化されていると思われますので、組織の活性化を図る為に誰もが参加出来る態勢作りをしてもらいたい。（男性／70歳以上）
- ・今回のアンケートをきっかけにホームページを見てみようと思い、検索したら、いろいろな取り組みがなされていることに驚きました。市民の方の中には、実際に自分が関わらないことについては知らない人が多いのではないのでしょうか。ぜひ、いろんな取り組みをみなさんに知って頂き、活用していただきたいと思いました。私も活用していきたいと思います。（女性／50歳代）

（５）これからの本宮市について

●これからの本宮市を暮らしやすく愛着のあるまちにしていくための意見としては、「魅力あるまちづくり・生活環境の整備」や「子育て支援・結婚支援」に関する意見が多くみられた。

問15 最後に、これからの本宮市に対する夢や将来像、あなたにとって暮らしやすく愛着のあるまちにしていくためのお考えなどについて、ご意見等がございましたらご自由にお書きください。

項目	件数	
魅力あるまちづくり・生活環境の整備	37	
子育て支援・結婚支援	34	
健康・医療	27	
高齢者福祉	26	
中心市街地の整備	26	
道路	25	
地域公共交通	24	
学校教育	19	
観光・物産振興・にぎわい創出	17	
雇用対策	11	
防犯・交通安全・消費者対策	11	
行財政運営	11	
障がい者福祉	10	
防災・減災	10	
歴史・文化・芸術	9	
企業誘致・事業創出	9	
商工業	8	
生活支援	7	
農林業	7	
土地利用	7	
住宅・住環境	6	
環境保全・エネルギー	5	
ごみ対策・美化活動	5	
公園・緑地・景観	5	
広報・広聴	5	
アンケートについて	5	
スポーツ	4	
行政への意見・要望	36	
近況や日常生活、まちの感想など	34	
その他	18	
意見数計	458	

本宮市を暮らしやすく愛着のあるまちにしていくための自由な意見を求めたところ、「魅力あるまちづくり・生活環境の整備」に関する意見が37件と最も多く、以下「子育て支援・結婚支援」（34件）、「健康・医療」（27件）、「高齢者福祉」「中心市街地の整備」（ともに26件）、「道路」（25件）、「地域公共交通」（24件）などとなっている。

【主な意見】

●魅力あるまちづくり・生活環境の整備

- ・子供の教育を充実した方が良い。本宮市の魅力が何なのか、いまいち不明確。生まれ育った地なので愛着があるが、他の地域から引越して来られる方にはどう映っているのか疑問。近隣の地域と比較して魅力がないように感じる。特に子育て世代にとって。子育て世代の定住・移住に向けたメリットが必要だと思う。(男性/40歳代)
- ・就職などで本宮市を離れても、いつでも戻れるふるさとであってほしいです。(男性/20歳代以下)
- ・人生の終着駅に近い老婆のつぶやき。太古より安達太良山と阿武隈川のこの大地で人々は暮して来た。本宮は最近、福島県のへそのまち、一番住みやすいまちと評価されていることは喜ばしい。百年後も（その頃は原発は無いと思うが）やはり、へそのまち本宮、住みやすいまち一番として福島県の中核的な美しい田園都市として繁栄していることを願ってます。(女性/70歳以上)
- ・バランスのいい町作りをこのまま続けて下さい！賑やかにすぎるともあれなんで、はい。人と自然がある本宮！これが最高です。(男性/20歳代以下)
- ・人口を増やして税収を増やしても20年後にはその分医療福祉費が増大になって、市財政を圧迫する事になるだろう。やはり産業を創出する事、特に各分野が交流し、6次化産業を産み出し、雇用をし、そこから税収を得る。市外に本社を持つ企業を誘致しても税収は半減してしまうので、市に6次化を進めるための特別機関が必要であろう。市各地の自然環境や立地条件をいかにしながら産業を創出し、住みやすいスモール都市を目指すべきではないか！（男性/50歳代）
- ・本宮市内以外の場所には、駅がありません。イクタンなどのタクシーはありますが、料金がかかり、時間や場所が限られています。手軽に出歩く（買い物等）できるようなシステムがあるといいと思います。今は車で出歩けますが、運転できなくなった後のことを考えると不安です。高校生の子ども達も足がなく、通うのが大変でした。高齢の母も困っています。今後、家をどうしようか、墓をどうしようか、先々が不安でなりません。手軽に相談できる場所があれば、と思います。また、そういうことに対応できるような対策がとれば、と思います。よろしくお願いします。(女性/50歳代)
- ・「住みたい市町村」で県内上位にランクしているのが本宮市です。行政側で考えられる「住みたい」とはどんな点でしょうか？一般市民が「住みたい」と思うには、買い物をするスーパーや病院、学校等が整備されているのが条件だと思います。子供から高齢者まで様々な年代の目線で都市開発を行っていただきたいと思います。(男性/40歳代)
- ・数ある地域を平等に住みよく、冬の積雪の時などは早めの除雪をお願いしたいと思います。道路はいいが目印がなくわかりづらい所とよく言われますが、今はナビがあるからいいのかな。(女性/60歳代)
- ・福島で一番住みやすい市町村ということですが、本宮市に転入してきたいと思わせる魅力作りが必要かと思います。今年の春、郡山市内での職業訓練に参加し、大半の方が若い郡山市の人達でしたが、本宮市の良い所等知っている人は少ない状況でした。私は、パワーポイントで本宮市の良い所等紹介しましたが、もう一度本市の良い所を掘り下げて、広く知らしめてはいかがでしょうか！（男性/60歳代）

●子育て支援・結婚支援

- ・私は今まで13回引越をして色々な都市で生活をしましたが、中でも本宮市は暮らしやすく子育てにとっても良い環境だと思い行政、地域の方々に感謝しております。身近に自然が多くお年寄りが多いのも特長なのかと存じます。子どもたちは農業体験や、お年寄り子どもたちとの触れ合い事業などが増えるとより本宮市の良いところが出てくるのではないかと思います。また、3年保育の導入や、一時保育日数の増加など重ねて検討お願いいたします。（女性／30歳代）
- ・子供達、孫達が、ずっと本宮市に住み続けたいと思う様な本宮市になってほしいです。環境が整って安心して暮らせる本宮市であってほしいです。子供を持つ親として、特に子育て支援、教育支援に力を入れてほしいと思います。又、高齢化社会が進む中で、安心した老後が送れる様な本宮市であってほしいです。二世帯、三世帯同居があたり前だった以前の様な本宮市になってほしいです。（女性／40歳代）
- ・働く女性とか女性の輝ける職場とか言いますが、主婦って働いてないんですか？わたしはいつも思うんです。待機児童ゼロにするより、もっと主婦を認める社会になってほしいと。乳児期はお母さんが一番、なのに他の人に預けてまですることって何ですか？また、結婚し子どもを産み育てることが一番大事な仕事だと思うのです。それには適齢期があります。なのにそれを逃がして不妊治療費がかかる…なんて本末転倒です。二人目以降保育料タダ、なんてしないで、家を守って子育てしている母親にこそ給料をあげてほしいと思っているのです。主婦がファミサポ（託児）利用したら700円/時かかるんです。会社行ってる人ならただ座ってるだけでも、子ども保育園（昼・おやつ有）タダで預けて、それで一生懸命子育てしてる主婦をバカにされていられないです。ゆったりとした気持ちで子どもと関わり、子どもを多く産みやすい環境、そういうことを目指すのは無理なんでしょうか。政治的なことはよく分かりませんが、誰もそんなこと言う人いないですよ。だからこそ本宮市がそうなったらいいのになと思っていますのです。主婦の浅知恵でしたらすみませんが、上記強く希望しています。そして、他地域との連携、支援はもちろん必要とも思いますが、本宮市だけでも自立していけるくらい場となってほしいです。（女性／30歳代）
- ・他の市から引越してきてまだ1年未満ですが、本当に住みやすい良い市だと感じています。子供がまだ小さいので「えぼか」は本当にありがたいです。ただ、幼稚園教育については多少他の市に比べ遅れていると思います。市で幼稚園を安い保育料で運営して頂けたらうれしいです。給食付きだと仕事をしている母親にもとても助かります。もう一つ残念なのは、排水溝が汚いことです。フタがないので、ニオイもすごいし、汚れも丸見えなので、とても不潔です。小さい子供が歩くときも道が狭いので、車とすれ違う時はとても危険です。うちの近所に駐車場の様なところがあるのですが、工事の廃材やゴミなどが置きっぱなしで放置され、雑草も伸び放題で、とても不潔な場所があります。いつもゴミもたくさん捨てられています。子供の集団登校の集合場所（万世シミズクリーニングさんの向かいあたりです。）の近くなので、とても不快です。蚊もたくさんいます。早急に対処して頂きたいです。また、水害がよく起きると聞いたので、これから台風が増える心配です。このようなアンケートの機会を頂き、ありがとうございました。より素晴らしい市になるよう期待しています。（女性／30歳代）

- ・子育て世代にとって、待機児童の解消は本当にありがたいことです。一方で、保育所だけでなく、幼稚園の良さにひかかれている家庭も少なくないと思います。第1保育所、第2保育所の区域に1つ公立の幼稚園があったらいいな～と思います。事情は重々承知しておりますが「区域外の公立幼稚園へ送迎・通園すること」または、「私立に入園」という極端な選択肢しかないのでは、子育て世代の定住や移住は見込まれないと思います。（女性／20歳代以下）
- ・更なる子育て支援の充実を期待します。幼稚園無料化。私立幼稚園が少ない。教育に力を入れている幼稚園に入れたい場合、郡山まで行かないといけなくて不便。近くにあればありがたい。産科も少なく不便です。特に二人目、三人目となると、子連れで遠くまで検診に行くのは大変です。小児科も少ない。（女性／40歳代）
- ・町中活性化に努力してほしい（旧町内）。男女の出逢い、婚活に力を入れてほしい。若者達が居住できる町でありたい。（女性／70歳以上）

●健康・医療

- ・安心して生活するためには、きちんとした医療が受けられる総合病院の運営が必要となると思います。又、市営バスがないため、車の運転ができない方々の自由に移動、買い物などが不便な様な気がします。現在、若い世代が本宮市に移住している様ですが、人口の増加に伴い、市の体制が行き届いていないのではないのかと思ってしまうます。仕事をしている方々へも配慮し、夜間医療の充実も図って頂ければと願います。少しでもこの意見が反映されますように願います。（男性／30歳代）
- ・本宮市は交通の便が良く、通勤・通学にも適した便利な住みやすい街だと思います。子供を伸び伸びと安心して育てることが出来る事、子供に芸術やスポーツなど経験・体験出来る機会を多く与えるなど、子育てのしやすい街づくり。医療の充実、特に総合病院の設備の充実。谷病院は民間なので、市政が関わることは出来ないことは承知しておりますが、市内に設備の整った総合病院があると家族は安心して過ごすことが出来ますし、万一入院になったとしても、通院しやすいのでとても助かります。出産に関しても同様かと思えます。若い世代の方も定住し、活気ある街であり続けてほしいと思います。（女性／50歳代）

●高齢者福祉・障がい者福祉

- ・障がいのある方、老人等、弱者といわれる方が住みやすい、住んで良かったと思えば健常者も住みやすい、住んで良かったと思います。（女性／50歳代）
- ・具体的なことはないのですが、子育て支援も重要だと思いますが、今現在よりも高齢者や障がい者の方々にも支援の充実を望みたいです。（女性／40歳代）
- ・障害者が住みやすい市にしてほしいです。本宮市は後れていると思います（同行援護等）。（男性／60歳代）
- ・福祉が町の名前になる様に！福祉の町“本宮市”にぜひ！（男性／50歳代）
- ・市外からの移住者、若い世代の人口が増加して、地域の人々がお互いに協力して生活していけたらいいなと思います。高齢者の方々も生活しやすいように、バスやタクシーの充実や、孤独死を防止するために、1人暮らしの方との交流を定期的に行うなどの取り組みが重要だと思います。（女性／20歳代以下）

●中心市街地の整備

- ・本宮市は、県の中心となり、交通アクセスも便利であり、その特性をいかした県内外からの人の流入、産業発展となりうる軸を作り上げ、経済の安定を図った市づくりを目指したい。専門の病院が少ない。安心して子供を出産、育てられるような。町内のシャッター商店街の再利用。（男性／60歳代）
- ・他県から来た者として、本宮市は比べて魅力が全くない。医療、娯楽、交通と不足しているものが多すぎて活気がない。大きな総合病院があれば安心できるし、個人病院も増えれば選択肢も増えるが、今は郡山まで行く人が多い。娯楽（日帰り温泉やカラオケ、ショッピングモール、映画館など）がないので、子ども達が大人になったら都市に流れると思う。市営バスも他市のようにないので、年寄り世代にはあまり向かない。私達世代もその年になったら不便な生活になると思うと定住したいと思える町ではない。（女性／30歳代）
- ・駅前、開発など新しい本宮の姿が見られるが、センスが無い。（女性／40歳代）
- ・本宮市に、ニトリとマクドナルドが欲しい。本宮に住んでいると、何かを買いに行くために結局市外まで行かなきゃいけないのが面倒。イオンなどの商業施設が出来れば良いと思う。他県から友達が来ても遊びに行く場所がなく、仙台へ出かけることになるので、遊園地などができれば皆喜ぶと思う。（女性／20歳代以下）

●地域公共交通

- ・白沢地区内に市営バスを走らせる事を検討してほしい。（男性／20歳代以下）
- ・岩根みずきが丘にバス停を。子供が高校に行きづらいです。（男性／40歳代）
- ・本宮市では住宅が増えてきて、商業店舗も増えてきて、昔から見ると住み良い町になってきました。交通の便も良く若い人達にとっても暮しやすい町だと思います。高齢者にとっては、年々体力が無くなり市のバスを利用する回数が増えていると思います。バス利用者の人に聞いてみると、もう少し小型でもいいから乗り換えなしで目的地まで行けたらいいと思うとの事を話していました。それから免許返納者の高齢者はバスの回数券の他に、タクシー券も考えてほしい旨も聞かれました。だんだん本宮市も高齢化が早くなって来ています。住み良い町の問題も市民から多くの声を聞いてほしいと思います。（女性／60歳代）

●学校教育

- ・教育格差が大きくなるないように、子供達への助成や補助を充実して子供達が夢や将来に諦める事なく、希望の持てる本宮市にしてほしいです。（女性／50歳代）
- ・本宮市の図書館について。情報誌、専門書、文庫本など読みたい書籍が少なく残念、再館が出来ない（現状では）。閲覧室の開設や現在の建物の改装及移設等、書籍の充実化（白沢地区の方には行く気がなく）など。近隣の図書館との比較と違いなどを特に勉強してもらいたい。郡山市図書館の内容と充実化と種類の多さ等を。市の休耕地の利用等、今後、書物、書籍の文化を伸ばす利点を考えてみてはどうか。提案です。（男性／70歳以上）

●雇用対策

- ・いざ本宮に住むとなった所で働き口がやはり郡山、二本松に比べ少ないため、本宮で新しく暮らしていく人を増やすのが難しいと思われるので、そこを充実させていって欲しいと思います。（男性／20歳代以下）
- ・今の子供たちが大人になった時、他の地域に出ていなくてもいいように、働く場所があると良いなあと思います。（女性／40歳代）

●防災・減災

- ・これから日本は少子高齢化が進むと言われていています。本宮市も例外ではないと思いますので、お年寄りの方も住みやすく子育てしやすい市になればいいと思います。異常気象が続きいつどこで災害がおきてもおかしくないような時代になりました。災害対策も迅速に行ってほしいと思います。もちろん私達一人一人も気をつけていかなければなりません。私も家族共々本宮発展のために生活していきます。（女性／60歳代）

●企業誘致・事業創出

- ・企業誘致が雇用の増加に期待したほど効果が出ていないのではと思うのが少し残念だ。アパートは沢山出ているのに、思ったほど人口が増加しない。それで若者は結婚はするが、離婚が多く見受けられるが、何が問題なのか、市で検討すべきではないだろうか？人口増加に結びつかない一つの原因になっていると思われる。本宮市の独自の多人数を必要とする企業誘致の考え方。他市町や他県のものまねではなく、本宮市ならではの考え方の企業誘致と人口増加、そして税収の増加が有ってこそ豊かな本宮市作りが出来るものと思われます。（男性／60歳代）

●農林業

- ・市内全てを管理というのは、難しいと思いますが、今一番不安なのは農業後継者がいないという事です。米は安くて農薬や機械は高くなり、働く人がほとんど65才以上の高齢者です。これからローンは組めず、機械が壊れたら皆、農業をやめなければなりません。一日でも早く、日本の産業であります米農家の支援をお願いしたい。このまま行くと本宮市全体、荒れた農地になり、景観も悪くなり安心して生活出来ない所になっております。初心に帰り、まず農家が豊かになれば、物が売れ、お金まわりが良くなります（昔の経験を思い出しますと）。どうぞ机上での仕事より山間地にまめに出入りをし、本当の本宮の幸せを考えてもらいたい。余裕が出来れば、人々の心も豊かになり、本宮全体がうるおいます。ぜひ、東西南北に目を向けて下さい。（女性／60歳代）
- ・生活をして行く上で農家の後継者がなく、年齢もだんだん上がり自分達だけではやって行けなくなり、今後のことが心配です。生活する上で年金だけでは生活して行けないくらいで、身体ももう限界に近づいています。市ではこういう人達のことをどう思っているのでしょうか。（女性／60歳代）

●住宅・住環境

- ・今はアパート暮らしをしており、本宮市に家を建てたいと思っております。ですが、土地がない（良い条件の物）建て売りまたは建てる際にその土地でホームメーカーが決まってしまうという

のが多く、なかなか理想のマイホームが建てられないでいる。自由設計ができる土地を市で確保していただけるとありがたい。（女性／20歳代以下）

●アンケートについて

- ・何十年も住み、生活していても日々の生活に追われ、今回のこの調査がなれば何も考えず、生活していたのではないかと思いましたが。正直、この調査書が届いた時には“面倒”と思いましたが、市の現状、これからの本宮市の向上、発展において、とても必要な調査だと思えました。年齢（自分の）からやはり高齢者福祉の充実に関心があります。しかしまずは若い世代がこの街に住みたい、ここで子育てをしたいということから重点を置き、世代の片寄りのない今以上のみずいろのまち本宮になっていったらいいなと思えます。このような機会を与えて頂き、ありがとうございました。（女性／50歳代）

●行政への意見・要望

- ・協働のまちづくりといわれているが、地域活動が活発になるような施策を展開しないと市の発展は難しいのでは。行政と市民との考えに大きな差の生じないように、常に市民を意識した施策、計画をと考える。（男性／70歳以上）
- ・市民の為の役所でなければならない。多くの皆様市民の思っていること、市役所職員の対応が暗い仕事が遅い、祭ごとにもあまり関わらない、協力性がない、人任せが伝統で今でも変わらないところで町の発展が阻止されて来ました。発展には希望なし、商店街も廃れる、市民だけには限りがあります。危機感を持って今こそ事に当たらなければ、将来はないと思えます。続けなければならない若い人達のため、知恵を出し、町の発展を望みます。ご協力を下さい。（男性／70歳以上）
- ・各世代の“感覚”には、それぞれ違いがあると思われまますので、それぞれの状況に応じた住民サービス企画立案と、その“見える化”が非常に大事と思えます。今あるサービスの“見える化”だけでも、住民意識は更に向上すると思われまます。大変だと思えますが、更なる“情熱”を期待します！（男性／40歳代）
- ・市民間の交流を活性化し、本宮で良かったと思えるようにするとともに、元気で老後が生活できる本宮市にして行く努力を市が卒先して取組んで下さい。（男性／60歳代）
- ・お金の問題があると思えます。何をすることもお金がかかるので、その兼ね合いが難しいと思えます。施設の管理等もボランティアなどの力を借りていくとか、元気で時間に余裕があり、生きがいなど上手く活用していくのはどうか。なかなか難しいとは思いますが、総合的な視点で発想豊かに市政を進めて欲しいです。なので、人事が一番大事だったり、発想豊かな人材育成が何より大事だと思います。（女性／40歳代）

●その他

- ・災害の少ない住み良い町をPR。体験型農業をPR。英国庭園を中心とした英国風街並のある風景の創出。留学生の交流の場の創出。楽都郡山市との連携による新軌軸の展開。（男性／60歳代）
- ・郡山市のように市営の合葬墓があると子供がいない人は将来の心配がありません。（女性／40歳代）

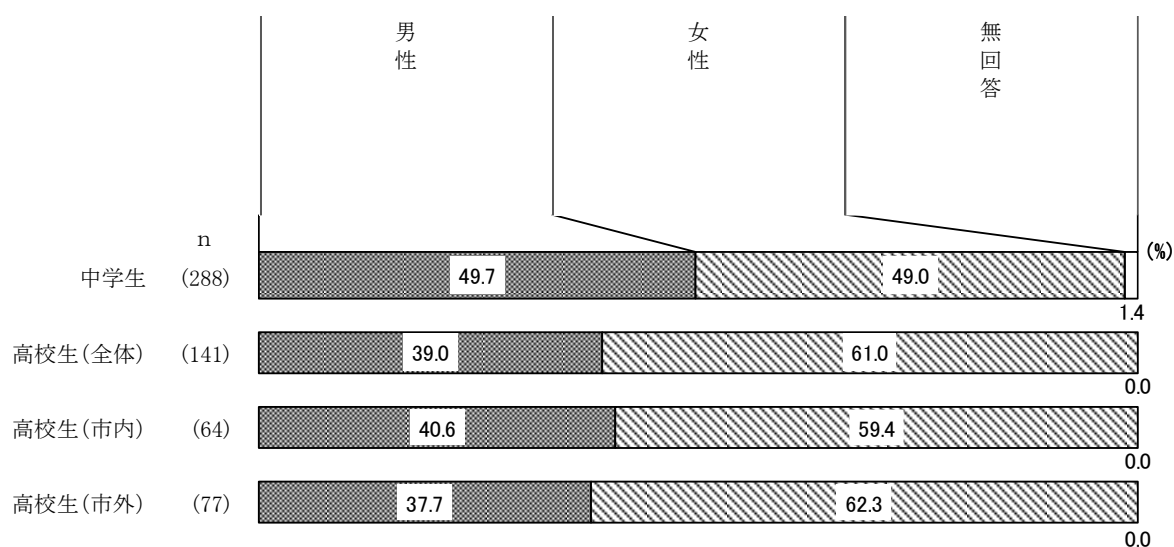
IV 調査結果（中学生調査/高校生調査）

1 回答者のプロフィール

（1）性別

問 あなたの性別をお答えください。（○は1つ）

【中学生調査：問 1、高校生調査：問 1】

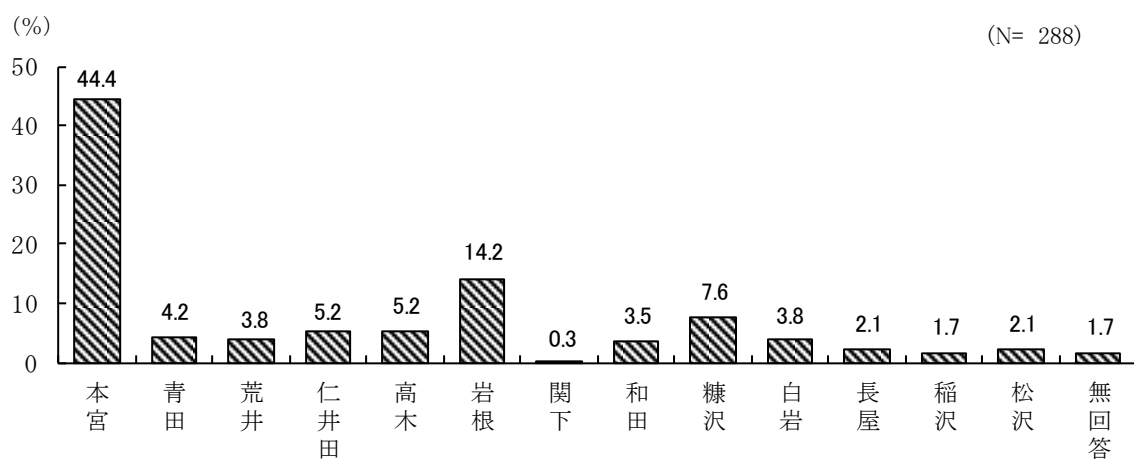


（2）居住地

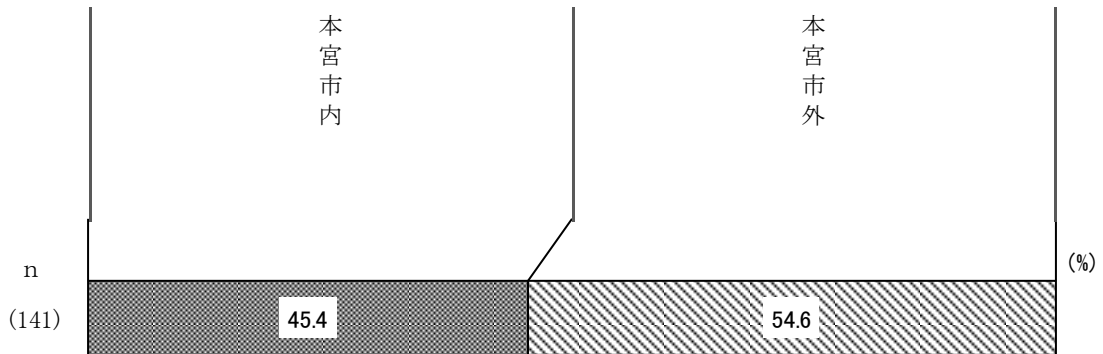
問 あなたの現在のお住まいの地域はどちらですか。（○は1つ）

【中学生調査：問 2、高校生調査：問 2】

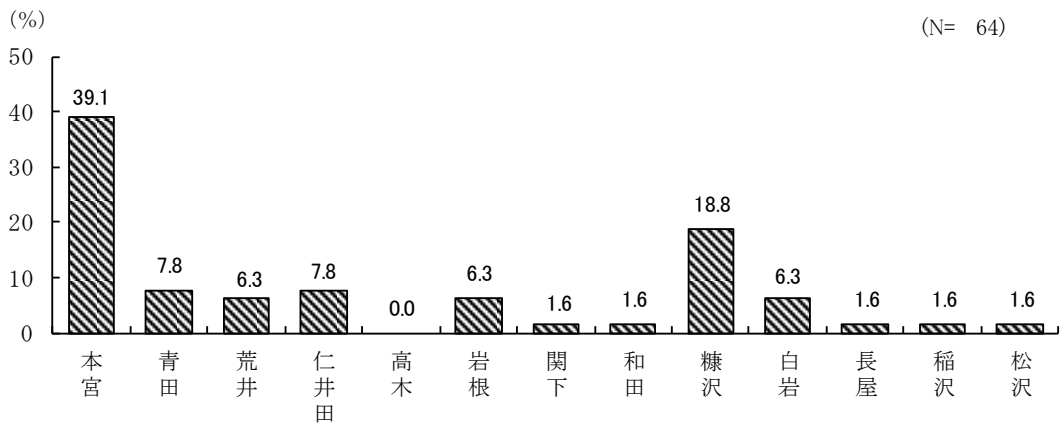
<中学生>



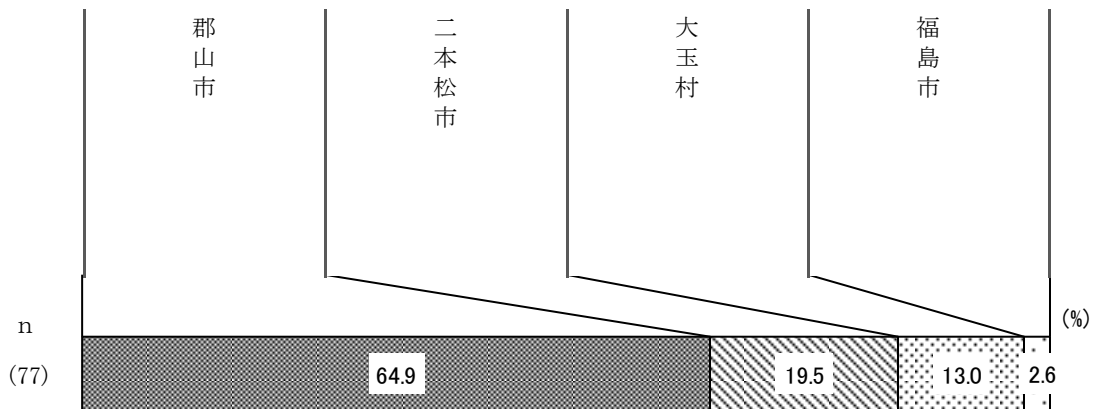
<高校生>



【本宮市内】



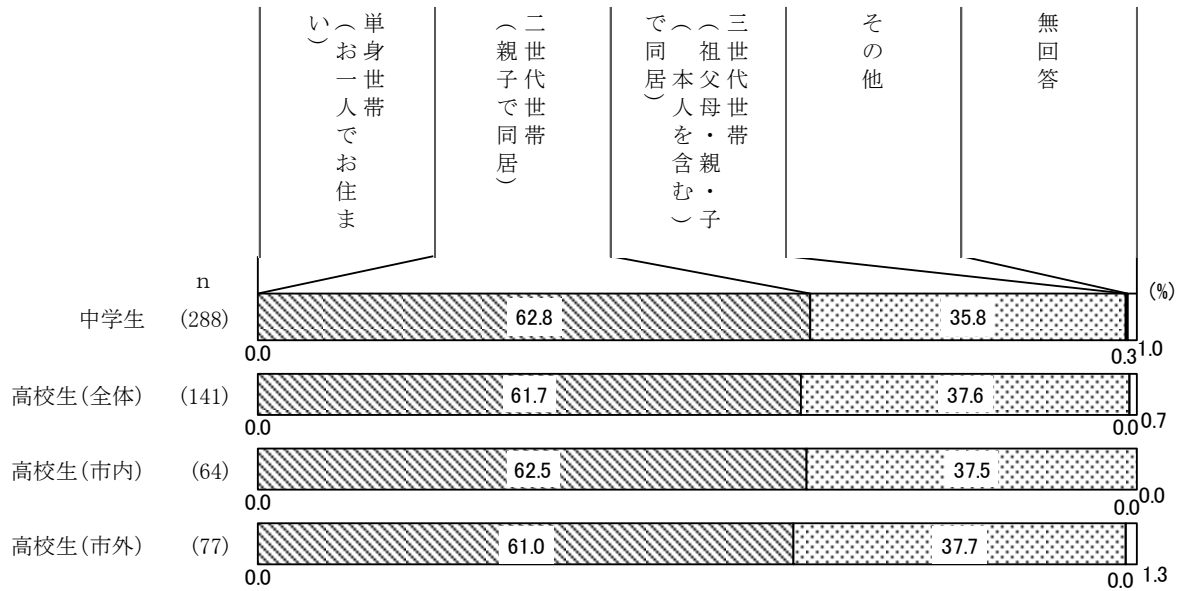
【本宮市外】



（3）家族構成

問 あなたが現在一緒に暮らしている世帯（家族）の構成をお答えください。（○は1つ）

【中学生調査：問3、高校生調査：問3】



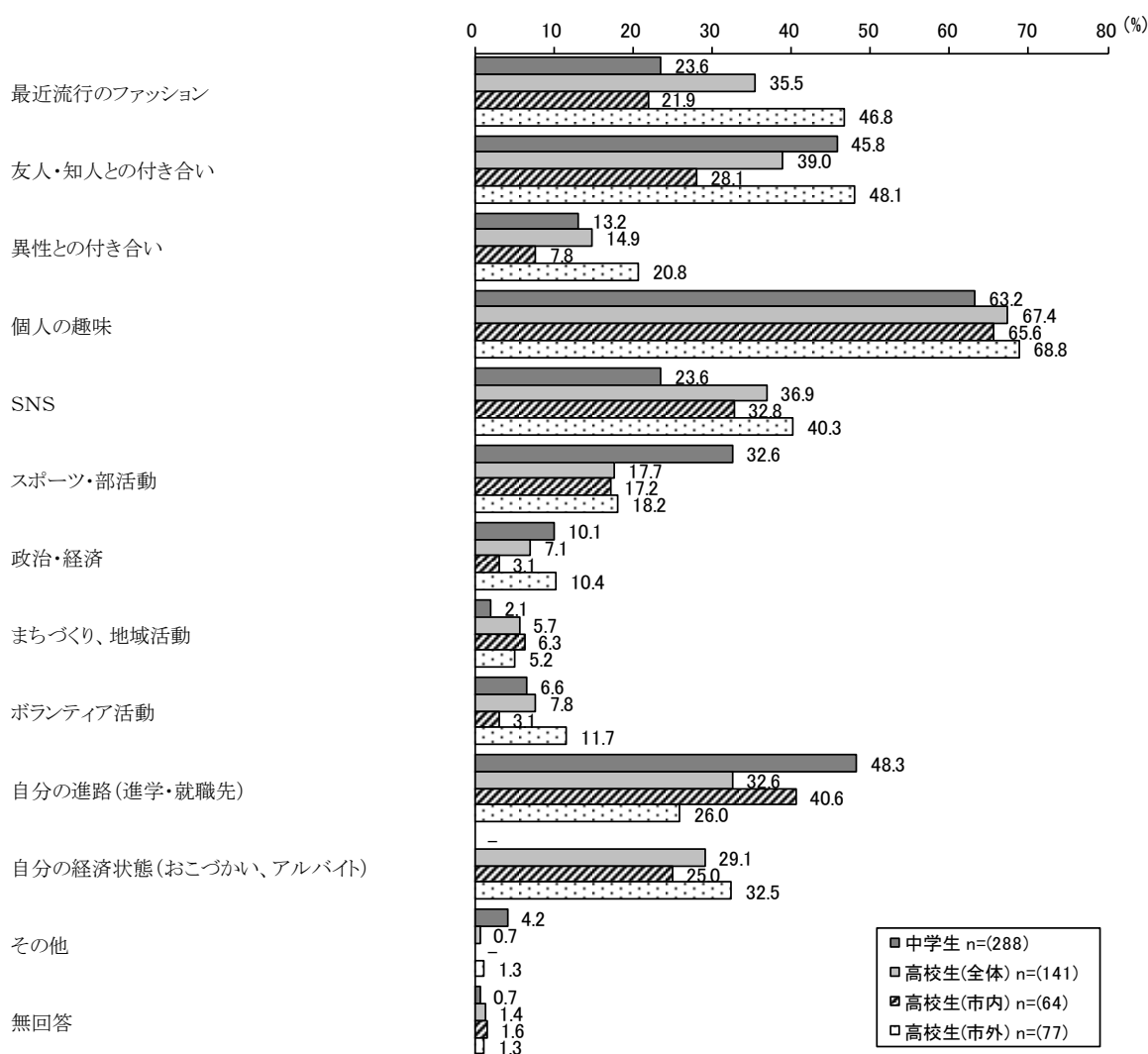
2 日常生活について

（1）現在興味のあるもの

- 現在の興味については、「個人の趣味」が中学生・高校生ともにトップ。
- 中学生では、「自分の進路（進学・就職先）」、「友人・知人との付き合い」、「スポーツ・部活動」が多く、高校生では「SNS」、「最近流行のファッション」などの回答が中学生に比べ多い。

問 あなたが現在興味のあるものは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

【中学生調査：問 4、高校生調査：問 4】



※選択肢「自分の進路（進学・就職先）」は中学生調査では「自分の進路（進学先）」と表記

※選択肢「自分の経済状態（おこづかい、アルバイト）」は高校生調査のみ

現在興味のあるものは、「個人の趣味」が中学生（63.2%）、高校生（67.4%）ともに最も多い。

中学生では「自分の進路（進学・就職先）」（48.3%）や「友人・知人との付き合い」（45.8%）、「スポーツ・部活動」（32.6%）が多く、高校生では「SNS」（36.9%）、「最近流行のファッション」（35.5%）などの回答が中学生に比べ多くなっている。

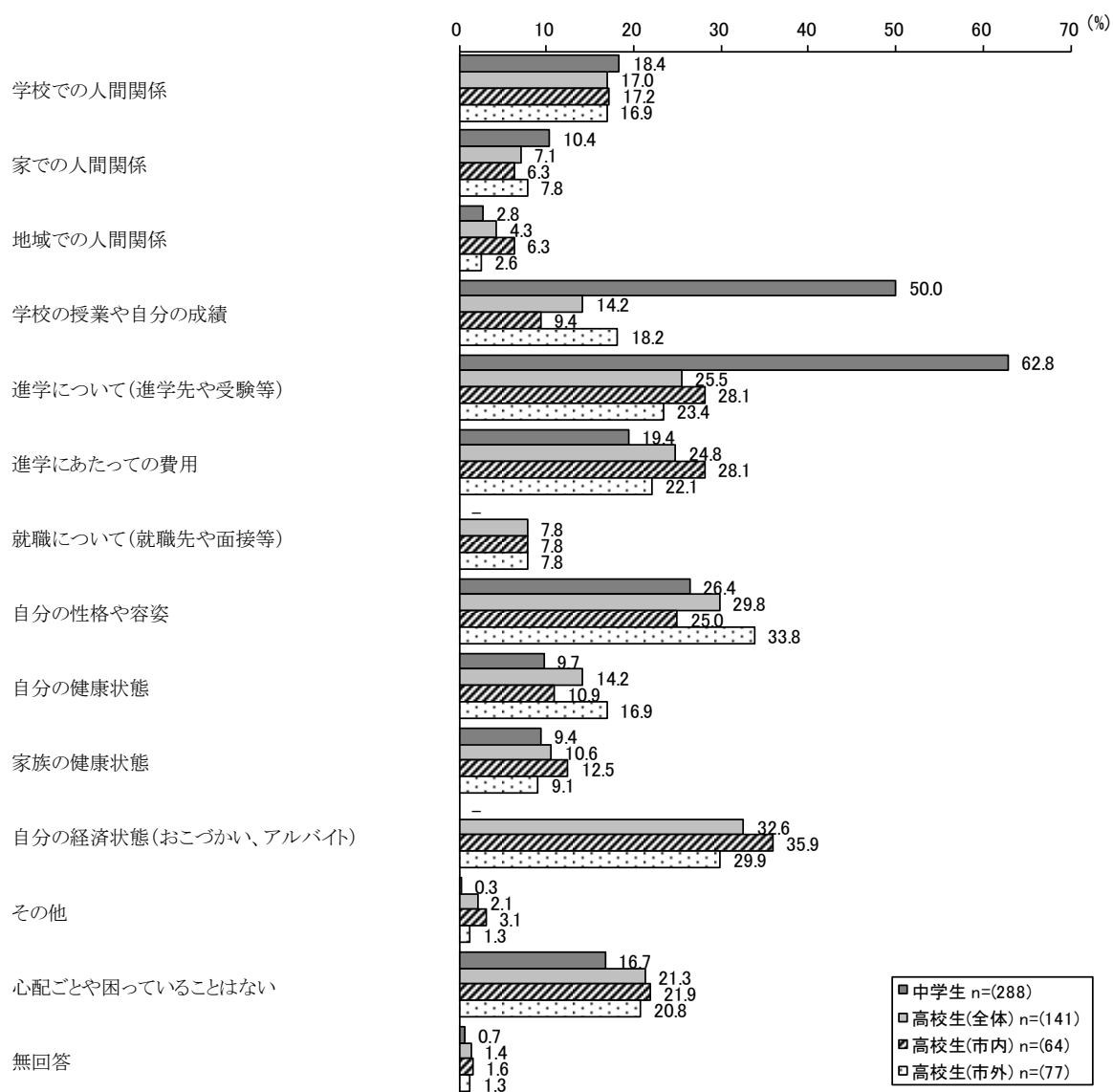
（２）生活の心配ごと

●現在の心配ごとは、中学生では「進学について（進学先や受験等）」、高校生では、「自分の経済状態（おこづかい・アルバイト）」などが多い。

問 あなたは、現在、ご自分やご家族の生活のことで心配ごとや困っていることがありますか。

（あてはまるものすべてに○）

【中学生調査：問 5、高校生調査：問 5】



※選択肢「就職について（就職先や面接等）」と「自分の経済状態（おこづかい、アルバイト）」は高校生調査のみ

生活の心配ごとは、中学生では「進学について（進学先や受験等）」が62.8%と最も多い。以下、「学校の授業や自分の成績」（50.0%）、「自分の性格や容姿」（26.4%）、「進学にあたっての費用」（19.4%）となっている。

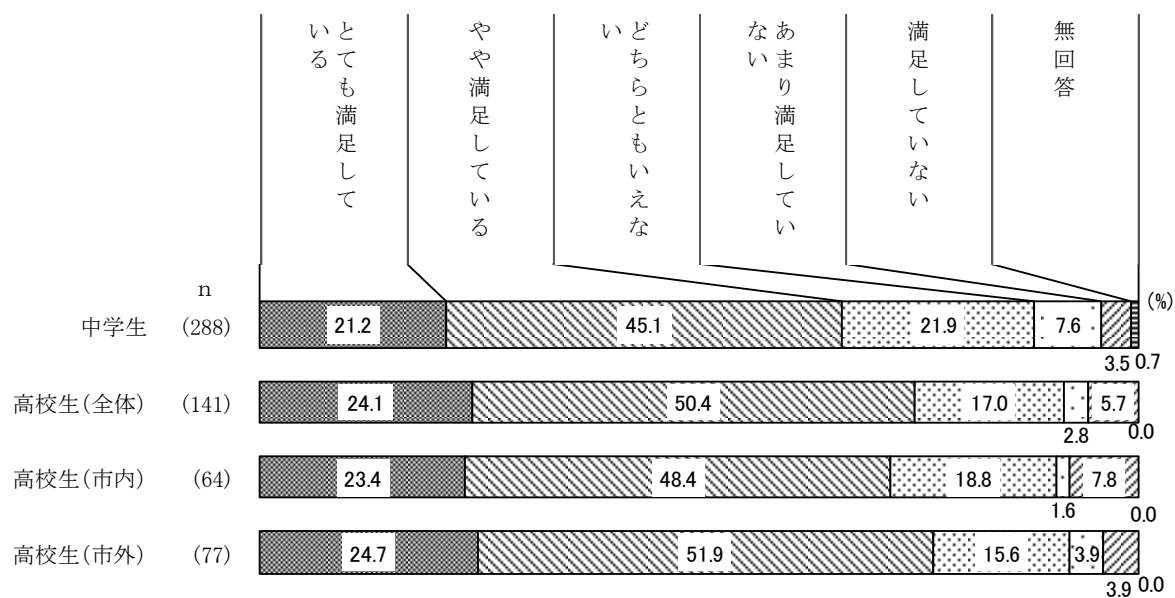
高校生では「自分の経済状態（おこづかい・アルバイト）」が32.6%と最も多い。以下、「自分の性格や容姿」（29.8%）、「進学について（進学先や受験等）」（25.5%）となっている。

（3）日常生活の満足度

●日常生活の《満足度》（「とても満足している」+「やや満足している」）は中学生が66.3%、高校生が74.5%。中学生に比べ高校生の満足度がやや高い。

問 現在、あなたは日常生活にどの程度満足していますか。（○は1つ）

【中学生調査：問6、高校生調査：問6】



日常生活の満足度は、「やや満足している」が中学生（45.1%）、高校生（50.4%）ともに最も多い。「とても満足している」とあわせた日常生活の《満足度》は中学生が66.3%、高校生が74.5%となっており、中学生に比べ高校生の《満足度》がやや高い。

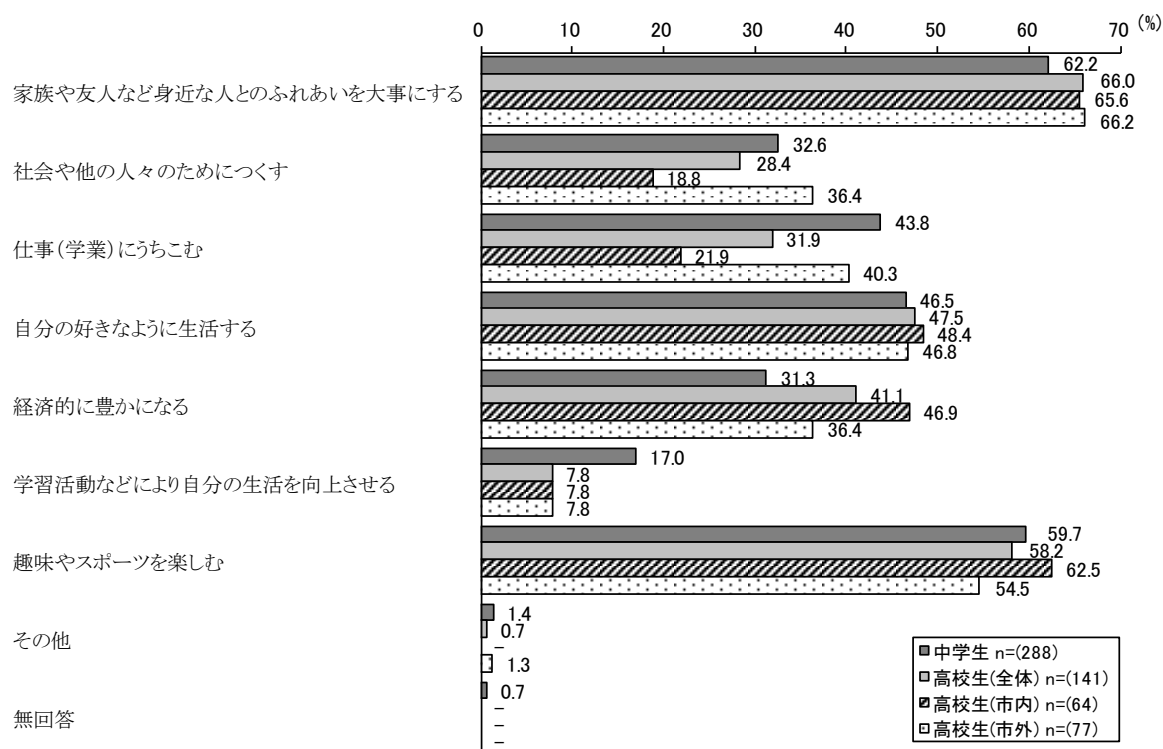
（４）将来大切にしたいこと

- 将来大切にしたいことは、中学生・高校生ともに「家族や友人など身近な人とのふれあいを大事にする」がトップ。以下、「趣味やスポーツを楽しむ」など。
- 中学生では「仕事に（学業）にうちこむ」が高校生に比べ多く、高校生では「経済的に豊かになる」が中学生に比べ多い。

問 あなたは、将来、どのようなことを大切に生活したいと思いますか。

（あてはまるものすべてに○）

【中学生調査：問 7、高校生調査：問 7】



将来大切にしたいことは、「家族や友人など身近な人とのふれあいを大事にする」が中学生（62.2%）、高校生（66.0%）ともに最も多い。以下、「趣味やスポーツを楽しむ」（中学生：59.7%、高校生：58.2%）、「自分の好きなように生活する」（中学生：46.5%、高校生：47.5%）となっている。

また、中学生では「仕事に（学業）にうちこむ」が高校生に比べ多く、高校生では「経済的に豊かになる」が中学生に比べ多い。

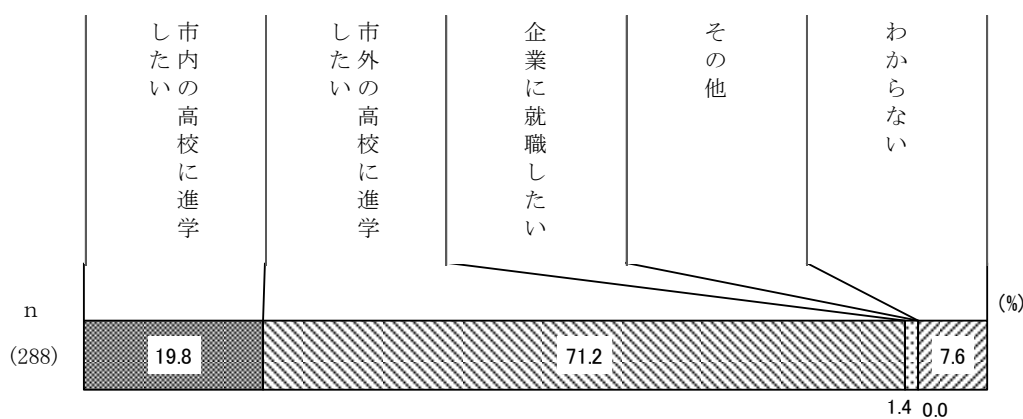
3 将来のことについて

（1）中学校卒業後の進路【中学生調査】

- 中学校卒業後は「市外の高校に進学したい」人が71.2%。
- 市内の高校への進学を希望する人は19.8%と、約5人に1人。

問 あなたは中学校卒業後の進路をどのように考えていますか。（○は1つ）

【中学生調査：問8】



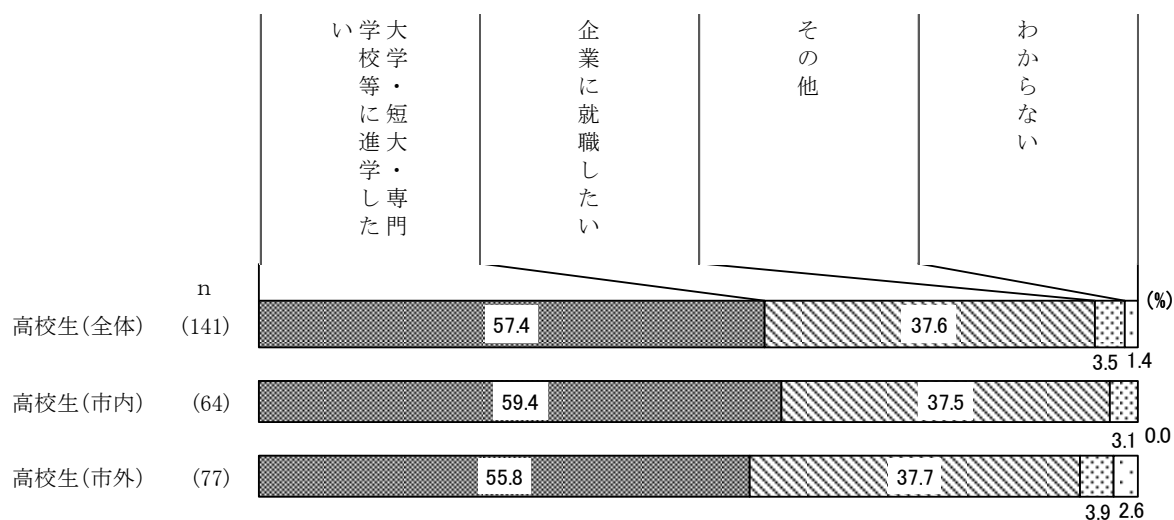
中学校卒業後の進路は、「市外の高校に進学したい」人が71.2%と最も多い。「市内の高校に進学したい」との回答は19.8%と、約5人に1人の割合になっている。

（2）高校卒業後の進路について【高校生調査】

- 高校卒業後の進路については、「大学・短大・専門学校等に進学したい」人が57.4%。
- 「企業に就職したい」との回答は37.6%で、約3人に1人が就職を希望。

問 あなたは高校卒業後の進路をどのように考えていますか。（○は1つ）

【高校生調査：問8】



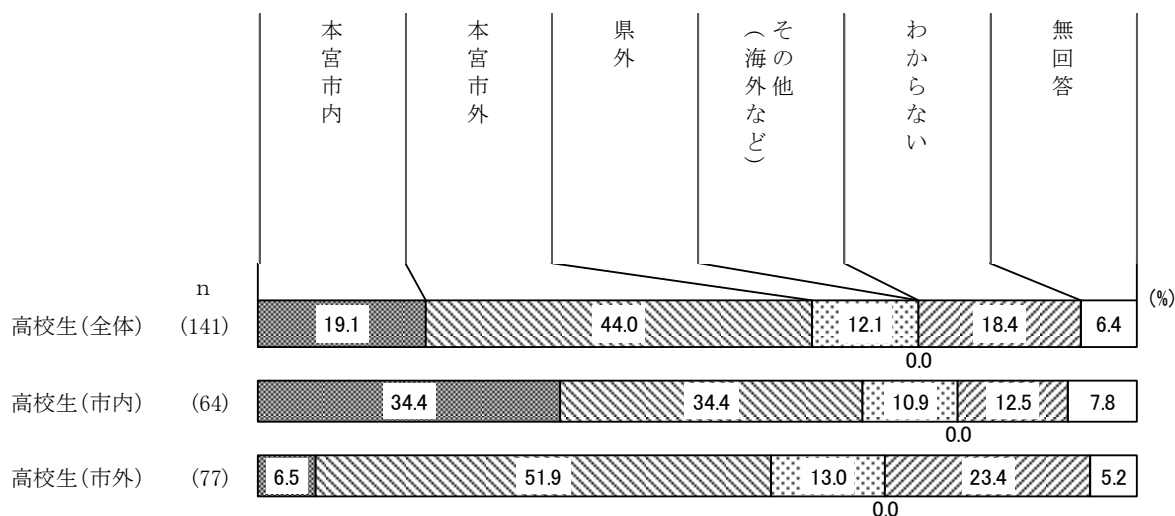
高校卒業後の進路は、「大学・短大・専門学校等に進学したい」人が57.4%と最も多い。一方、「企業に就職したい」との回答は37.6%で、約3人に1人が就職を希望している。高校生の居住地別による特徴的な差はみられない。

（3）就職先について【高校生調査】

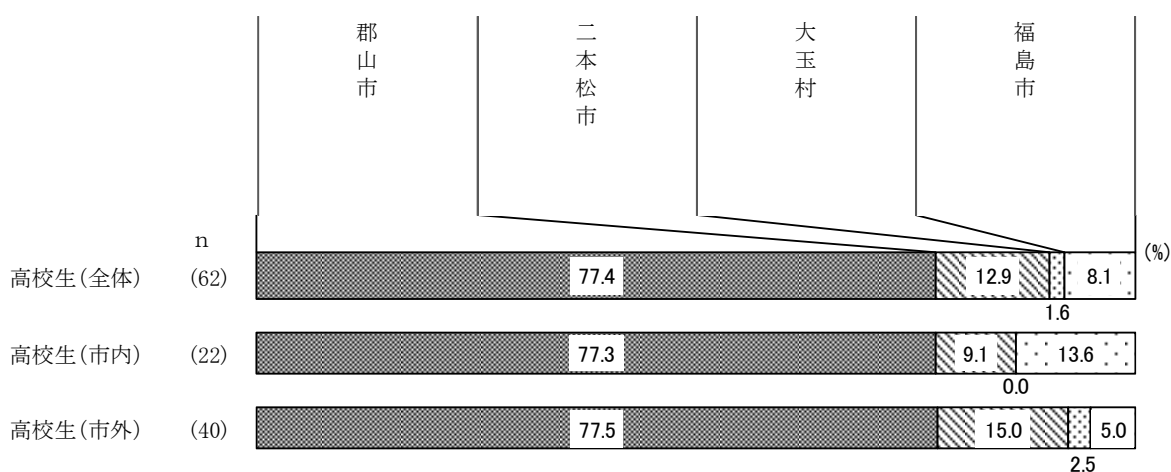
- 市内居住の高校生のうち「本宮市内」での就職を希望する人は約 3 人に 1 人で「本宮市外」と回答が拮抗している。これに対し市外居住の高校生は過半数が「本宮市外」での就職を希望。
- 市内居住の高校生のうち「本宮市内」での就職を希望する人は男性より女性に多い。
- 市外での就職を希望する人のうち、4 人中 3 人が「郡山市」での就職を希望。県外での就職先については、「東京都」が 3 割以上。

問 高校や大学・短大・専門学校等を卒業した後は、どこで就職したいと思いますか。（○は1つ）

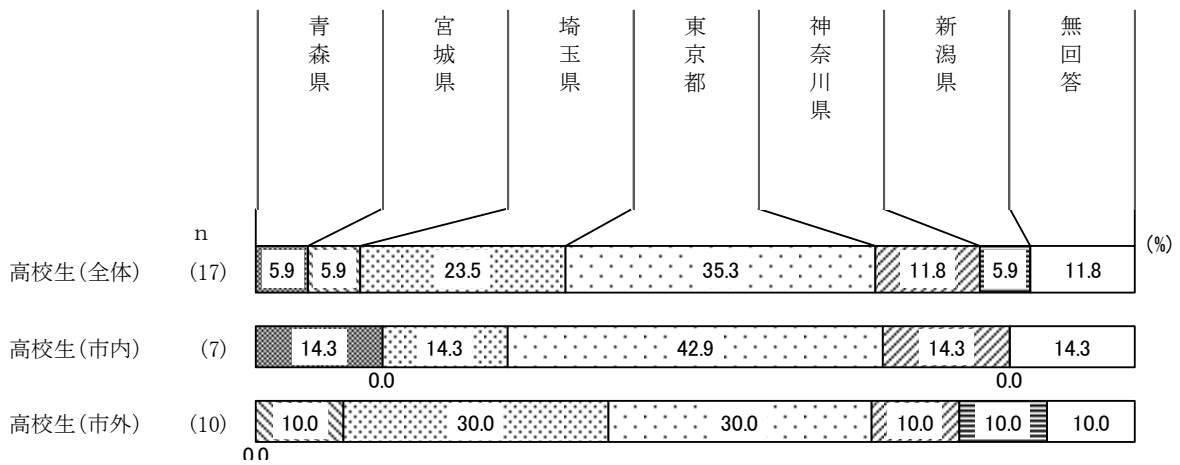
【高校生調査：問 9】



【本宮市外】



【福島県外】

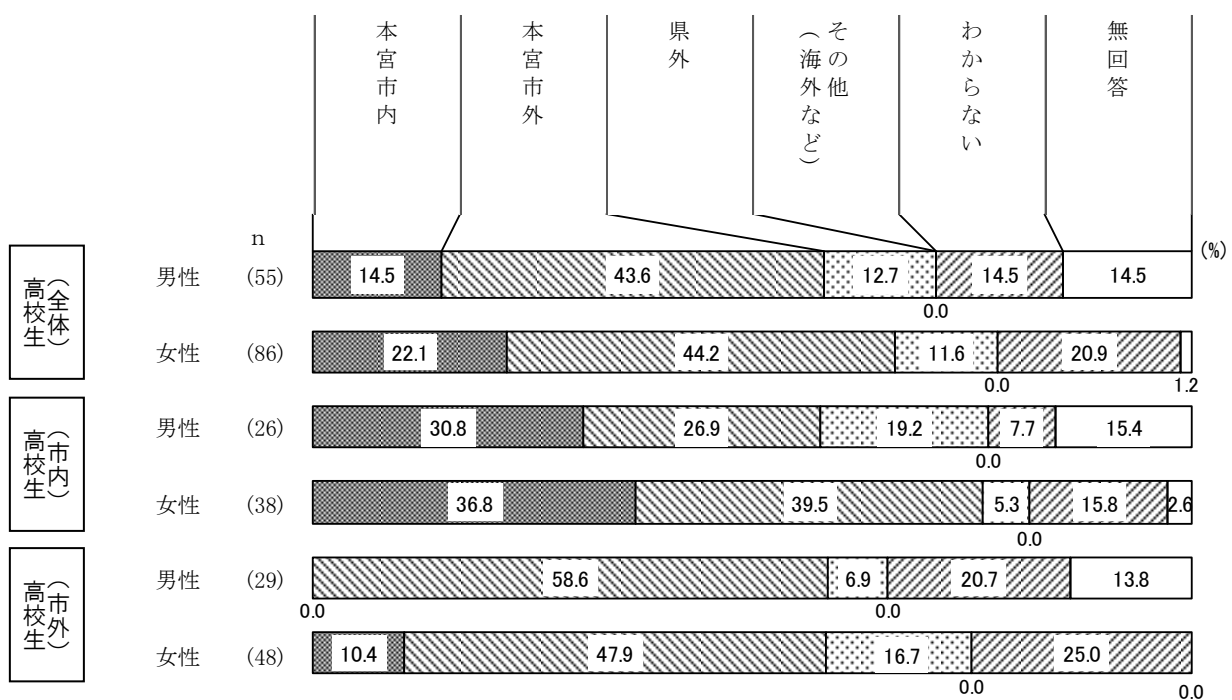


高校や大学等の学校を卒業した後の就職先としては、「本宮市外」が44.0%と最も多い。これに対し「本宮市内」との回答は19.1%となっている。

高校生の居住地別にみると、市内居住の高校生のうち「本宮市内」での就職を希望する人は約3人に1人（34.4%）で「本宮市外」と回答が拮抗している。これに対し市外居住の高校生は過半数が「本宮市外」での就職を希望している。

市外での就職先は、4人中3人が「郡山市」での就職を希望しており、県外での就職先については、「東京都」が3割以上を占める。

【就職先について/性別】



市内居住の高校生について性別にみると、「本宮市内」での就職を希望する人は男性に比べ、女性に多い。

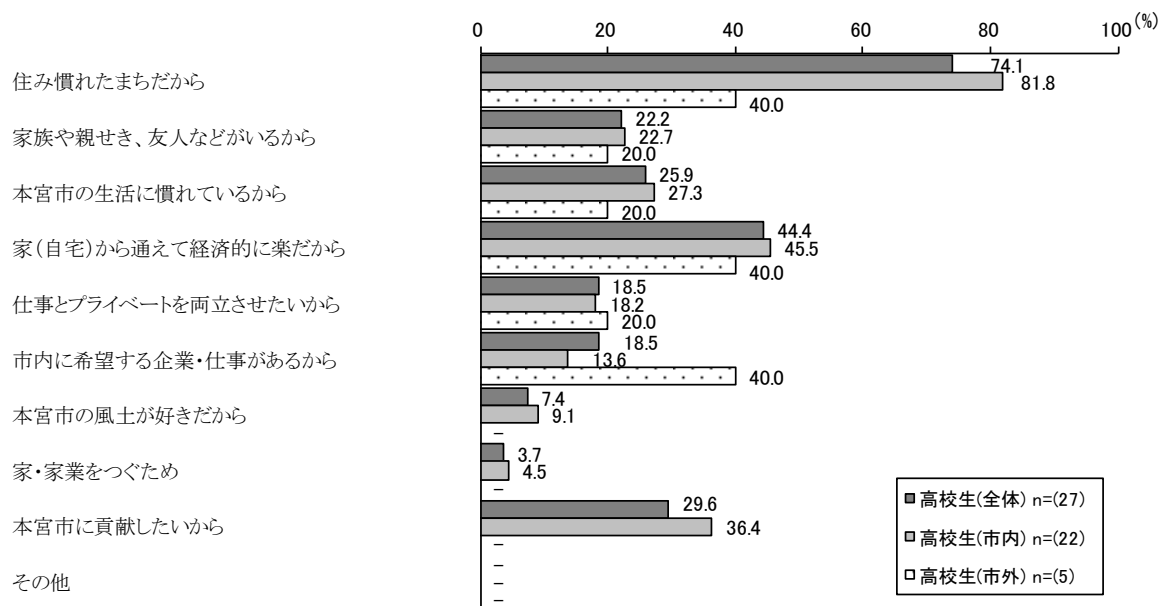
（４）本宮市内で就職したい理由【高校生調査】

●市内居住の高校生の本宮市内で就職したい理由は、「住み慣れたまちだから」がトップ。以下「家（自宅）から通えて経済的に楽だから」、「本宮市に貢献したいから」など。

【本宮市内で就職したい（問9で「1」）と答えた方のみ】

問 就職先として、本宮市内を希望する理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

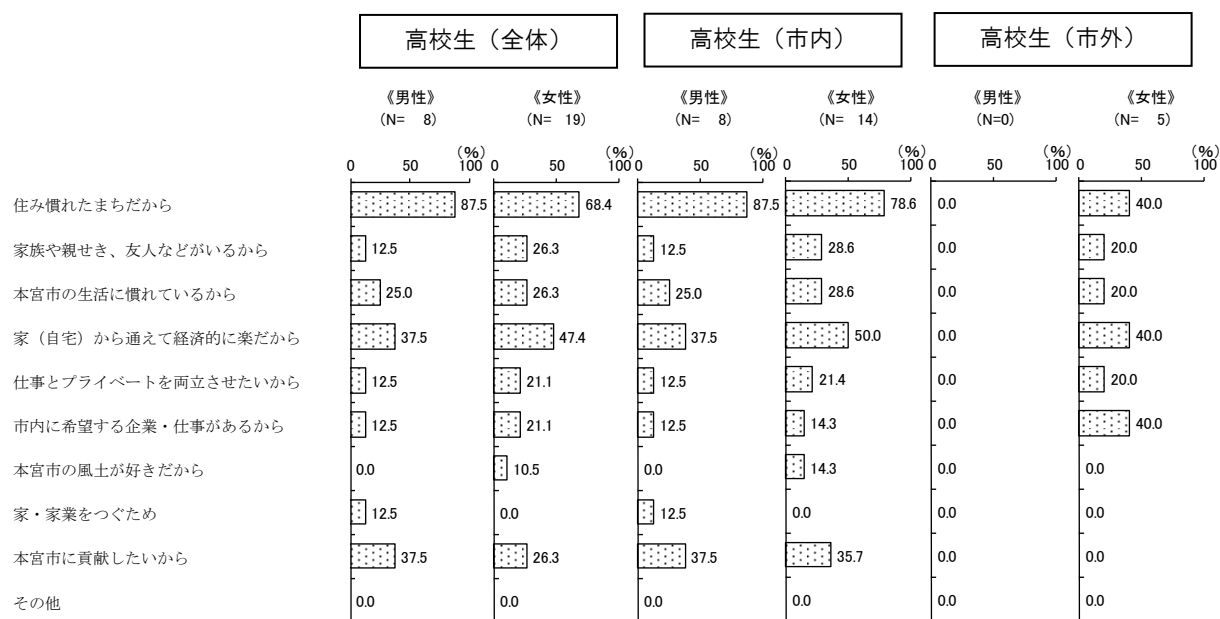
【高校生調査：問9-1】



市内居住の高校生の本宮市内で就職したい理由は、「住み慣れたまちだから」が81.8%と最も多く、以下、「家（自宅）から通えて経済的に楽だから」（45.5%）、「本宮市に貢献したいから」（36.4%）となっている。

市外居住の高校生については調査数が少数のため、参考値としての掲載とする。

【本宮市内で就職したい理由／性別】



性別については、調査数が少ないため、参考値としての掲載とする。

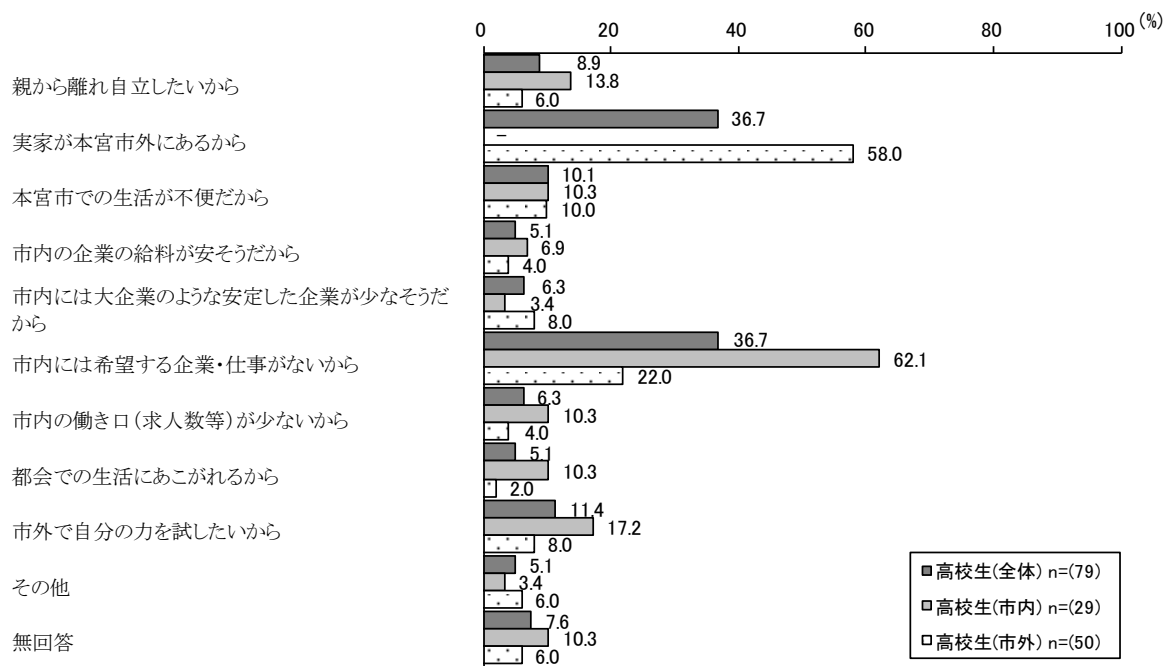
（５）本宮市外で就職したい理由【高校生調査】

●高校生の居住地別にみると、市内居住の高校生では「市内には希望する企業・仕事がないから」がトップ。市外居住の高校生では「実家が本宮市外にあるから」がトップ。

【本宮市外で就職したい（問9で「2」～「4」）と答えた方のみ】

問 就職先として、本宮市外を希望する理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

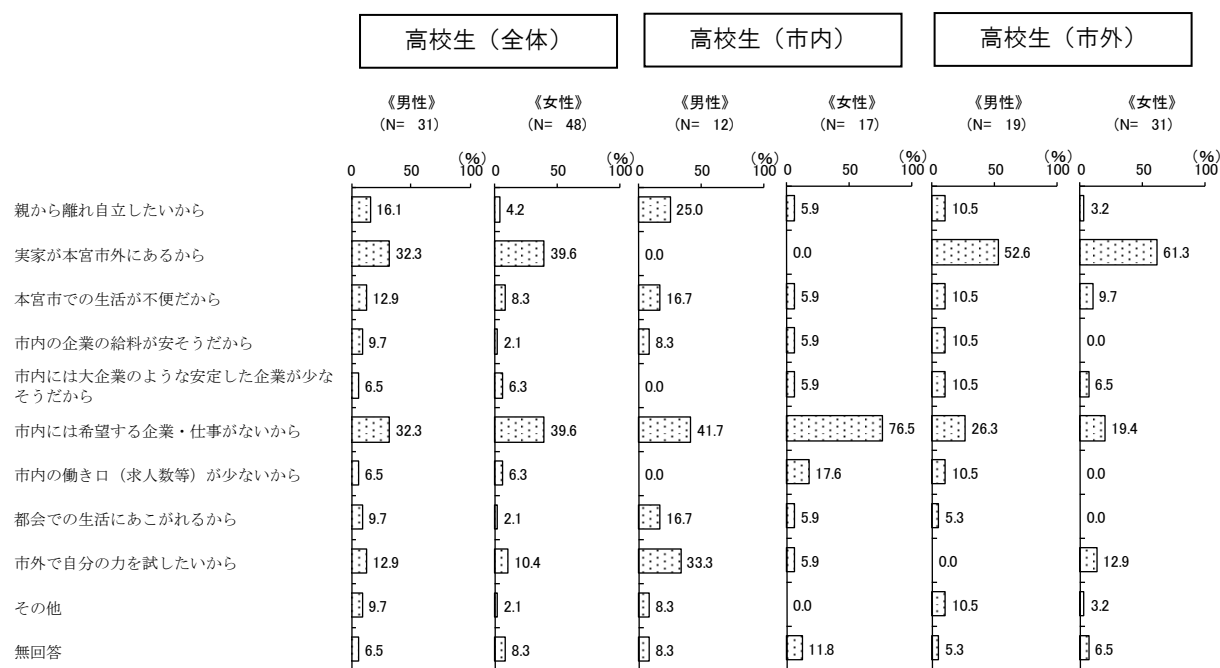
【高校生調査：問9-2】



本宮市外で就職したい理由について、高校生の居住地別にみると、市内居住の高校生では「市内には希望する企業・仕事がないから」が62.1%と最も多く、以下、「市外で自分の力を試したいから」(17.2%)、「親から離れ自立したいから」(13.8%)となっている。

これに対し、市外居住の高校生では「実家が本宮市外にあるから」が58.0%と最も多く、以下、「市内には希望する企業・仕事がないから」(22.0%)、「本宮市での生活が不便だから」(10.0%)となっている。

【本宮市外で就職したい理由／性別】



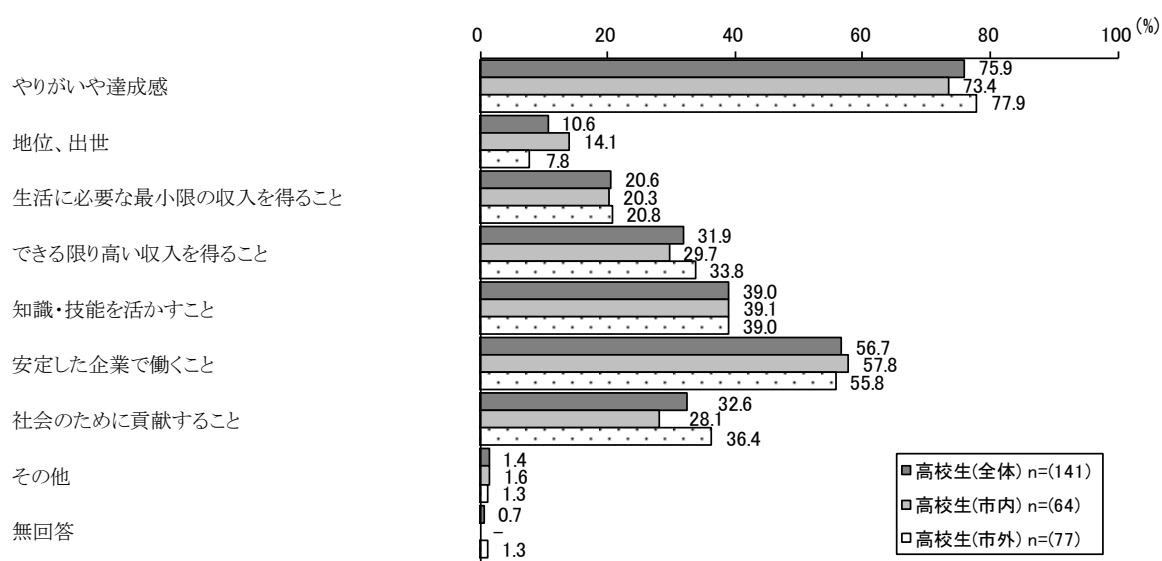
性別については、調査数が少ないため、参考値としての掲載とする。

（6）仕事に求めるもの【高校生調査】

- 仕事に求めるものは、「やりがいや達成感」がトップ。以下、「安定した企業で働くこと」など。
- 女性は男性に比べ「やりがいや達成感」「生活に必要な最小限の収入を得ること」「知識・技能を活かすこと」を重視しているのに対し、男性は女性に比べ「できる限り高い収入を得ること」を重視。

問 あなたは、将来、仕事に就くときに、仕事に対してどのようなことを求めたいと思いますか。

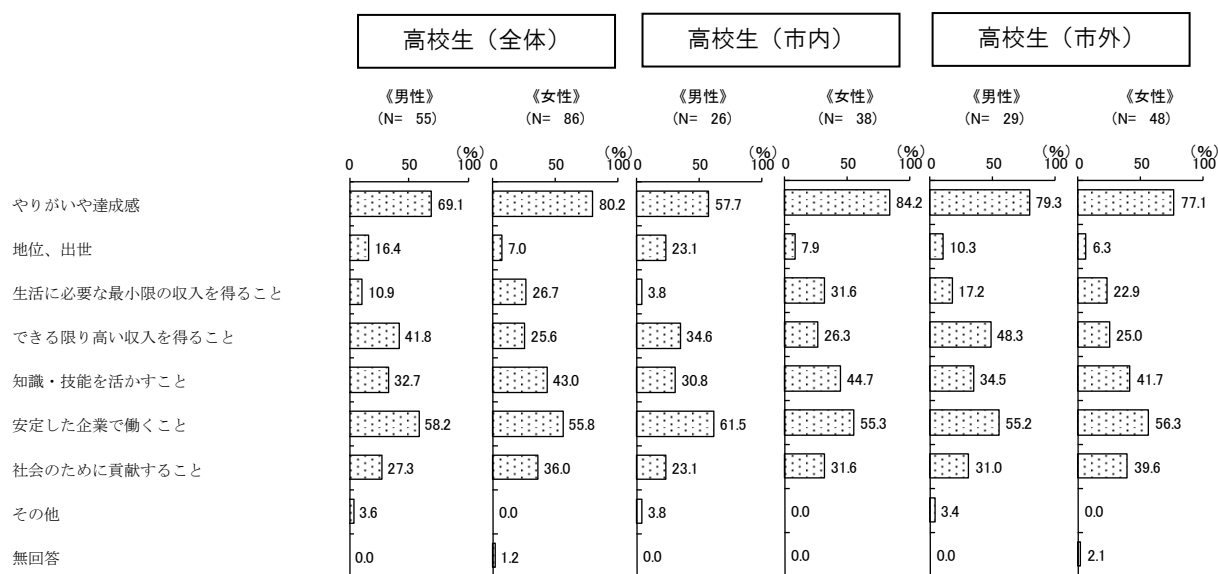
（あてはまるものすべてに○）【高校生調査：問10】



仕事に求めるものは、「やりがいや達成感」が75.9%と最も多い。以下、「安定した企業で働くこと」（56.7%）、「知識・技能を生かすこと」（39.0%）となっている。

高校生の居住地別にみると、市内居住の高校生では「地位、出世」が市外居住の高校生に比べ多く、市外居住の高校生では「社会のために貢献すること」が多い。

【仕事に求めるもの／性別】



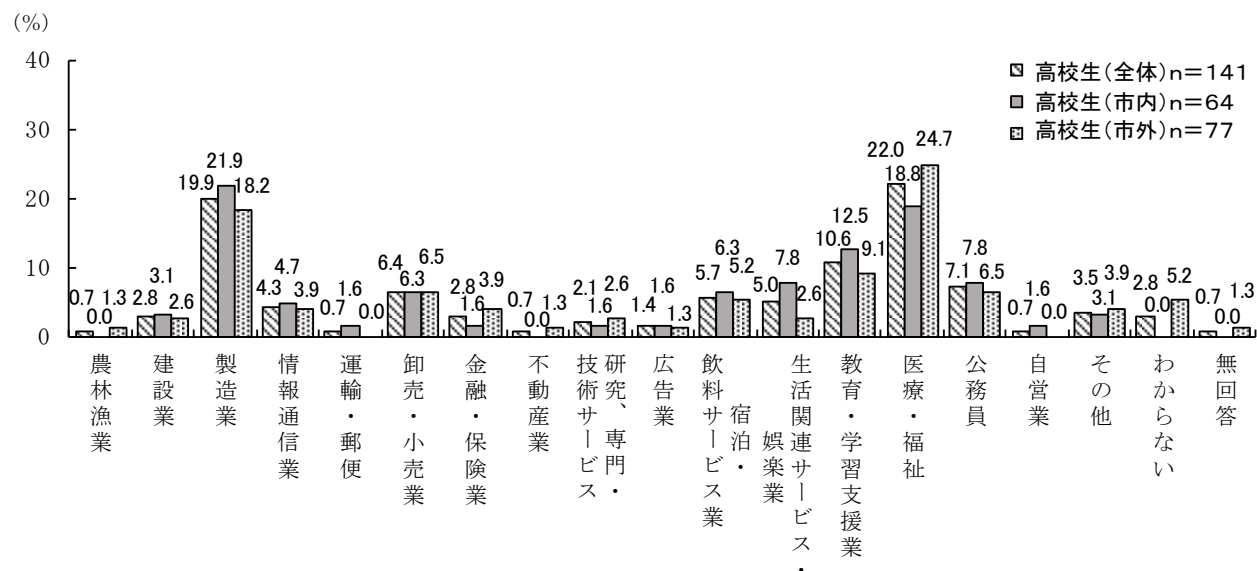
性別にみると、男女ともに「やりがいや達成感」「安定した企業で働くこと」が上位を占めているが、女性は男性に比べ「やりがいや達成感」「生活に必要な最小限の収入を得ること」「知識・技能を活かすこと」などが多く、市内居住の高校生でその傾向が強い。また、男性は「できる限り高い収入を得ること」が女性に比べ多い。

（7）希望の業種【高校生調査】

- 希望の業種は、「医療・福祉」がトップ。以下、「製造業」「教育・学習支援業」など。
- 男性は「製造業」「公務員」、女性は「医療・福祉」「教育・学習支援業」への希望が多い。

問 あなたは、将来、どんな「業種」の仕事に就きたいですか。（○は1つ）

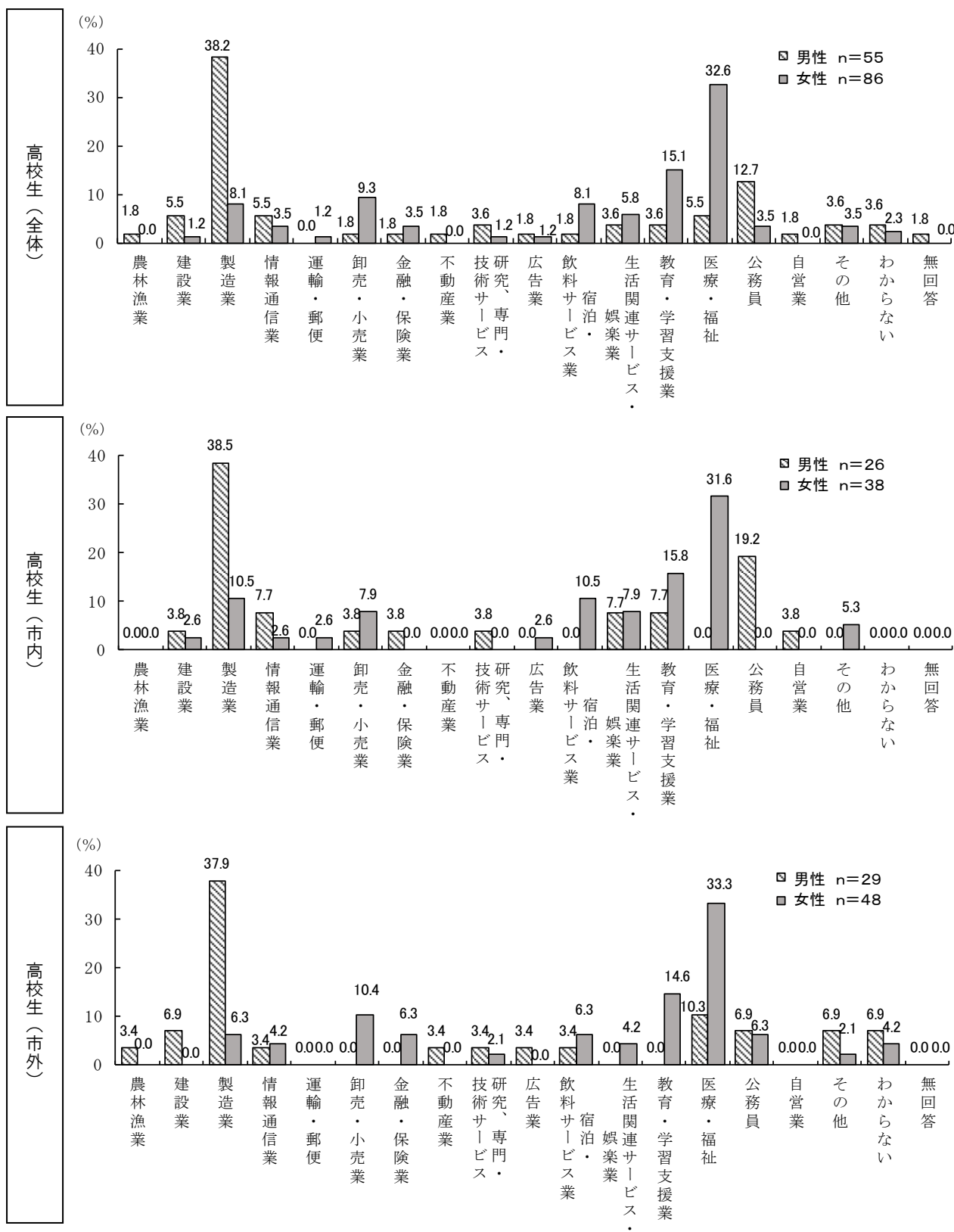
【高校生調査：問11】



希望の業種は、「医療・福祉」が22.0%と最も多い。以下、「製造業」（19.9%）「教育・学習支援業」（10.6%）となっている。

高校生の居住地別にみると、市内居住の高校生では「製造業」「生活関連サービス・娯楽業」が市外居住の高校生に比べやや多く、市外居住の高校生では「医療・福祉」が多い。

【希望の業種／性別】



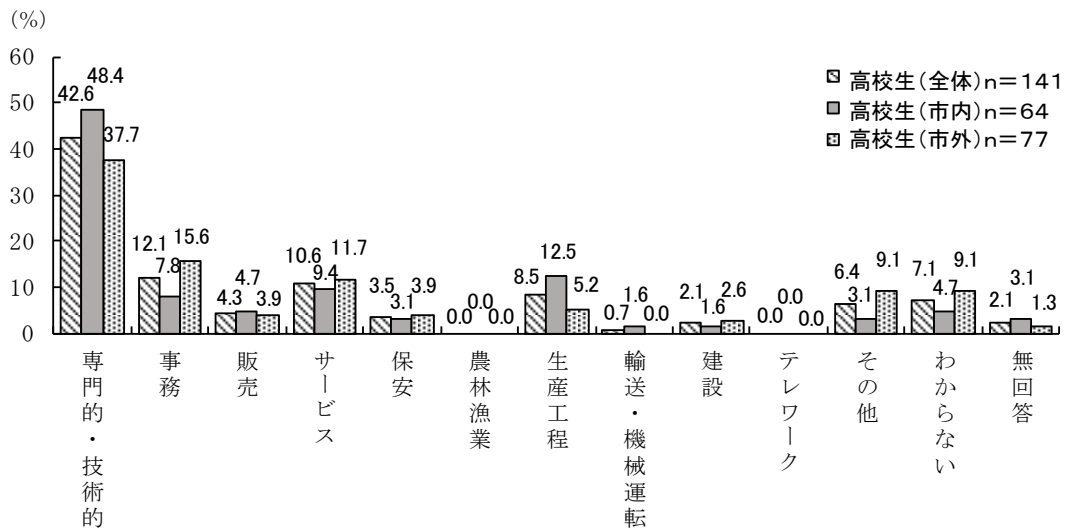
性別にみると、「製造業」「公務員」は男性に多く、「医療・福祉」「教育・学習支援業」は女性に多い。

（８）希望の職種【高校生調査】

- 希望の職種は、「専門的・技術的」な職種がトップ。
- 男性は女性に比べ「生産工程」が、女性は男性に比べ「専門的・技術的」が多い。

問 あなたは、将来、どんな「職種」の仕事をしたいですか。（○は1つ）

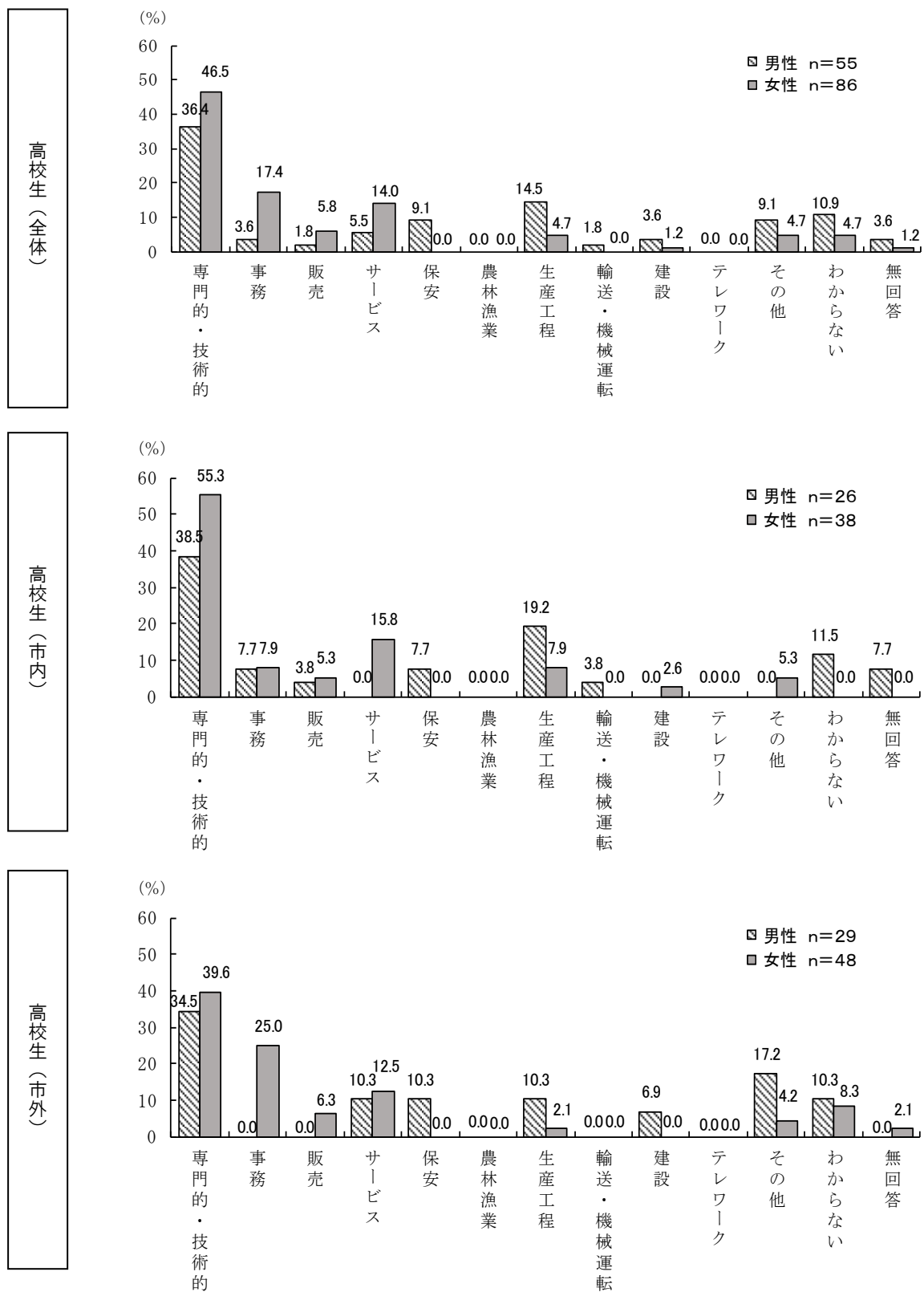
【高校生調査：問12】



希望の職種は、「専門的・技術的」な職種が42.6%と最も多い。以下、「事務」（12.1%）、「サービス」（10.6%）となっている。

高校生の居住地別にみると、市内居住の高校生では「専門的・技術的」な職種、「生産工程」が市外居住の高校生に比べ多く、市外居住の高校生では「事務」が多い。

【希望の職種／性別】



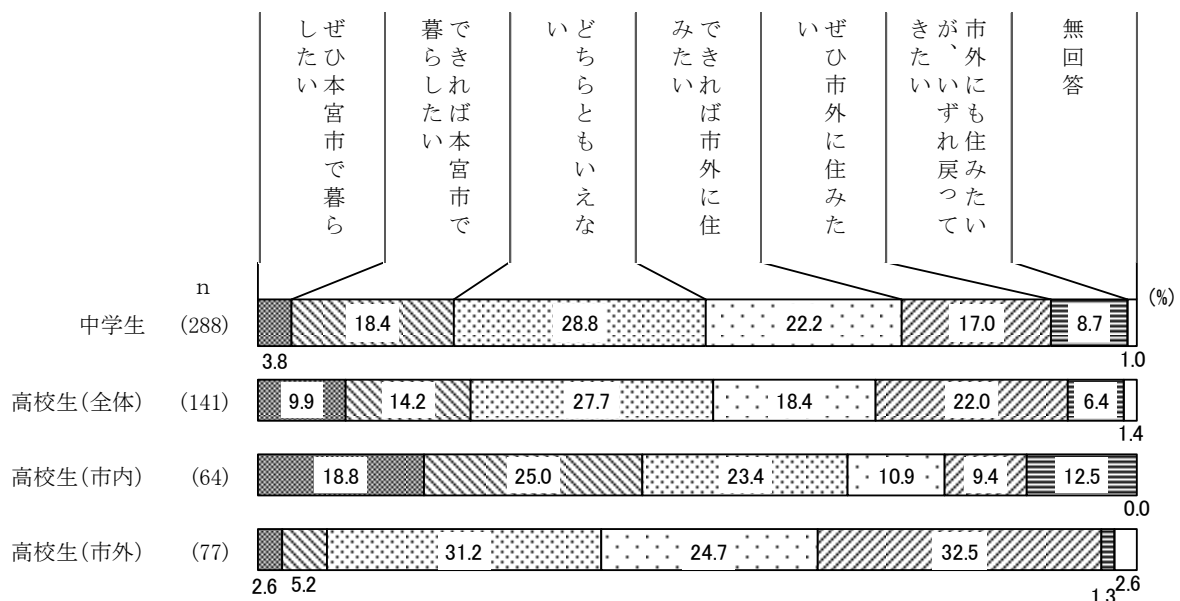
性別にみると、男性は女性に比べ「生産工程」が、女性は男性に比べ「専門的・技術的」が多く、市内居住の高校生でその傾向が強い。

（9）今後の居住意向【中学生調査／高校生調査】

- 今後の《居住意向》（「ぜひ本宮市で暮らしたい」+「できれば本宮市で暮らしたい」）は、中学生が22.2%。
- 高校生の居住地別では、市内居住の高校生が43.8%、市外居住の高校生が7.8%。
- 中学生、高校生（市内居住）ともに、住みやすさと居住意向には相関関係が見られる。
- 「市外にも住みたいが、いずれ戻ってきたい」とのUターン希望者については、中学生・高校生ともに1割前後。

問 あなたは、将来、本宮市で暮らし続けたいと思いますか。（○は1つ）

【中学生調査：問9、高校生調査：問13】



※選択肢「ぜひ本宮市で暮らしたい」は中学生調査では「ぜひ本宮市で暮らし続けたい」と表記

「できれば本宮市で暮らしたい」は中学生調査では「できれば本宮市で暮らし続けたい」と表記

「できれば市外に住みたい」は中学生調査では「できれば市外に移り住みたい」と表記

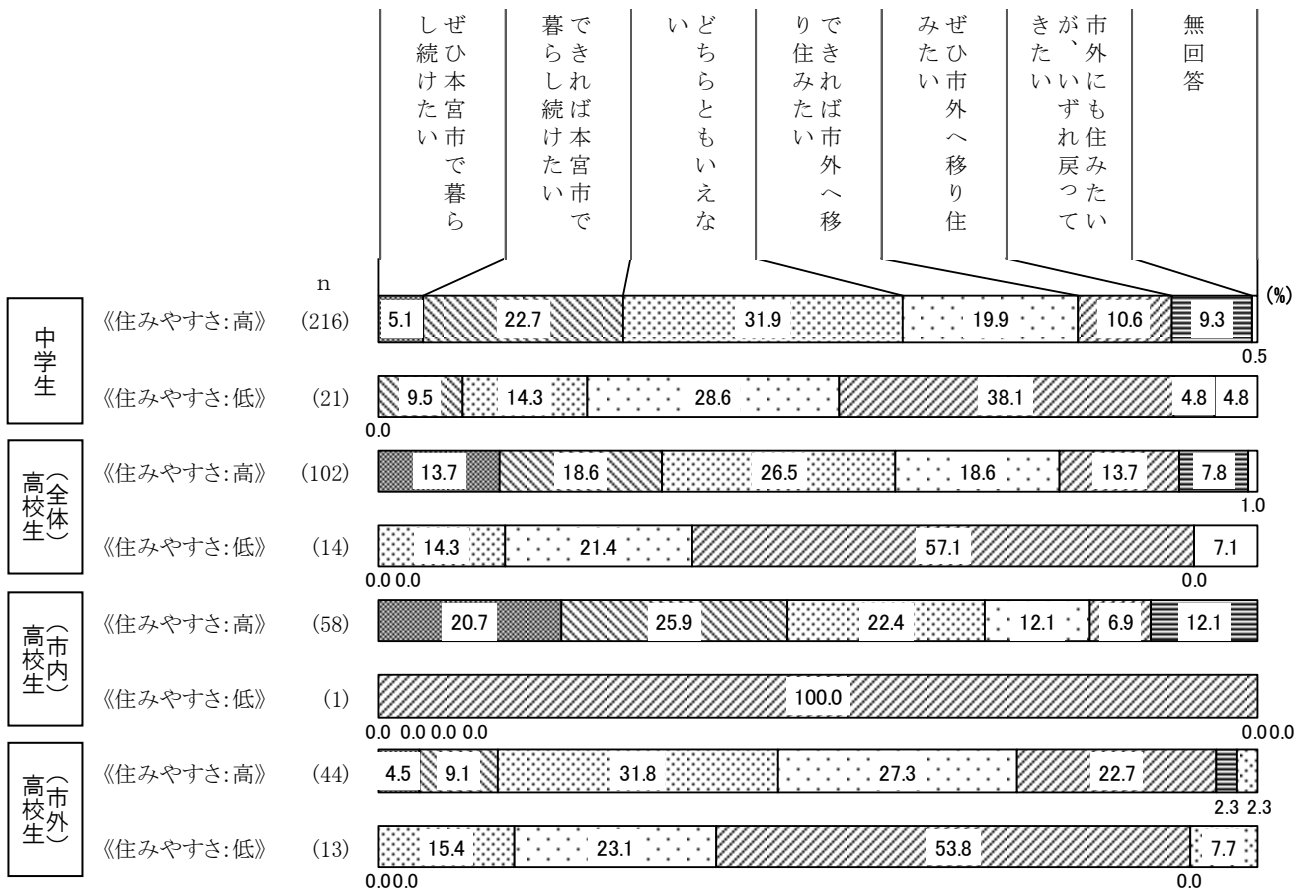
「ぜひ市外に住みたい」は中学生調査では「ぜひ市外に移り住みたい」と表記

今後の居住意向は、中学生では、「ぜひ本宮市で暮らしたい」が3.8%にとどまっており、「できれば本宮市で暮らしたい」とあわせた《居住意向》は22.2%となっている。

高校生の居住地別にみると、《居住意向》は市内居住の高校生で43.8%、市外居住の高校生で7.8%となっており、市内居住の高校生の《居住意向》は中学生の約2倍となっている。

なお、「市外にも住みたいが、いずれ戻ってきたい」とのUターン希望者については、中学生・高校生ともに1割前後となっている。

【今後の居留意向／本宮市の住みやすさ評価別】



本宮市の住みやすさ評価別にみると、「ぜひ本宮市で暮らしたい」「できれば本宮市で暮らし続けたい」を合わせた《居留意向》は、本宮市を住みやすいと感じている人ほど高く、中学生で27.8%、高校生（市内居住）は46.6%となっている。

また、同様に住みにくと感じている人ほど市外への転居意向は高い。

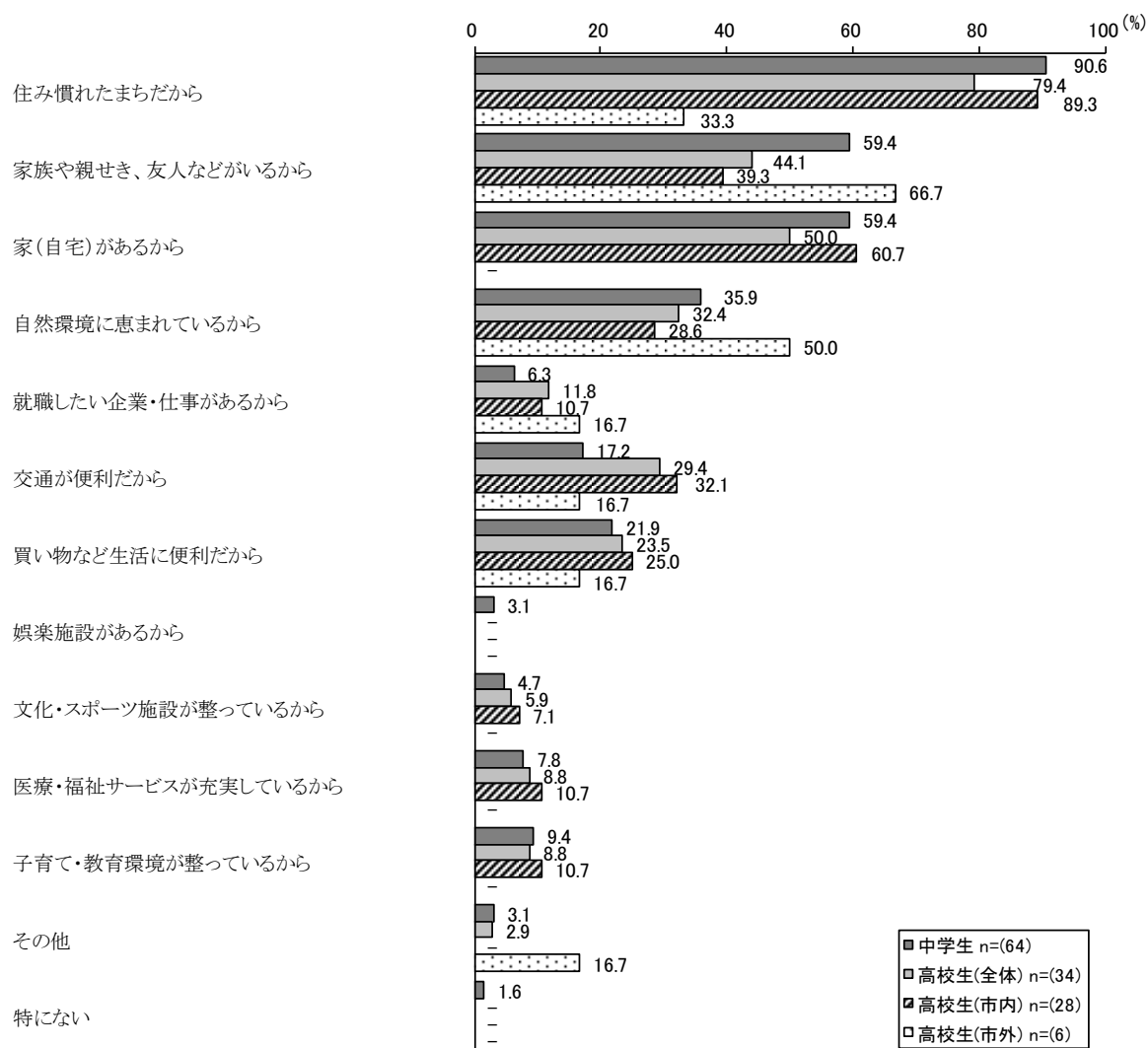
(10) 本宮市に暮らし続けたい理由【中学生調査/高校生調査】

●本宮市で暮らし続けたい理由は、中学生・高校生ともに「住み慣れたまちだから」がトップ。

【本宮市で暮らし続けたいと答えた方のみ】

問 本宮市で暮らし続けたいと思う理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

【中学生調査：問 9-1、高校生調査：問 13-1】



本宮市に暮らし続けたい理由は、「住み慣れたまちだから」が中学生（90.6%）、市内居住の高校生（89.3%）ともに最も多い。以下、「家（自宅）があるから」（中学生：59.4%、市内居住の高校生：60.7%）、「家族や親せき、友人などがいるから」（中学生：59.4%、市内居住の高校生：39.3%）となっている。市外居住の高校生については調査数が少ないため、参考値としての掲載とする。

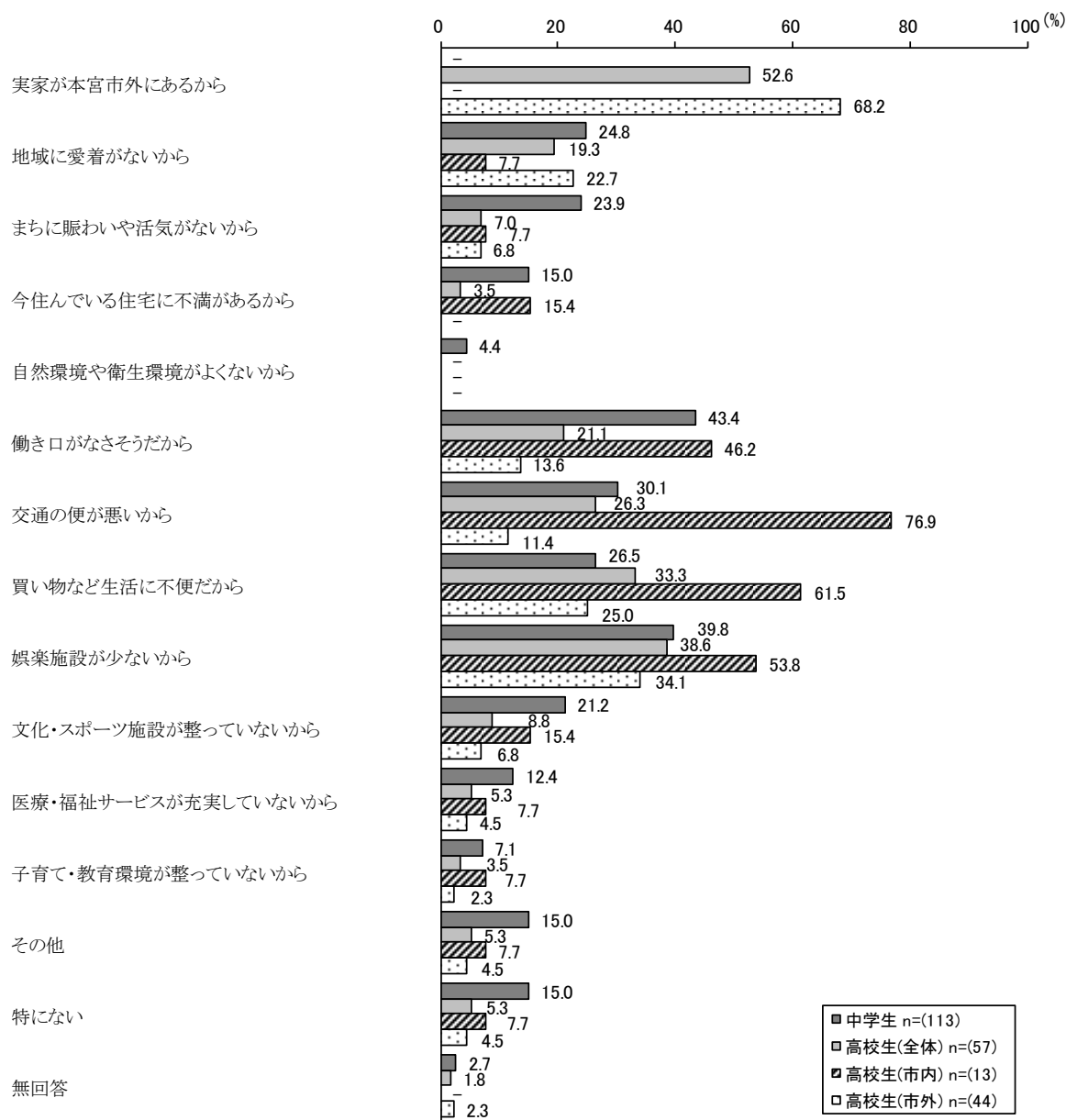
（11）本宮市外に移り住みたい理由【中学生調査／高校生調査】

- 本宮市外に移り住みたい理由は、中学生では「働き口がなさそうだから」がトップ。
- 高校生の居住地別では、市内居住の高校生では「交通の便が悪いから」がトップ。以下、「買い物など生活に不便だから」「娯楽施設が少ないから」など。市外居住の高校生では「実家の本宮市外にあるから」がトップ。

【本宮市外に移り住みたいと答えた方のみ】

問 市外に移り住みたいと思う理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

【中学生調査：問 9-2、高校生調査：問 13-2】



※選択肢「実家の本宮市外にあるから」は高校生調査のみ

本宮市外に移り住みたい理由は、中学生では「働き口がなさそうだから」が43.4%と最も多く、以下、「娯楽施設が少ないから」（39.8%）、「交通の便が悪いから」（30.1%）となっている。

高校生の居住地別にみると、市内居住の高校生では「交通の便が悪いから」が76.9%と最も多く、以下、「買い物など生活に不便だから」（61.5%）「娯楽施設が少ないから」（53.8%）となっている。市外居住の高校生では「実家の本宮市外にあるから」が68.2%と最も多く、以下、「娯楽施設が少ないから」（34.1%）、「買い物など生活に不便だから」（25.0%）となっている。

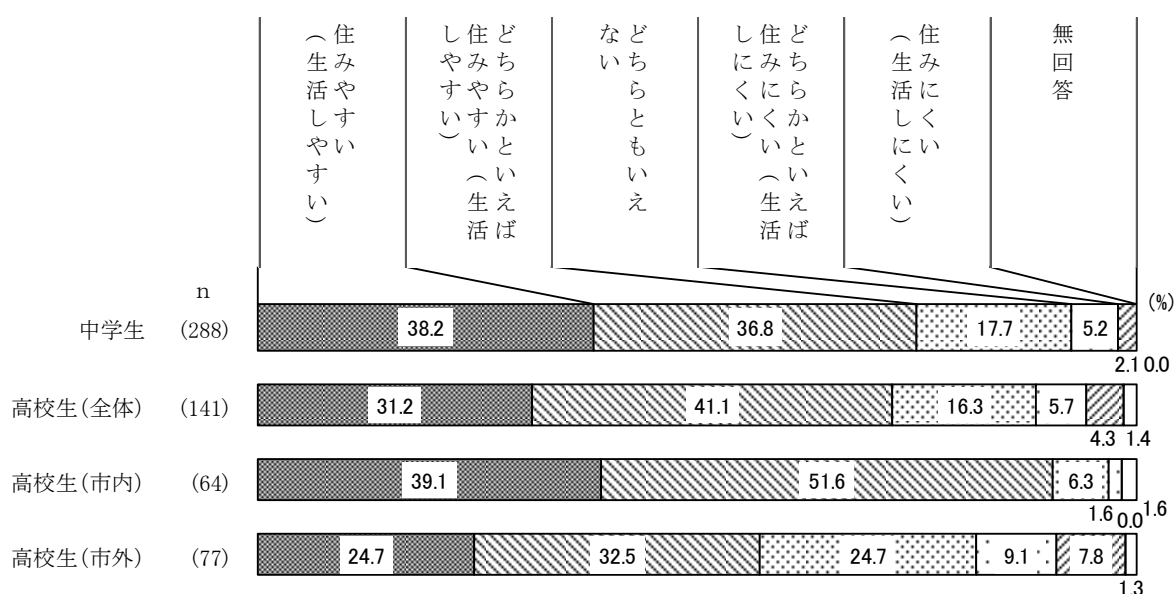
4 本宮市のイメージや将来像について

（1）本宮市の住みやすさ【中学生調査/高校生調査】

- 本宮市の《住みやすさ》（「住みやすい」+「どちらかといえば住みやすい」）は、中学生が75.0%。
- 高校生の居住地別では、市内居住の高校生が90.7%、市外居住の高校生が57.2%。
- 市内居住者（中学生、市内居住の高校生）の住みやすさへの評価が高い。

問 あなたは、本宮市を住みやすい（生活しやすい）まちだと思いますか。（○は1つ）

【中学生調査：問 10、高校生調査：問 14】



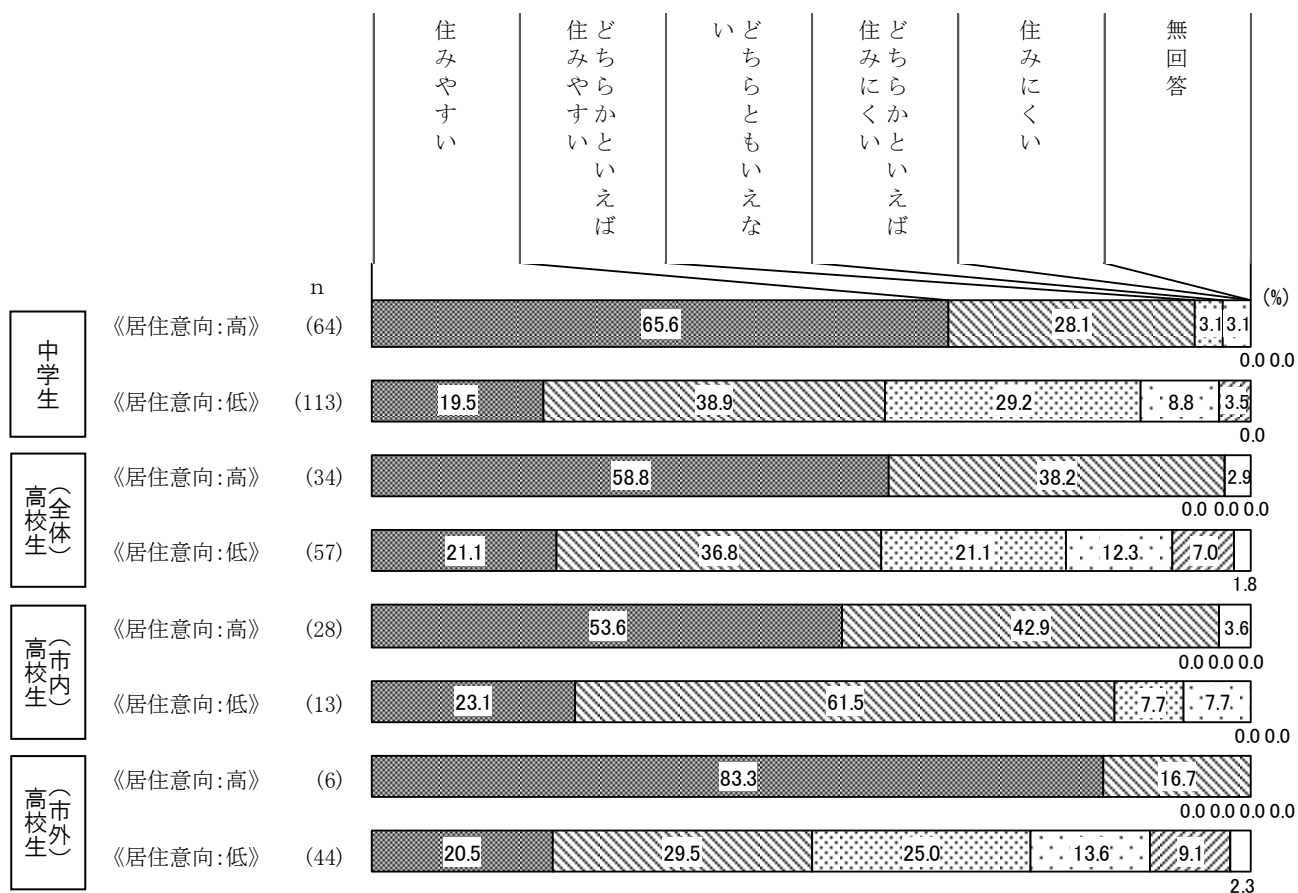
※各選択肢について、中学生調査では「(生活しやすい)」「(生活しにくい)」との表記はなし

本宮市の住みやすさは、中学生では「住みやすい」が38.2%と最も多く、「どちらかといえば住みやすい」をあわせた《住みやすさ》は75.0%となっている。

高校生の居住地別にみると、《住みやすさ》は市内居住の高校生で90.7%、市外居住の高校生で57.2%となっている。

居住地（市内/市外）別にみると、市内居住者（中学生、市内居住の高校生）の住みやすさへの評価が7割以上と高い一方、市外居住者（市外居住の高校生）の評価は6割弱とやや低い。

【本宮市の住みやすさ／今後の居住意向別】



今後の居住意向別にみると、「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」をあわせた《住みやすさ》は、《居住意向》が高い人ほど高く、中学生で93.7%、高校生（市内居住）は96.5%となっている。

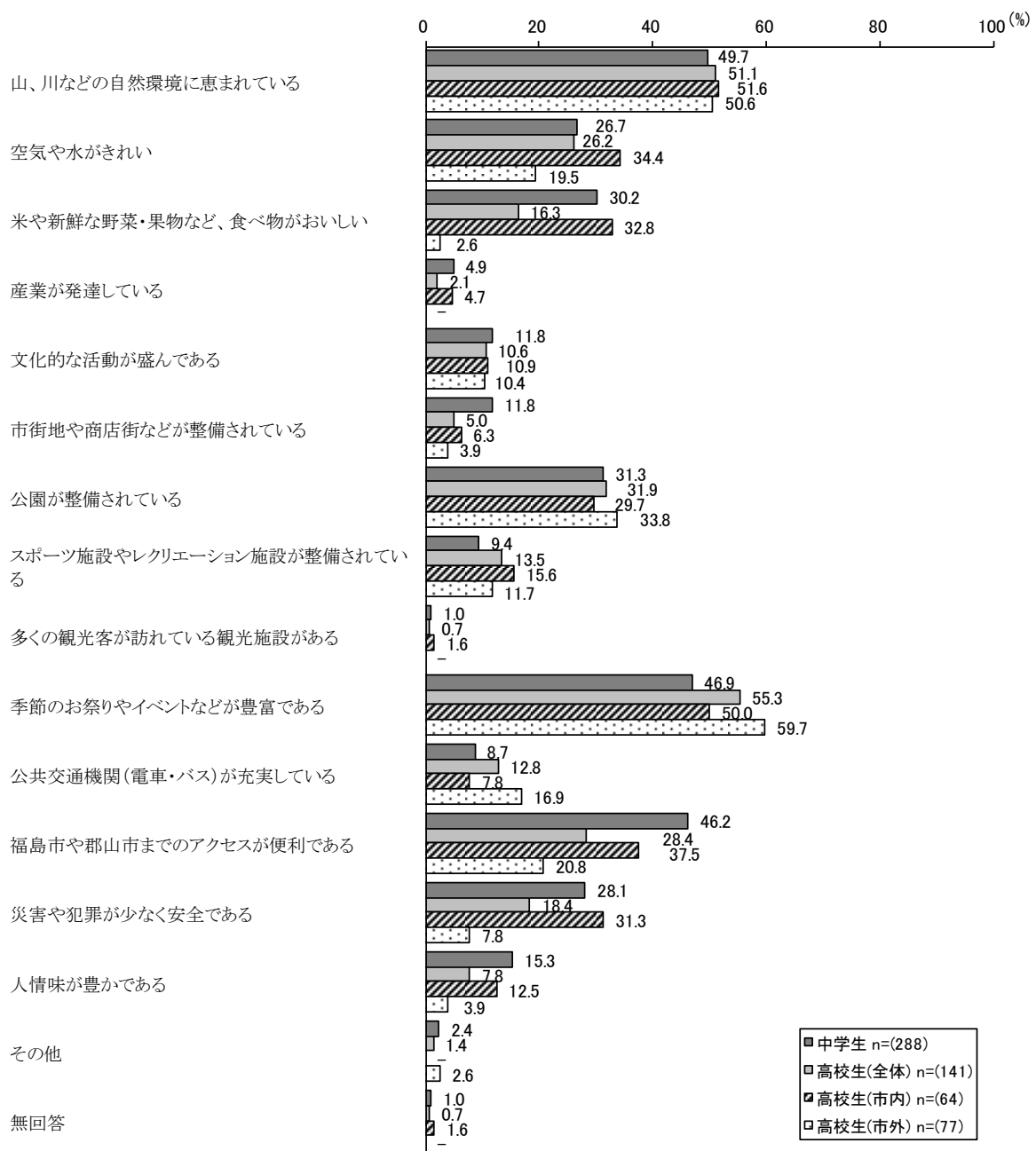
また、同様に《居住意向》が低い人ほど「どちらかといえば住みにくい」「住みにくい」との回答が多い。

（2）本宮市の魅力【中学生調査／高校生調査】

- 本宮市の魅力としては、「季節のお祭りやイベントなどが豊富である」「山、川などの自然環境に恵まれている」が中学生・高校生ともに上位。
- 「福島市や郡山市までのアクセスが便利である」「米や新鮮な野菜、果物など食べ物がおいしい」「災害や犯罪が少なく安全である」などの意見は市外居住者（市外居住の高校生）に比べ市内居住者（中学生、市内居住の高校生）で評価が高い。
- 《居留意向》の高い人は、本宮市の豊かな自然や風土に魅力を感じている。

問 あなたにとって、本宮市の魅力は何だと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

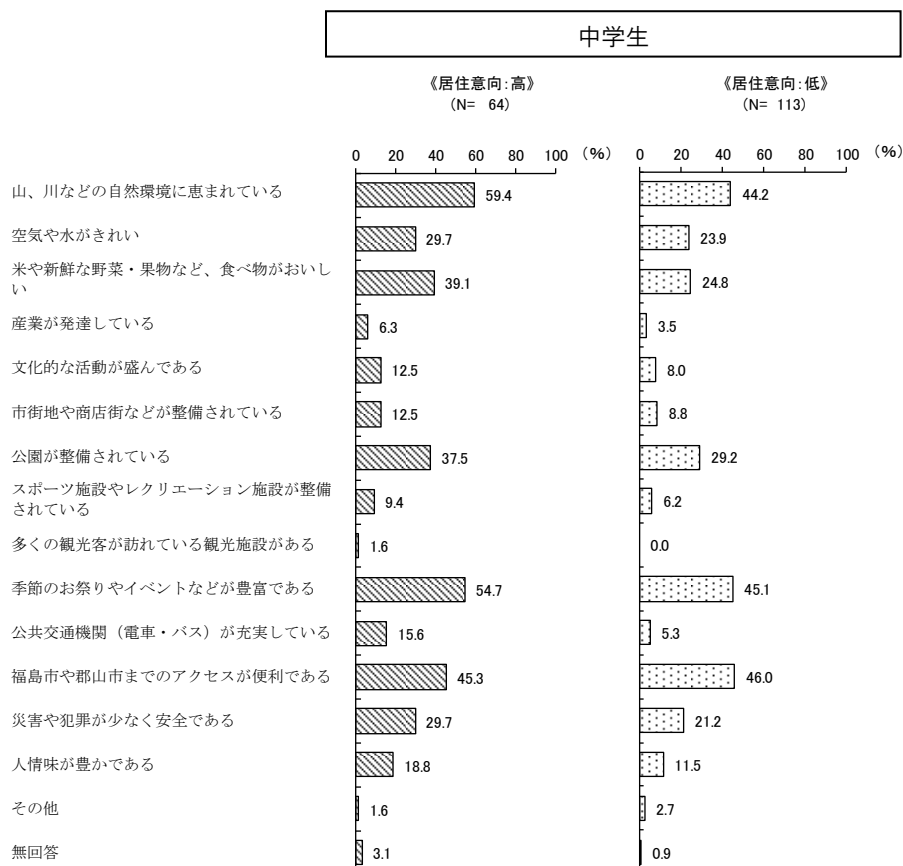
【中学生調査：問 11、高校生調査：問 15】



本宮市の魅力は、「季節のお祭りやイベントなどが豊富である」「山、川などの自然環境に恵まれている」が中学生・高校生ともに5割前後を占め、上位となっている。

居住地（市内/市外）別にみると、「福島市や郡山市までのアクセスが便利である」「米や新鮮な野菜、果物など食べ物がおいしい」「災害や犯罪が少なく安全である」などの意見は市外居住者（市外居住の高校生）に比べ市内居住者（中学生、市内居住の高校生）で評価が高い。

【本宮市の魅力／今後の居住意向別】



本宮市の魅力について、中学生では居住意向の高低にかかわらず、「山、川などの自然環境に恵まれている」「季節のお祭りやイベントなどが豊富である」「福島市や郡山市までのアクセスが便利である」などが上位となっている。

居住意向別にみると、中学生の《居住意向》が高い人は低い人に比べ「山、川などの自然環境に恵まれている」「米や新鮮な野菜、果物など食べ物がおいしい」「季節のお祭りやイベントなどが豊富である」「公園が整備されている」など、自然環境や食べ物、地域の風土に魅力を感じている。



高校生については、調査数が少ないため、参考値としての掲載とする。

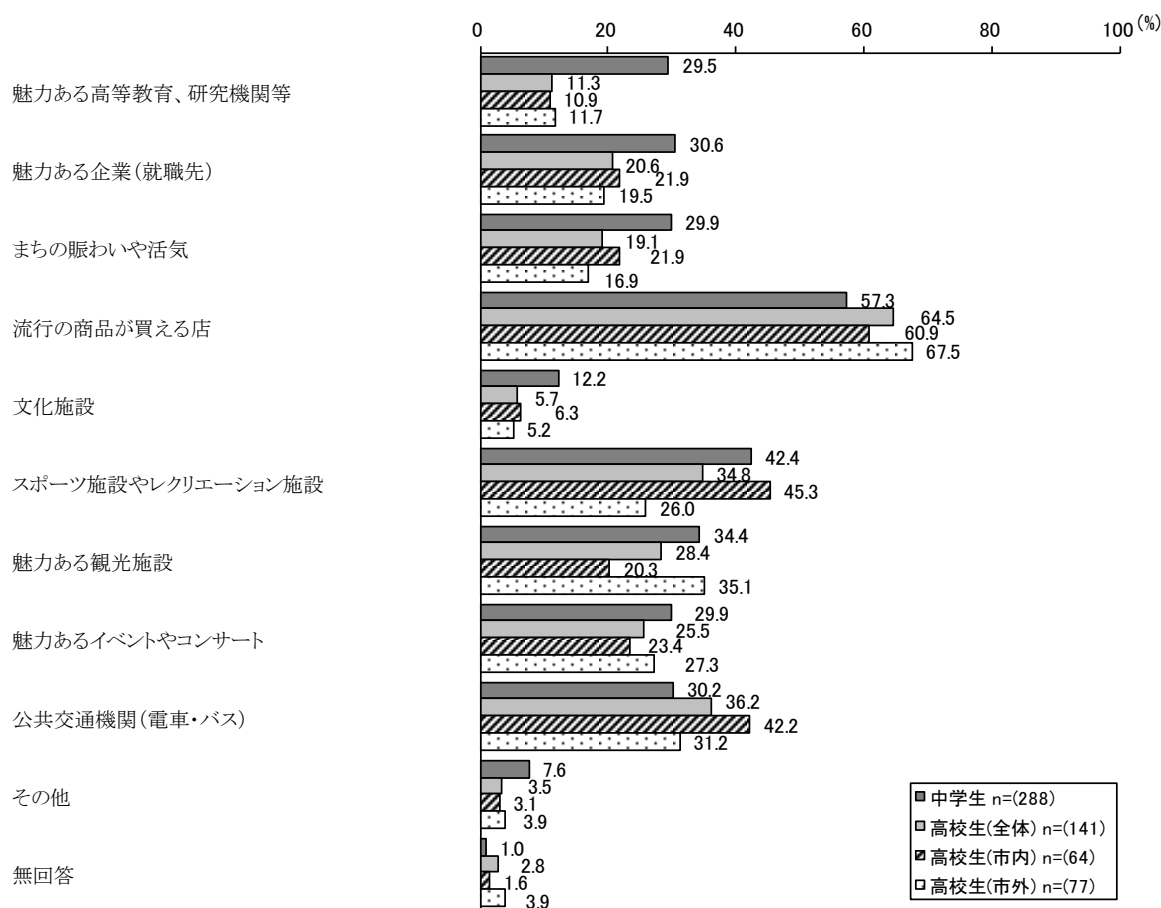
（3）本宮市に必要なもの【中学生調査／高校生調査】

- 本宮市に必要なものは、中学生・高校生ともに「流行の商品が買える店」がトップ。
- また居住地（市内/市外）別にみると、「流行の商品が買える店」「魅力ある観光施設」については市外居住者（市外居住の高校生）で不足していると感じる人が多く、「スポーツ施設やレクリエーション施設」は市内居住者（中学生、市内居住の高校生）でやや多い。
- 《居留意向》の低い人は、商業施設の充実やまちの活気、公共交通機関などが不足していると感じ、ニーズが高い。

問 あなたにとって、現在の本宮市に不足していて、ぜひ必要だと思うものは何ですか。

（あてはまるものすべてに○）

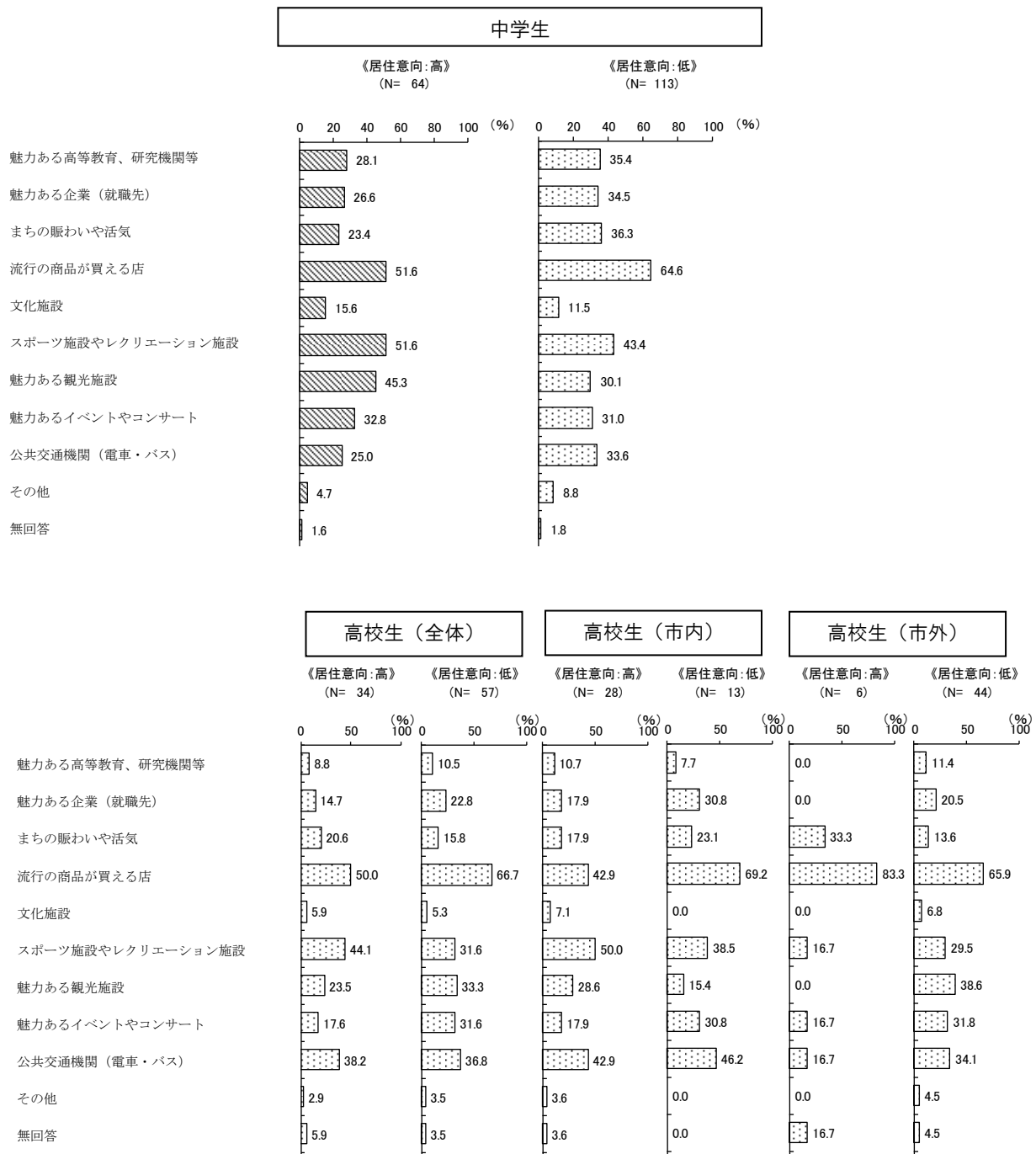
【中学生調査：問 12、高校生調査：問 16】



本宮市に必要なものは、「流行の商品が買える店」が中学生（57.3%）、高校生（64.5%）ともに最も多い。以下、中学生では「スポーツ施設やレクリエーション施設」（42.4%）、「魅力ある観光施設」（34.4%）、市内居住の高校生では「スポーツ施設やレクリエーション施設」（45.3%）、「公共交通機関（電車・バス）」（42.2%）、市外居住の高校生では「魅力ある観光施設」（35.1%）、「公共交通機関（電車・バス）」（31.2%）となっている。

おおむねほとんどの項目で、中学生の回答が高校生を上回っており、足りないと感じているものが多いことがうかがえる。また、居住地（市内/市外）別にみると、「流行の商品が買える店」「魅力ある観光施設」については市外居住者（市外居住の高校生）で不足していると感じる人が多く、「スポーツ施設やレクリエーション施設」は市内居住者（中学生、市内居住の高校生）でやや多い。

【本宮市に必要なもの/今後の居住意向別】



中学生の《居留意向》が低い人は高い人に比べ「流行の商品が買える店」「まちの賑わいや活気」「公共交通機関」「魅力ある高等教育、研究機関等」「魅力ある企業」など商業施設の充実やまちの活気、将来の進路に関わるニーズが高い。高校生については、調査数が少ないため、参考値としての掲載とする。

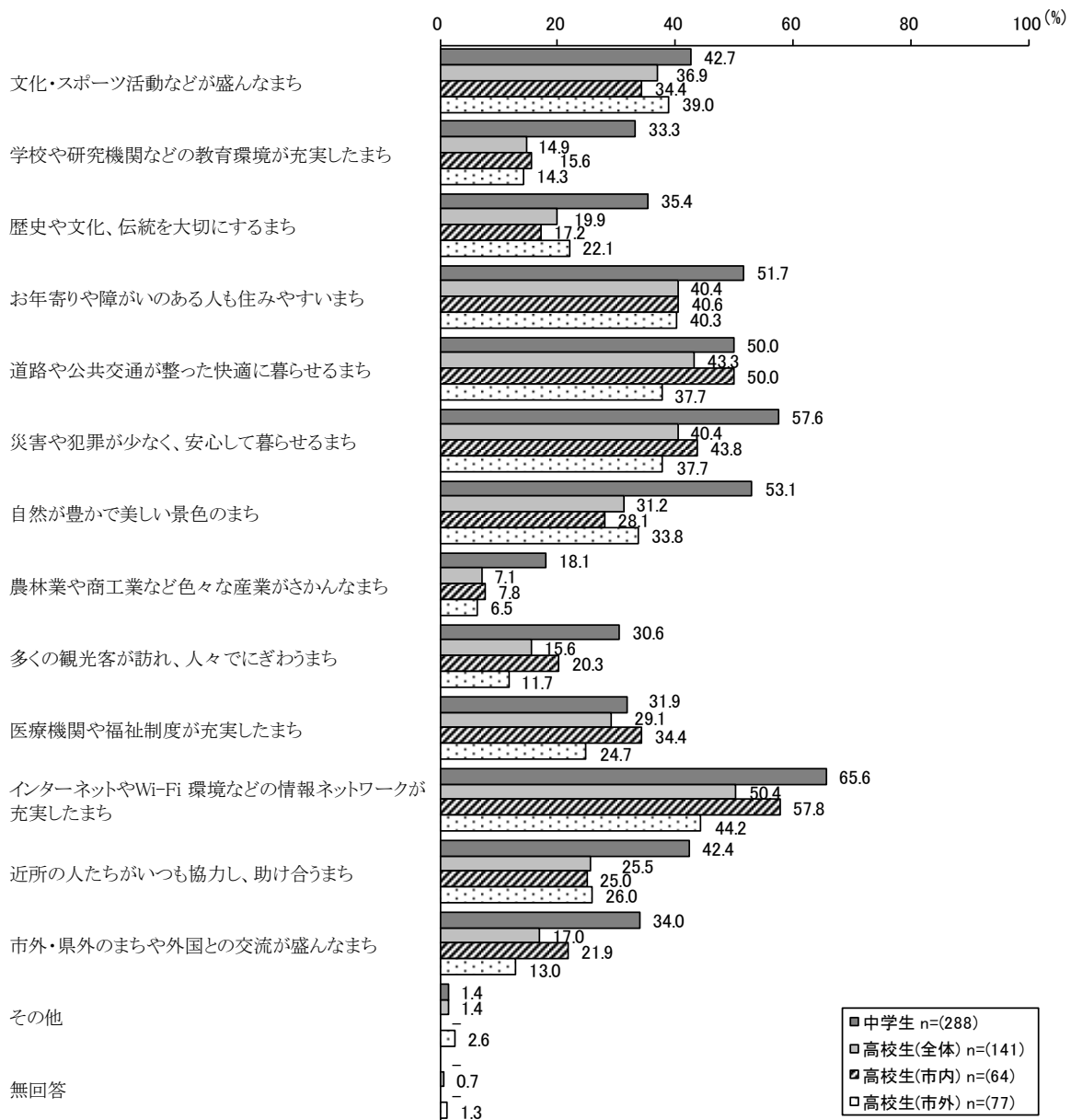
（４）本宮市の将来像【中学生調査／高校生調査】

- 本宮市の将来像としては中学生・高校生ともに「インターネットやWi-Fi環境などの情報ネットワークが充実したまち」がトップ。
- 《居留意向》の低い中学生でも、インターネットやWi-Fi環境など高度情報通信の充実へのニーズが高い。

問 あなたは、将来、本宮市がどんなまちになったら良いと思いますか。

（あてはまるものすべてに○）

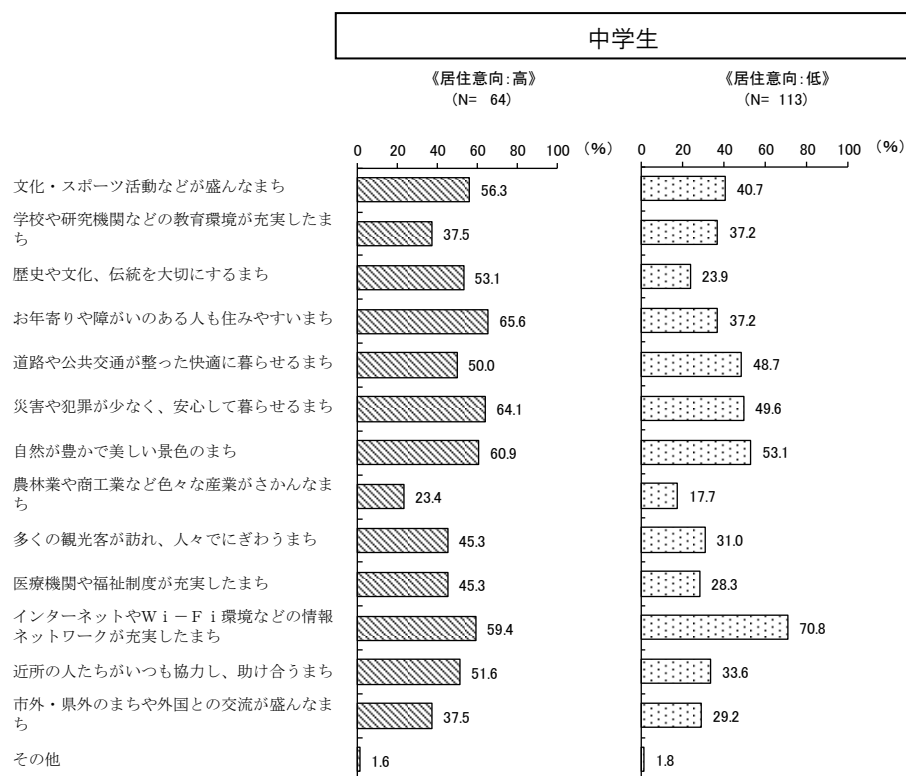
【中学生調査：問 13、高校生調査：問 17】



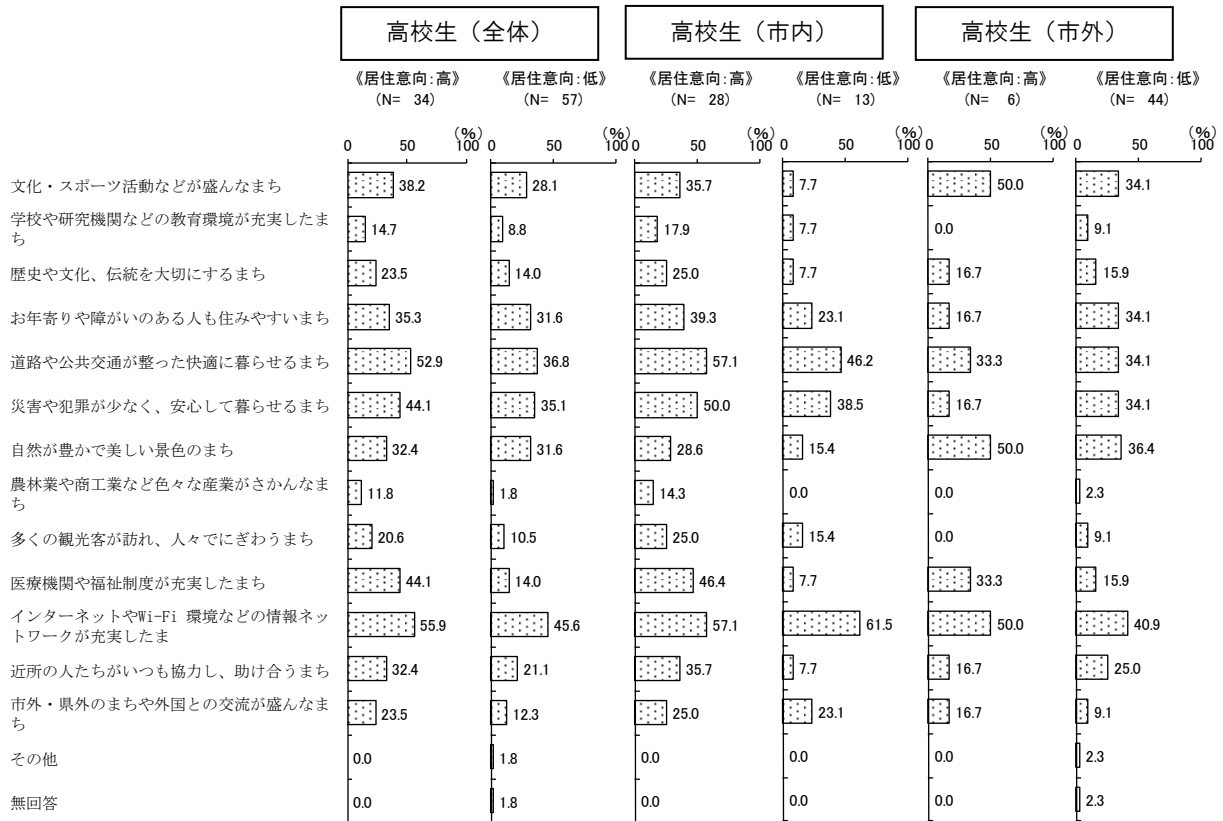
本宮市の将来像は、「インターネットやWi-Fi環境などの情報ネットワークが充実したまち」が中学生（65.6%）、高校生（50.4%）ともに最も多い。

以下、中学生では「災害や犯罪が少なく、安心して暮らせるまち」（57.6%）、「自然豊かで美しい景色のまち」（53.1%）、高校生では「道路や公共交通が整った快適に暮らせるまち」（43.3%）、「お年寄りや障がいのある人も住みやすいまち」（40.4%）、「災害や犯罪が少なく、安心して暮らせるまち」（40.4%）となっている。

【本宮市の将来像／今後の居留意向別】



《居留意向》が高い中学生は低い中学生に比べ、歴史・文化、住みやすさや助け合い、医療や福祉の充実、文化やスポーツ、安全性、など幅広い分野での充実を望んでいるのに対し、特に《居留意向》が低い中学生は「インターネットやWi-Fi環境などの情報ネットワークが充実したまち」へのニーズが高い。



高校生については、調査数が少ないため、参考値としての掲載とする。

（５）本宮市の自慢【中学生調査／高校生調査】

●本宮市の大切にしたいもの、誇れるもの、よそに自慢できるものとしては、中学生、高校生ともに「豊かな自然」との意見が最も多い。

問 本宮市で、あなたが大切にしたいものや残しておきたいもの、誇れるもの、よそに自慢できるものは何ですか。また、その理由があればお答えください。

【中学生調査：問 14、高校生調査：問 18】

分野	項目	件数	
		中学生	高校生
自然	豊かな自然	75	33
	安達太良山	3	0
	阿武隈川・安達太良川	3	0
歴史文化	歴史	5	1
	伝統芸能（太々神楽）	15	4
	祭り（夏祭り・秋祭り）	40	18
	行事・イベント	9	1
公園	公園・遊び場	5	2
	みずいろ公園	22	10
	スマイルキッズパーク	5	1
環境	ゴミのない街、きれいな町	3	4
	住みやすいまち（住みよさランキング県内1位）	13	1
	交通の良さ	8	2
	治安の良さ	10	1
施設	学校・校舎、部活等	11	2
	高校の選択肢が多い	4	0
	本宮映画劇場	5	1
	公共施設の充実（まゆみアリーナ、えぼかなど）	13	4
ヒト	ボランティア精神	2	0
	地域のつながり、人の優しさなど	28	5
まち	町並み、風景	10	4
	商店街	8	0
産業	特産物、食べ物	6	2
	本宮市キャラクター（まゆみちゃん、あゆみちゃん）	3	0
	商工業	3	0
交流	国際交流（英国ウイリアム王子）	3	0
	都市交流（上尾市）	1	0
教育	スポーツ	2	0
	生涯学習	1	0
その他	その他	4	4
	特になし	7	16

本宮市の大切にしたいもの、誇れるもの、よそに自慢できるものについて自由な意見を求めたところ、中学生（75件）、高校生（33件）ともに「豊かな自然」との意見が最も多くみられた。

他、目立った意見としては、夏祭りや秋祭りなどの行事、「みずいろ公園」をはじめとした公園施設などがあげられており、中学生では、「地域のつながり、人の優しさ」なども多くあがっている。

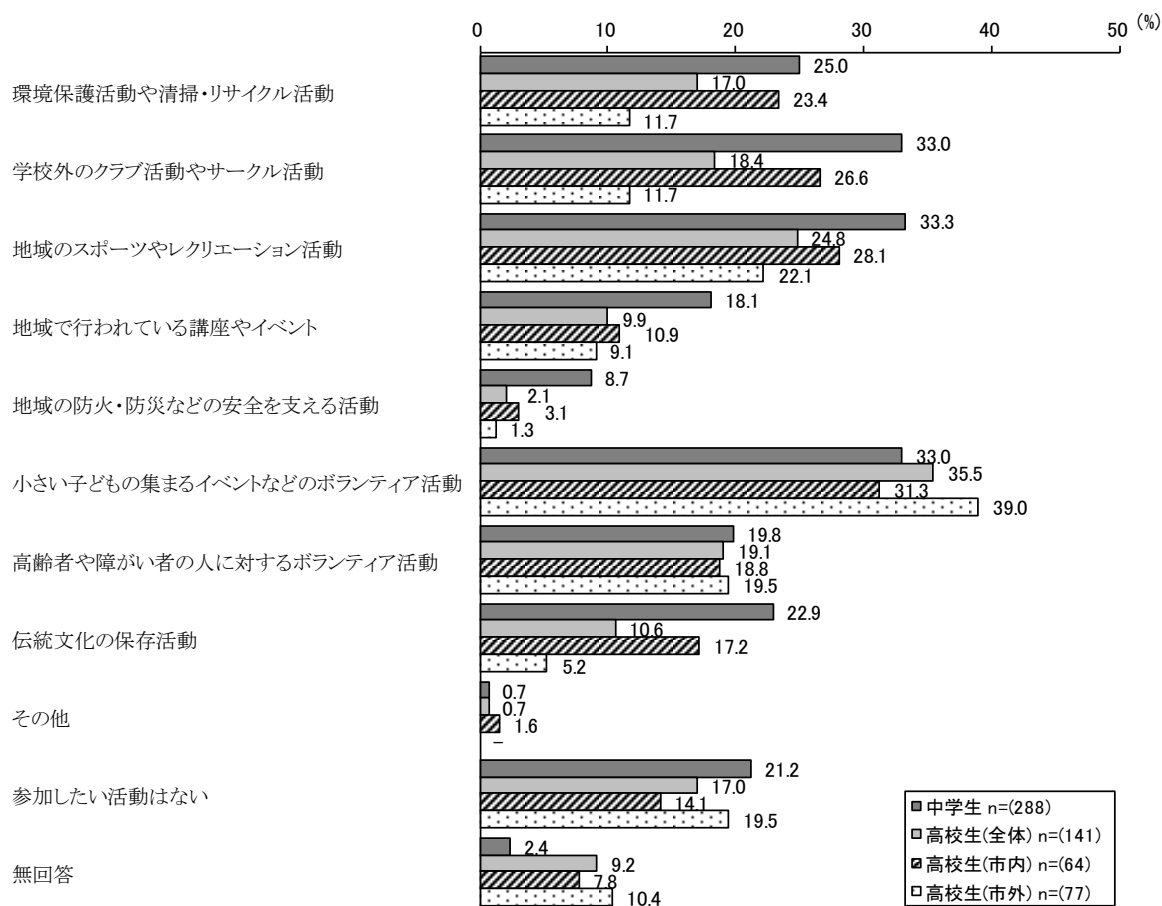
（6）本宮市内で参加したい地域活動【中学生調査／高校生調査】

●本宮市内で参加したい地域活動は、中学生では「地域のスポーツやレクリエーション活動」、高校生では「小さい子どもの集まるイベントなどのボランティア活動」がトップ。

問 あなたは、本宮市内での地域活動で参加してもよいと思うものはありますか。

（あてはまるものすべてに○）

【中学生調査：問 15、高校生調査：問 19】



本宮市内で参加したい地域活動は、中学生では「地域のスポーツやレクリエーション活動」が33.3%と最も多く、以下、「学校外のクラブ活動やサークル活動」（33.0%）「小さい子どもの集まるイベントなどのボランティア活動」（33.0%）となっている。

高校生では「小さい子どもの集まるイベントなどのボランティア活動」が35.5%と最も多く、以下、「地域のスポーツやレクリエーション活動」（24.8%）、「高齢者や障がい者の人に対するボランティア活動」（19.1%）となっている。

居住地（市内/市外）別にみると、市内居住者（中学生、市内居住の高校生）では、「伝統文化の保存活動」「環境保護活動や清掃・リサイクル活動」「学校外のクラブ活動やサークル活動」なども市外居住者（市外居住の高校生）に比べ目立つ。

（7）これからの本宮市について【中学生調査／高校生調査】

●これからの本宮市を暮らしやすく愛着のあるまちにしていくための意見としては、「飲食店やショッピングモールなど商業施設の充実」「娯楽施設の充実」など商業施設の充実を求める意見が中学生・高校生ともに多くみられた。

問 最後に、これからの本宮市に対する夢や将来像、あなたにとって暮らしやすく愛着のあるまちにしていくためのお考えなどについて、ご意見等がございましたらご自由にお書きください。

【中学生調査：問 16、高校生調査：問 20】

項目	件数	
	中学生	高校生
飲食店やショッピングモールなど商業施設の充実	30	15
公共交通機関の整備（電車の増便、駅の整備等含む）	32	13
にぎわい・魅力のある、明るく暮らしやすいまち	40	3
スポーツ、文化施設の整備・拡充	25	5
コンサートやイベントの機会や場の提供、お祭りの充実	21	5
娯楽施設の充実（ゲームセンター、映画館など）	14	8
街灯の設置	16	2
公園や遊び場(室内外)の整備・拡充	11	4
高齢者、障がい者に住みよいまち	11	1
人に優しく、差別偏見がない平等なまち	12	0
自然・美しい景観の保全	12	0
地域交流・活動、ボランティア等の機会や場の提供	9	1
道路の整備	8	0
治安のよい、安心して暮らせるまち	6	2
図書館の充実勉強できる場の提供	6	1
観光施設の設置	6	1
ごみや震災廃棄物などの適切な処理、美化活動	6	1
県外市外へのPRの充実	6	0
教育環境、学校施設の整備	5	0
若者が定住できる環境の整備（雇用の機会など）	4	0
他地域、交際交流の機会や場の提供	3	0
伝統文化の保存、継承	2	0
このままでよい	6	1
行政への意見・要望など	14	2
その他	12	8
特になし	16	11
意見数計	333	84

これからの本宮市を暮らしやすく愛着のあるまちにしていくための意見を求めたところ、中学生（30件）、高校生（15件）ともに「飲食店やスーパー、ショッピングモールなど商業施設の充実」との意見が最も多くみられた。

また、「公共交通機関の整備（電車の増便、駅の整備等含む）」や「にぎわい・魅力のある、明るく暮らしやすいまち」など利便性の向上やまちのにぎわい創出に関する意見も多くみられた。

【主な意見】※中学生・高校生の合計上位5項目

●飲食店やスーパー、ショッピングモールなど商業施設の充実

- ・郡山と同じくらい便利な施設を増やしてほしい。欲しいものが本宮では買えないから。(男性/中学生)
- ・これからの本宮市は、小中高生も楽しめるようなショッピングモール、施設を増やしてもらえたらと思う。大人も子供も住みやすく、楽しい町にしてほしい。(女性/中学生)
- ・私は本宮市がもっと賑わいのある町になったらいいと思う。商店が閉まっている所が多いけど、もっとオシャレなカフェなどができたら市外からの注目も集まってにぎわうと思う。(女性/中学生)
- ・遊ぶ所がないので、無料で楽しい物を作ってもらいたい。さらにイオンやゲームセンターなどを作ってもらいたい。現在の本宮市は子供が楽しめる所がみずい公園などしかないのでつまらないです。(男性/中学生)
- ・もっと飲食店を増やしてほしい。(男性/高校生)
- ・洋服や雑貨などが買えるお店を増やして欲しいと思います。(女性/高校生)

●公共交通機関の整備（電車の増便、駅の整備等含む）

- ・五百川駅は多くの人が利用しているので、本宮駅よりも優先的に工事をするべきだと思う。無人駅という点やトイレがあるのかないのが分かりにくい点が問題だと思う。(女性/中学生)
- ・バスや電車などをもう少し増やして交通機関をもう少し整備して頂けると良いと思いました。(女性/中学生)
- ・もう少し電車の数を増やしてほしい。(女性/中学生)
- ・バスを駅から出してほしいです。(女性/中学生)
- ・バスなどもっと交通機関を便利にしてほしい（自宅近くから駅に行けるなど、直で郡山駅にも行けるようにしてほしい）。本数を増やして、色んな所へ行けるようにしてほしい。(女性/高校生)
- ・電車の本数を増やしてほしい。(男性/高校生)
- ・交通機関がもっと便利になってほしい。上りの電車がお昼の一時にないのが不便。ワンマン車が二両しかなくてとても狭い。(女性/高校生)

●にぎわい・魅力のある、明るく暮らしやすいまち

- ・福島県のへその町としてもう少しにぎわってほしいです。(女性/中学生)
- ・今のままの安全を保ち、誰もが快適に住めるようなまちであってほしい。「福島県で一番住みやすいまち」を保ち、築いてほしい。(女性/中学生)
- ・自然が豊かで美しい景色がそのまま残り続け、だれもが住みやすい町をつくるために、公共施設を増やしていくことが必要だと思います（市民の意見を尊重すべき）。(男性/中学生)
- ・たくさんの自然に囲まれて、たくさんの笑顔に囲まれている本宮になればいいと思う。(女性/高校生)

●スポーツ、文化施設の整備・拡充

- ・本宮市に中で運動できる本当の体育館をつくってほしい。だれでも使用できるようなもの。その体育館にはバスケのリングや、バレーのネットなども充実させてほしい。（女性／中学生）
- ・スポーツ施設を増やしてほしい。（男性／中学生）
- ・何も持っていないなくても（手ぶらでも）バスケやテニスなどのスポーツが出来る場所がある町になるといい。（女性／中学生）
- ・バッティングセンターがほしい。スポーツジムもほしい。（男性／高校生）
- ・もう少し様々な種類の医療機関やスポーツ施設を増やして欲しいと思います。（女性／高校生）

●コンサートやイベントの機会や場の提供、お祭りの充実

- ・コンサートやイベント会場をつくれれば人が集まって、活気あふれると思う。ジャニーズショップをつくる。（女性／中学生）
- ・秋祭りは屋台が多くていいけど、夏祭りはとても少ないから増やしてほしい。（女性／中学生）
- ・これからの本宮のためにはもっとイベントなどを増やすなどをしたほうがいいと思います。（男性／中学生）
- ・祭りなどは他からもたくさん来ているので、続けて欲しい。将来的にも笑顔あふれる本宮でいてほしい。（女性／高校生）
- ・市外の人でも参加できるイベントがほしい。（男性／高校生）

V 資料編（使用した調査票）

1 市民意識調査

本宮市 市民意識調査

《調査ご協力をお願い》

皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

また日頃から本宮市政にご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

本市では、平成 19 年の合併以降、平成 21 年度から 30 年度を計画期間とする「本宮市第 1 次総合計画」を策定し、様々な施策を総合的に推進してきました。また、東日本大震災及び東京電力福島第一原子力発電所事故発生後は、震災以前の生活を取り戻すため、復興の取組を最優先に進めてまいりました。

私たちを取り巻く環境は、人口減少、少子高齢化、高度情報化、地方分権の推進など大きく変化しており、今後ますますこれらが進行すると見込まれております。市では、こうした状況に対応するため、現状と課題を踏まえつつ、これまでの復興の取組を活かしながら、本宮市の未来につなげるステップアップした施策（取組）の展開を図っていくことが重要であります。

このことから、平成 31 年度からスタートさせる「本宮市第 2 次総合計画」を策定するにあたり、市の現状と課題を各分野ごとに整理・分析し、新たな基本目標や施策の方向性についての検討を行うため、本宮市にお住まいの 18 歳以上の方の中から 2,000 人の方を無作為に選び、お考えやお意見をお伺いするアンケートを実施することといたしました。

ご回答いただきました内容はすべて統計的に処理し、調査目的以外に使用することはありません。

お忙しいところ誠に恐縮に存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成 29 年 9 月

本宮市長 高松 義行

記入にあたってのお願い

- この調査は、封筒の宛名のご本人がご記入ください。
- 質問文を読み、あてはまる選択肢の番号を○で囲んでください。
- は 1 つ、あてはまるものすべてに○、など回答数の指定があります。
- その他の（ ）内や自由意見欄には、具体的に考えや意見をご記入ください。
- 記入は、黒または青のボールペンまたは鉛筆でお願いします。
- 回答は無記名でお願いします（住所や氏名のご記入は必要ありません）。
回答内容から個人が特定されることは絶対にありません。
- ご記入いただいた調査票は、**9月25日(月)まで**に、同封の返信用封筒に入れ、郵便ポストにご投函ください（切手は不要です）。

この調査に関しましてご不明な点がございましたら、下記までご連絡ください。



本宮市役所 市長公室 政策推進課
電話 0243-24-5321（直通） FAX 0243-34-3138

【（問6で「1」～「8」、「11」）と答えた方のみ】

問7 あなたの通勤・通学先はどちらですか。（○を1つお付けください。）

- | |
|--------------------------|
| 1. 本宮市内 |
| 2. 本宮市外（具体的に：_____市・町・村） |
| 3. 県外（具体的に：_____都・道・府・県） |

2. 日常生活について、おうかがいします

問8 あなたは、現在、ご自分やご家族の生活のことで心配ごとや関心事、困っていることなどがありますか。（あてはまるものすべてに○をお付けください。）

- | | |
|---------------------|---------------------|
| 1. 自分の病気や老後のこと | 8. 環境問題 |
| 2. 家族の健康や介護のこと | 9. 事故や災害のこと |
| 3. 失業・倒産や収入が減ること | 10. 犯罪や防犯のこと |
| 4. 仕事や職場のこと | 11. 住宅のこと |
| 5. 景気や生活費のこと | 12. その他（_____） |
| 6. 子どもの保育や教育のこと | 13. 心配ごとや困っていることはない |
| 7. 生活環境（近隣の騒音など）のこと | |

問9 現在、あなたは日常生活にどの程度満足していますか。（○を1つお付けください。）

- | | |
|--------------|---------------|
| 1. とても満足している | 4. あまり満足していない |
| 2. やや満足している | 5. 満足していない |
| 3. どちらともいえない | |

問10 あなたは、前問（問9）で日常生活に満足しているかどうか判断する際に、どのようなことを重視しましたか。（あてはまるものすべてに○をお付けください。）

- | | |
|-------------------|----------------|
| 1. 家族関係 | 7. 地域とのつながり |
| 2. 友人関係 | 8. 地位や名誉 |
| 3. 健康状態 | 9. 良好な生活環境 |
| 4. 所得・収入 | 10. 自由な時間 |
| 5. 就業状況（仕事の有無・安定） | 11. その他（_____） |
| 6. 仕事や趣味などの生きがい | |

5. 本宮市への定住・移住についておうかがいします

問 13 若い世代が本宮市に住み続けたり、市外にお住まいの方が本宮市に移り住みたいと思えるようにするには、どのような取組が重要だと思いますか。それぞれについてお答えください。

①若い世代の定住に向けて重要なこと（あてはまるものすべてに○をお付けください。）

- | | |
|------------------------------------|-----------------------------|
| 1. 住む場所の確保（分譲地開発、物件情報の提供など） | 10. 教育の充実 |
| 2. 公共交通機関の充実 | 11. 結婚に対する支援 |
| 3. 医療や福祉面の充実 | 12. 妊娠・出産に対する支援 |
| 4. 防犯・防災など安全・安心の充実 | 13. 商業活性化などまちのにぎわいの創出 |
| 5. 放射線対策の充実 | 14. 観光・交流の充実 |
| 6. 住宅取得に対する経済的支援（助成金など） | 15. 芸術・文化の振興 |
| 7. 市内で働く場の確保（企業誘致、創業支援など） | 16. 本宮市のPR、魅力発信、イメージアップへの取組 |
| 8. 求職・求人のニーズを踏まえた雇用対策（情報提供等を含む）の推進 | 17. その他（ ） |
| 9. 子育てに対する支援 | 18. 特にない |

②市外からの移住者の増加に向けて重要なこと（あてはまるものすべてに○をお付けください。）

- | | |
|------------------------------------|-----------------------------|
| 1. 住む場所の確保（分譲地開発、物件情報の提供など） | 10. 教育の充実 |
| 2. 公共交通機関の充実 | 11. 結婚に対する支援 |
| 3. 医療や福祉面の充実 | 12. 妊娠・出産に対する支援 |
| 4. 防犯・防災など安全・安心の充実 | 13. 商業活性化などまちのにぎわいの創出 |
| 5. 放射線対策の充実 | 14. 観光・交流の充実 |
| 6. 住宅取得に対する経済的支援（助成金など） | 15. 芸術・文化の振興 |
| 7. 市内で働く場の確保（企業誘致、創業支援など） | 16. 本宮市のPR、魅力発信、イメージアップへの取組 |
| 8. 求職・求人のニーズを踏まえた雇用対策（情報提供等を含む）の推進 | 17. その他（ ） |
| 9. 子育てに対する支援 | 18. 特にない |

6. 市の施策に対する満足度と、今後力を入れるべき重要な施策について おうかがいします

- 問 14** あなたは、本宮市が実施している次の施策（取組）について、現在どのくらい満足されていますか。また、今後の重要性についてどのようにお考えですか。
次の5分野35項目の「①現在の満足度」及び「②今後の重要性の高さ」について、当てはまるものにそれぞれ1つずつ○をつけてください。※各分野の最後に、自由記述欄がございます。

【分野1】 教育・文化・スポーツ		①現在の満足度					②今後の重要性						
		満足	やや満足	普通	やや不満	不満	わからない	高い	やや高い	普通	やや低い	低い	わからない
1	学校等教育 子どもの生きる力（豊かな人間性、確かな学力、健康と体力）を育む教育を推進しています。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
	例) 学校教育、幼児教育など												
2	青少年教育 青少年の健全な育成を推進しています。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
	例) 青少年健全育成など												
3	生涯学習 市民の生涯学習を推進しています。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
	例) 公民館活動、各種講座、図書館など												
4	生涯スポーツ 健康でいきいきと過ごせるよう、生涯スポーツを推進しています。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
	例) スポーツ振興、体育館、プールなど												
5	歴史・文化・芸術 文化財の保存や文化芸術活動を推進しています。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
	例) 文化芸術振興、歴史民俗資料館、文化ホールなど												
6	多文化共生・都市交流・国際交流 多様な価値観やグローバル感覚を持った人材の育成等を推進しています。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
	例) 友好都市、全国へそのまち協議会、国際交流等、国際理解講演会、相互支援（災害時応援協定等を含む。）など												
自由記述欄	教育・文化・スポーツ分野全般について、ご意見をご記入ください（自由記述）。												

【分野2】 健康・医療・福祉		①現在の満足度					②今後の重要性						
		満足	やや満足	普通	やや不満	不満	わからない	高い	やや高い	普通	やや低い	低い	わからない
7	子育て支援 妊娠・出産、育児等における支援の充実を図っています。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
	例) 妊産婦検診、育児支援、保育サービス、延長保育、一時保育、結婚支援、不妊治療支援、遊び場整備など												
8	健康 心と体の健康づくりを推進しています。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
	例) 地域医療確保、生活習慣病予防、健康診断・予防接種、国民健康保険、医療費助成など												
9	高齢者福祉 高齢者福祉の充実を図っています。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
	例) 高齢者活躍支援、介護予防・支援、シルバー人材センターなど												
10	障がい者福祉 障がい児・障がい者福祉の充実を図っています。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
	例) 障がい児・障がい者支援など												
11	生活支援 生活を支える福祉の充実を図っています。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
	例) 生活困窮自立支援、生活保護制度適正運用など												
12	地域福祉 地域で支えあう地域福祉を推進しています。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
	例) 地域包括支援、社会福祉協議会支援、民生・児童委員など												
13	人権・男女共同参画 人権尊重と男女共同参画社会を推進しています。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
	例) 人権相談、男女共同参画啓発、女性活躍支援など												
自由記述欄	健康・医療・福祉分野全般について、ご意見をご記入ください（自由記述）。												

【分野3】 産業・雇用・観光		①現在の満足度					②今後の重要性						
		満足	やや満足	普通	やや不満	不満	わからない	高い	やや高い	普通	やや低い	低い	わからない
14	農林業 地域の特性を活かした農林業の振興を図っています。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
	例) 特産作物振興、農産物等販路拡大、担い手育成など												

15	商工業	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
	にぎわいと魅力あふれる商工業の振興を図っています。												
	例) 商工団体支援、工業団地管理など												
16	企業誘致・事業創出	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
	働く場の確保や新規創業の推進を図っています。												
	例) 企業立地推進、創業支援など												
17	雇用対策	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
	雇用や労働環境の充実を図っています。												
	例) 求職・求人ニーズを踏まえた雇用対策（情報提供、相談等）の推進、地域雇用支援など												
18	観光・物産振興・にぎわい創出	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
	観光資源の活用や物産振興等を図っています。												
	例) 観光物産振興、団体支援、6次産業化など												
自由記述欄	産業・雇用・観光分野全般について、ご意見をご記入ください（自由記述）。												

【分野4】 生活環境・都市基盤		①現在の満足度					②今後の重要性						
		満足	やや満足	普通	やや不満	不満	わからない	高い	やや高い	普通	やや低い	低い	わからない
19	環境保全・エネルギー	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
	環境保全・再生可能エネルギーの普及促進を図っています。												
	例) 環境保全啓発、太陽光発電など再生エネルギー普及促進など												
20	ごみ対策・美化活動	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
	ごみ減量化や美化活動を推進しています。												
	例) 3R（発生抑制、再使用、再生利用）の推進、環境美化活動の推進など												
21	上下水道	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
	安全・安心な水環境の形成を図っています。												
	例) 水道、下水道、合併処理浄化槽など												
22	住宅・住環境	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
	快適な住環境の形成を図っています。												
	例) 住宅政策（耐震化、空家対策）、市営住宅など												
23	道路	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
	道路の整備・維持管理等を行っています。												
	例) 生活道路、幹線道路など												
24	地域公共交通	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
	地域公共交通の運行を行っています。												
	例) 市街地巡回バス、通勤・通学バス、乗合タクシー、乗合バスなど												

25	消防	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
	消防体制の充実を図っています。												
	例) 消防団活動、広域消防など												
26	防災・減災	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
	防災体制の充実を図っています。												
	例) 自主防災組織支援、防災意識啓発、防災行政無線、治山治水（築堤を含む。）、下水道（雨水対策）、排水路、自治体間相互支援（再掲）など												
27	防犯・交通安全・消費者対策	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
	防犯・交通安全・消費者保護対策を推進しています。												
	例) 交通安全活動、団体支援、交通安全施設など												
28	公園・緑地・景観	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
	公園緑地の整備・維持管理や良好な景観づくりを推進しています。												
	例) 公園緑地、景観保全など												
29	土地利用	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
	計画的な土地利用を推進しています。												
	例) 国土利用計画、都市計画マスタープラン、農業振興地域整備計画、開発事業連絡調整など												
30	中心市街地の整備	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
	中心市街地の整備を推進しています。												
	例) 駅周辺等の整備、検討など												
自由記述欄	生活環境・都市基盤分野全般について、ご意見をご記入ください（自由記述）。												

【分野5】 市民・行政活動	①現在の満足度					②今後の重要性							
	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	わからない	高い	やや高い	普通	やや低い	低い	わからない	
31	市民活動、地域活動、協働参画	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
	市民活動、地域コミュニティ活動、協働参画を推進しています。												
	例) 市民団体活動、地域活動、行政区支援、集会所など												
32	行財政運営	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
	市民の視点に立った行財政運営を推進しています。												
	例) 公共施設管理、財政運営、窓口業務など												
33	広報広聴	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
	市政の広報・広聴活動、PR活動などを行っています。												
	例) 広報紙、ホームページ、各種懇談会、魅力発信など												

2 中学生調査

本宮市 中学生の意識調査

《調査ご協力をお願い》

本宮市では、これからの本宮市をより良いまちにしていけるために、今後 10 年間のまちづくりの指針となる「本宮市第 2 次総合計画」の策定を進めています。

この計画の策定にあたって、これから社会の第一線で活躍される中学生の皆さんが、現在の生活や本宮市の現状をどのように考え、またこれからの未来にどのような展望を持っているかなどをうかがうために、皆さんのご意見やご要望をお聴きするアンケートを実施することといたしました。

ご回答いただきました内容はすべて統計的に処理し、調査目的以外に使用することはありませんので、安心して率直な考えをお書きください。ご協力よろしくお願いいたします。

平成 29 年 10 月

本宮市長 高松 義行

..... 記入にあたってのお願い

- 質問文を読み、あてはまる選択肢の番号を○で囲んでください。
- は 1 つ、あてはまるものすべてに○、など回答数の指示があります。
よく読んでお答えください。
- その他の（ ）内や自由意見欄には、具体的に考えや意見をご記入ください。
- 答えに迷う場合には、あなたの気持ちや考えにできるだけ近いものを選ぶようにしてください。
- テストではありませんので、思ったとおりに答えてください。
- 記入は、必ず黒か青のボールペンまたは鉛筆でお願いします。
- 回答は無記名でお願いします（住所や氏名のご記入は必要ありません）。
回答内容から個人が特定されることは絶対にありません。
- 記入済みの調査票は、調査票が入っていた封筒に入れ、担任の先生に渡してください。

この調査に関しまして分からないことがありましたら、下記までご連絡ください。

本宮市役所 市長公室 政策推進課
電話：0243-24-5321（直通） FAX：0243-34-3138

1. はじめに、あなたご自身のことについておうかがいします

問1 あなたの性別をお答えください。（○は1つ）

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

問2 あなたの現在のお住まいの地域はどちらですか。（○は1つ）

- | | | |
|--------|--------|--------|
| 1. 本宮 | 6. 岩根 | 11. 長屋 |
| 2. 青田 | 7. 関下 | 12. 稲沢 |
| 3. 荒井 | 8. 和田 | 13. 松沢 |
| 4. 仁井田 | 9. 糠沢 | |
| 5. 高木 | 10. 白岩 | |

問3 あなたが現在一緒に暮らしている世帯（家族）の構成をお答えください。（○は1つ）

- | | |
|-----------------------------|-----------|
| 1. 二世帯世帯（親子で同居） | 3. その他（ ） |
| 2. 三世帯世帯（祖父母・親・子(本人を含む)で同居） | |

2. 日常生活について、おうかがいします

問4 あなたが現在興味のあるものは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|----------------|----------------|
| 1. 最近流行のファッション | 7. 政治・経済 |
| 2. 友人・知人との付き合い | 8. まちづくり、地域活動 |
| 3. 異性との付き合い | 9. ボランティア活動 |
| 4. 個人の趣味 | 10. 自分の進路（進学先） |
| 5. SNS | 11. その他（ ） |
| 6. スポーツ・部活動 | |

3. 進路・定住意向など将来のことについて、おうかがいします

問 8 あなたは中学校卒業後の進路をどのように考えていますか。（○は1つ）

- | | |
|----------------|--------------------------------|
| 1. 市内の高校に進学したい | 4. その他（ ） |
| 2. 市外の高校に進学したい | 5. わからない |
| 3. 企業に就職したい | |

問 9 あなたは、将来、本宮市で暮らし続けたいと思いますか。（○は1つ）

- | | |
|------------------------|----------------------------------|
| 1. ぜひ本宮市で暮らし続けたい | 4. できれば市外へ移り住みたい |
| 2. できれば本宮市で暮らし続けたい | 5. ぜひ市外へ移り住みたい |
| 3. どちらともいえない ⇒次ページ問10へ | 6. 市外にも住みたいが、いずれ戻ってきたい ⇒次ページ問10へ |

▶【本宮市で暮らし続けたい（問9で「1」～「2」）と答えた方のみ】

問 9-1 本宮市で暮らし続けたいと思う理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|---------------------|---------------------------------|
| 1. 住み慣れたまちだから | 8. 娯楽施設があるから |
| 2. 家族や親せき、友人などがいるから | 9. 文化・スポーツ施設が整っているから |
| 3. 家（自宅）があるから | 10. 医療・福祉サービスが充実しているから |
| 4. 自然環境に恵まれているから | 11. 子育て・教育環境が整っているから |
| 5. 就職したい企業・仕事があるから | 12. その他（ ） |
| 6. 交通が便利だから | 13. 特にない |
| 7. 買い物など生活に便利だから | |

▶【本宮市外に移り住みたい（問9で「4」～「5」）と答えた方のみ】

問 9-2 市外に移り住みたいと思う理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|---------------------|---------------------------------|
| 1. 地域に愛着がないから | 8. 娯楽施設が少ないから |
| 2. まちに賑わいや活気がないから | 9. 文化・スポーツ施設が整っていないから |
| 3. 今住んでいる住宅に不満があるから | 10. 医療・福祉サービスが充実していないから |
| 4. 自然環境や衛生環境がよくないから | 11. 子育て・教育環境が整っていないから |
| 5. 働き口がなさそうだから | 12. その他（ ） |
| 6. 交通の便が悪いから | 13. 特にない |
| 7. 買い物など生活に不便だから | |

3 高校生調査

本宮市 高校生の意識調査

《調査ご協力をお願い》

本宮市では、これからの本宮市をより良いまちにしていくために、今後 10 年間のまちづくりの指針となる「本宮市第 2 次総合計画」の策定を進めています。

この計画の策定にあたって、これから社会の第一線で活躍される高校生の皆さんが、現在の生活や本宮市の現状をどのように考え、またこれからの未来にどのような展望を持っているかなどをうかがうために、皆さんのご意見やご要望をお聴きするアンケートを実施することといたしました。

ご回答いただきました内容はすべて統計的に処理し、調査目的以外に使用することはありませんので、安心して率直な考えをお書きください。ご協力よろしくお願いいたします。

平成 29 年 10 月

本宮市長 高松 義行

記入にあたってのお願い

- 質問文を読み、あてはまる選択肢の番号を○で囲んでください。
- は 1 つ、あてはまるものすべてに○、など回答数の指示があります。
よく読んでお答えください。
- その他の（ ）内や自由意見欄には、具体的に考えや意見をご記入ください。
- 答えに迷う場合には、あなたの気持ちや考えにできるだけ近いものを選ぶようにしてください。
- テストではありませんので、思ったとおりに答えてください。
- 記入は、必ず黒か青のボールペンまたは鉛筆でお願いします。
- 回答は無記名でお願いします（住所や氏名のご記入は必要ありません）。
回答内容から個人が特定されることは絶対にありません。
- 記入済みの調査票は、調査票が入っていた封筒に入れ、担任の先生に渡してください。

この調査に関しまして分からないことがありましたら、下記までご連絡ください。

本宮市役所 市長公室 政策推進課
電話：0243-24-5321（直通） FAX：0243-34-3138

1. はじめに、あなたご自身のことについておうかがいします

問1 あなたの性別をお答えください。（〇は1つ）

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

問2 あなたの現在のお住まいはどちらですか。（〇は1つ）

- | |
|--|
| 1. 本宮市内（本宮・青田・荒井・仁井田・高木・岩根・関下・
和田・糠沢・白岩・長屋・稲沢・松沢） |
| 2. 本宮市外（具体的に：_____市・町・村） |

問3 あなたが現在一緒に暮らしている世帯（家族）の構成をお答えください。（〇は1つ）

- | | |
|-------------------|-----------------------------|
| 1. 単身世帯（お一人でお住まい） | 3. 三世帯世帯（祖父母・親・子(本人を含む)で同居） |
| 2. 二世帯世帯（親子で同居） | 4. その他（_____） |

2. 日常生活について、おうかがいします

問4 あなたが現在興味のあるものは何ですか。（あてはまるものすべてに〇）

- | | |
|----------------|--------------------------|
| 1. 最近流行のファッション | 7. 政治・経済 |
| 2. 友人・知人との付き合い | 8. まちづくり、地域活動 |
| 3. 異性との付き合い | 9. ボランティア活動 |
| 4. 個人の趣味 | 10. 自分の進路（進学・就職先） |
| 5. SNS | 11. 自分の経済状態（おこづかい、アルバイト） |
| 6. スポーツ・部活動 | 12. その他（_____） |

問 19 あなたは、本宮市内での地域活動で参加してもよいと思うものはありますか。

（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|------------------------------|---|
| 1. 環境保護活動や清掃・リサイクル活動 | |
| 2. 学校外のクラブ活動やサークル活動 | |
| 3. 地域のスポーツやレクリエーション活動 | |
| 4. 地域で行われている講座やイベント | |
| 5. 地域の防火・防災などの安全を支える活動 | |
| 6. 小さい子どもの集まるイベントなどのボランティア活動 | |
| 7. 高齢者や障がい者の人に対するボランティア活動 | |
| 8. 伝統文化の保存活動 | |
| 9. その他（ | ） |
| 10. 参加したい活動はない | |

問 20 最後に、これからの本宮市に対する夢や将来像、あなたにとって暮らしやすく愛着のあるまちにしていくためのお考えなどについて、ご意見等がございましたらご自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました。調査はこれで終了です。

ご記入済みの調査票は、記入もれがないか確認の上、調査票が入っていた封筒に入れ、担任の先生に渡してください。

本宮市総合計画基礎調査

平成 30 年 3 月発行

本宮市 市長公室 政策推進課

〒969-1192 福島県本宮市本宮字万世 212
電話:0243-24-5321(直通) Fax:0243-34-3138